
令和2年度
「県民幸福度アンケート」
調査結果報告書

令和3年3月
群馬県

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査内容	2
3. 調査の設計	2
4. 集計・分析にあたって	2
5. 標本補正について	3
6. 回収率	5
7. 回答者の属性	7
8. 回答者の属性（地域別）	10
(1) 性別	10
(2) 年代別	11
(3) 職業別	12
(4) 居住歴別	13
(5) 居住年数別	14
(6) 世帯構成別	15
(7) 世帯年収別	16
(8) 未既婚状況別	17
(9) 子どもの有無別	18
II 調査結果	21
1. 「幸福」に関する考え方などについて	22
(1) 幸福感について	22
(2) 幸福感と満足度の関係について	29
(3) 満足度と重視度の関係について	60
2. 『群馬県に対する気持ち』について	62
(1) 群馬県の良いところ	62
(2) 群馬県への誇り（自慢）について	68
(3) 今後の居住意向	70
3. 居住地域や社会状況等への所感（充足感）について	72
(1) 充足度結果一覧	72
4. 「情報発信」や「SDGs」について	76
(1) 県政に関する情報の入手経路	76
(2) 群馬県制作動画の視聴状況	78
(3) 「tsulunós(ツルノス)」の視聴状況	80
(4) 「SDGs」の認知状況	82

(付) 調査票様式

I 調査概要

1. 調査の目的

「県民幸福度の向上」に向けた取組を推進している中で、幸福を実感できる社会の実現に向けて各種施策を検討するにあたり、県民の「幸福」への考え方や意識、日常生活への満足感等を把握することで、より良い県政運営につなげるために実施しました。

2. 調査内容

- (1) 質問項目（項目数：64 問）
 - ア 県民の主観的幸福感についての項目（本質問 7 問（実質問数 20 問））
 - イ 施策実感についての項目（本質問 1 問（実質問 40 問））
 - ウ 特定の施策に関する項目（本質問 4 問）
- (2) 回答者属性（項目数：10 問）

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：群馬県内全域
- (2) 調査対象：県内在住の満 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本数：3,300 人（男性 1,617 人、女性 1,683 人）
- (4) 抽出方法：層化二段無作為抽出法（選挙人名簿登録者）11 地域から 300 人ずつ
- (5) 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの返信
- (6) 調査実施時期：令和 2 年 12 月 1 日～12 月 22 日

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともあります。
例：回答者総数 3 人で、「はい」：1 人（33.3%）、「いいえ」：1 人（33.3%）、「無回答」：1 人（33.3%）の場合等、合計は 100%となりません。
- (3) 複数回答の場合、回答者総数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が 100%を超えることがあります。
- (4) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢があります。
- (5) 属性別分析の記載については、「無回答者」等は割愛しています。

5. 標本補正について

本調査では、地域別の状況把握ができるよう、各地域一律 300 標本を抽出しています。しかし、このままでは、実際の人口との歪みが生じるため、県全体のアンケート結果の集計・分析にあたり、各地域の回答結果を単純に合計するのではなく、回答者の居住地域の偏りを補正し、回答者の構成が県全体の縮図となるよう、地域別の集計ウェイト（地域ウェイト）を乗じて規正しました。（地域区分は次頁参照）

全体（全県）集計結果は、この規正標本数を基に回答者の割合（百分率%）を補正しています。

なお、本章（Ⅰ 調査概要）の 7. 回答者の属性の項、及び、8. 回答者の属性（地域別）の項につきましては、全体（全県）結果への補正を行わない値（通常集計）を以って掲載しています。

加えて、規正標本数は乗算結果の小数点以下第 1 位を四捨五入してあるため、総数の内訳の計が一致しない場合があります。

地域別の有効回収数と「地域ウェイト」（推定母集団構成比÷有効回収構成比）

	地域	推定母集団		有効回収数		地域ウェイト (A) / (B)
		実数 (人)	構成比 (%) (A)	実数 (人)	構成比 (%) (B)	
1	前橋地域	277,219	17.0	142	8.6	1.9768
2	北群馬渋川地域	94,180	5.8	151	9.1	0.6315
3	佐波伊勢崎地域	205,087	12.5	147	8.9	1.4127
4	高崎・安中地域	356,591	21.8	164	9.9	2.2016
5	多野藤岡地域	57,007	3.5	150	9.1	0.3848
6	甘楽富岡地域	59,577	3.6	148	8.9	0.4076
7	吾妻地域	46,782	2.9	167	10.1	0.2836
8	利根沼田地域	67,596	4.1	152	9.2	0.4503
9	太田地域	183,186	11.2	141	8.5	1.3155
10	桐生・みどり地域	135,907	8.3	147	8.9	0.9361
11	邑楽館林地域	151,344	9.3	146	8.8	1.0496
	合計	1,634,476		1,655	100.0	-
	地域不明	-	-	42	-	1.0000

※地域不明（「地域（市町村）」「性別」「年齢」のいずれかが不明の人）は補正除外

※18歳以上人口数出典：群馬県年齢別人口統計調査結果（令和元年10月1日現在、年齢不詳は除く）

「規正標本数」(個々の回答者に「集計ウェイト」を乗じて規正した標本数)

地域	合計	性別		年代					
		男性	女性	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
全体	100.0	43.4	54.2	8.8	10.8	14.6	17.4	21.1	26.3
	1,697	736	920	150	182	248	296	358	447
前橋地域	100.0	7.7	8.7	1.4	2.2	1.4	2.4	4.7	4.4
	281	130	148	24	38	24	42	79	75
北群馬渋川地域	100.0	42.4	55.6	9.3	13.9	13.9	19.9	19.9	23.2
	95	40	53	9	13	13	19	19	22
佐波伊勢崎地域	100.0	43.5	54.4	4.1	10.2	14.3	24.5	15.0	32.0
	208	90	113	8	21	30	51	31	66
高崎・安中地域	100.0	39.6	57.3	9.8	11.0	16.5	17.7	17.7	27.4
	361	143	207	35	40	59	64	64	99
多野藤岡地域	100.0	44.0	55.3	3.3	9.3	18.7	16.7	22.0	30.0
	58	25	32	2	5	11	10	13	17
甘楽富岡地域	100.0	43.2	55.4	7.4	8.8	14.2	15.5	28.4	25.7
	60	26	33	4	5	9	9	17	15
吾妻地域	100.0	46.1	53.3	6.6	9.0	18.0	17.4	23.4	25.7
	47	22	25	3	4	9	8	11	12
利根沼田地域	100.0	49.3	49.3	9.2	11.2	15.8	19.7	18.4	25.7
	68	34	34	6	8	11	14	13	18
太田地域	100.0	45.4	53.9	16.3	12.1	19.1	14.2	19.1	19.1
	185	84	100	30	22	36	26	36	36
桐生・みどり地域	100.0	44.2	55.1	5.4	7.5	14.3	17.7	25.9	29.3
	138	61	76	7	10	20	24	36	40
邑楽館林地域	100.0	43.8	54.8	10.3	7.5	15.8	16.4	23.3	26.7
	153	67	84	16	12	24	25	36	41

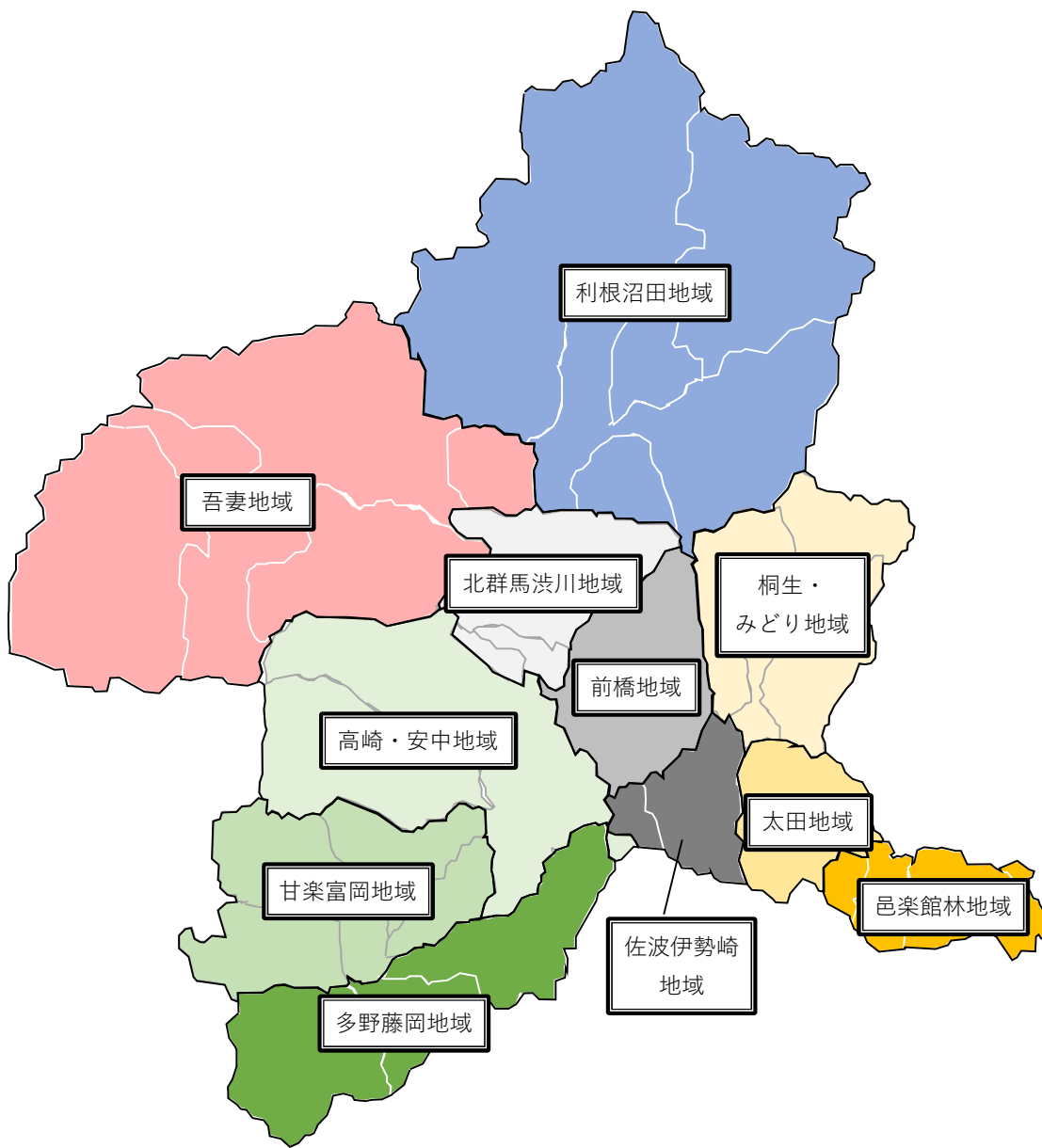
6. 回収率

(1) 有効回収数 : 1,697 件

(2) 有効回収率 : 51.4%

	地域	市町村	有効回収数	回収率
1	前橋地域	前橋市	142	47.3
2	北群馬渋川地域	渋川市、榛東村、吉岡町	151	50.3
3	佐波伊勢崎地域	伊勢崎市、玉村町	147	49.0
4	高崎・安中地域	高崎市、安中市	164	54.7
5	多野藤岡地域	藤岡市、上野村、神流町	150	50.0
6	甘楽富岡地域	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町	148	49.3
7	吾妻地域	中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町	167	55.7
8	利根沼田地域	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町	152	50.7
9	太田地域	太田市	141	47.0
10	桐生・みどり地域	桐生市、みどり市	147	49.0
11	邑楽館林地域	館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町	146	48.7
居住地域無回答			42	
合計			1,697	51.4

【地域分布図】



利根沼田エリア

- 利根沼田地域
 - 沼田市
 - 片品村
 - 川場村
 - 昭和村
 - みなかみ町

吾妻エリア

- 吾妻地域
 - 中之条町
 - 長野原町
 - 嬭恋村
 - 草津町
 - 高山村
 - 東吾妻町

東部エリア

- 桐生・みどり地域
 - 桐生市
 - みどり市
- 太田地域
 - 太田市
- 邑楽館林地帯
 - 館林市
 - 板倉町
 - 明和町
 - 千代田町
 - 大泉町
 - 邑楽町

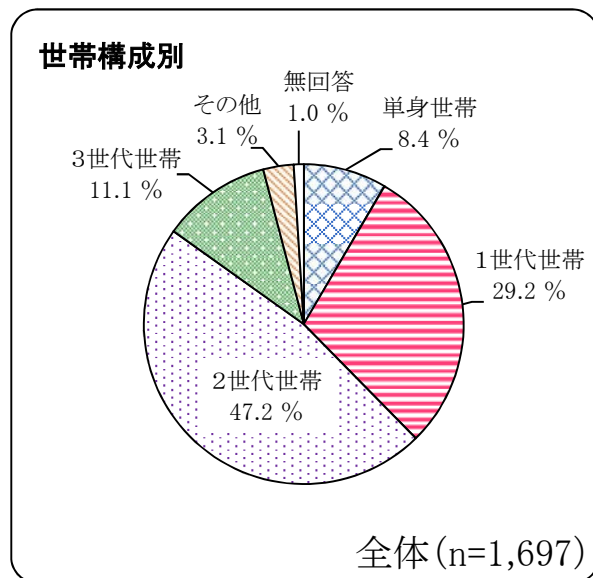
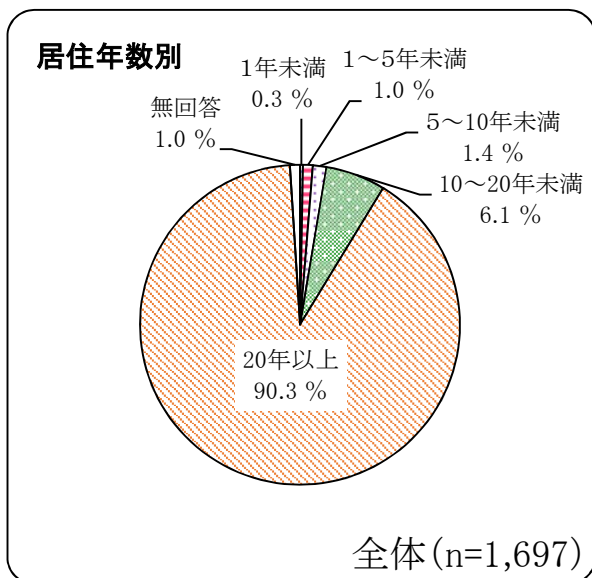
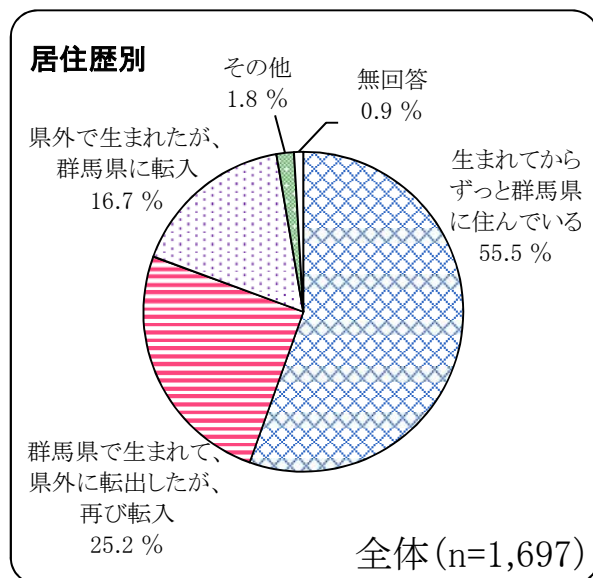
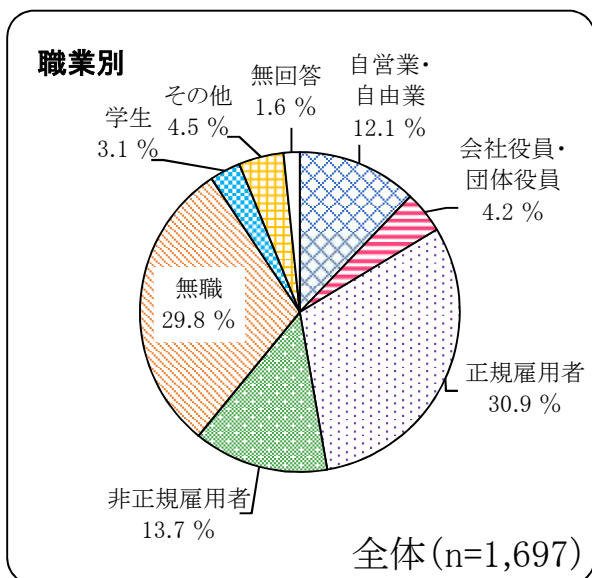
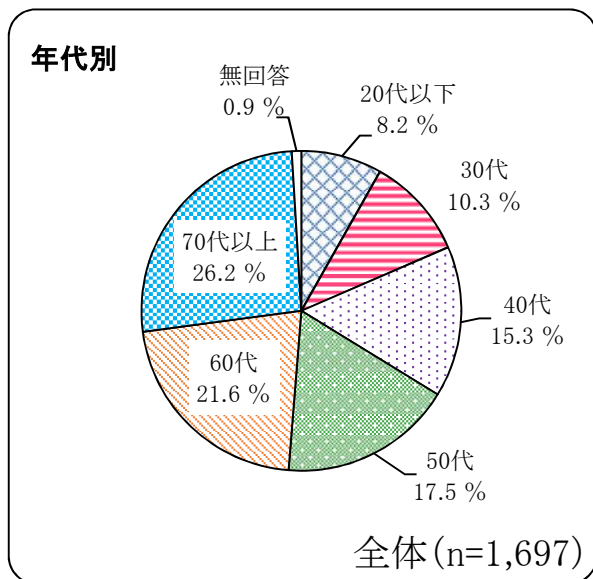
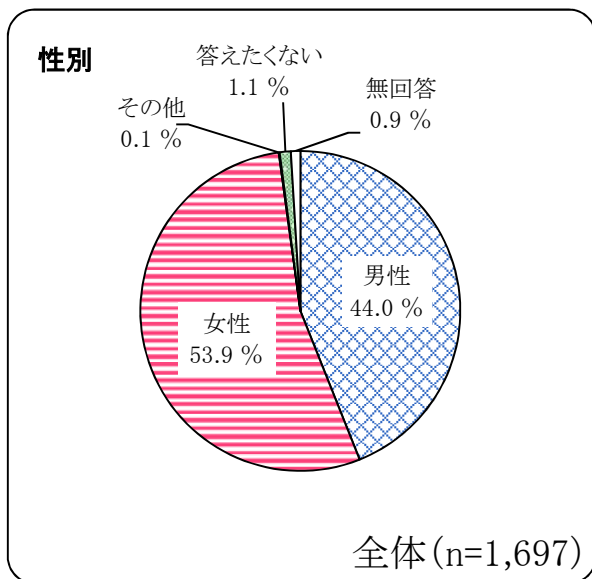
県央エリア

- 前橋地域
 - 前橋市
- 佐波伊勢崎地域
 - 伊勢崎市
 - 玉村町
- 北群馬渋川地域
 - 渋川市
 - 榛東村
 - 吉岡町

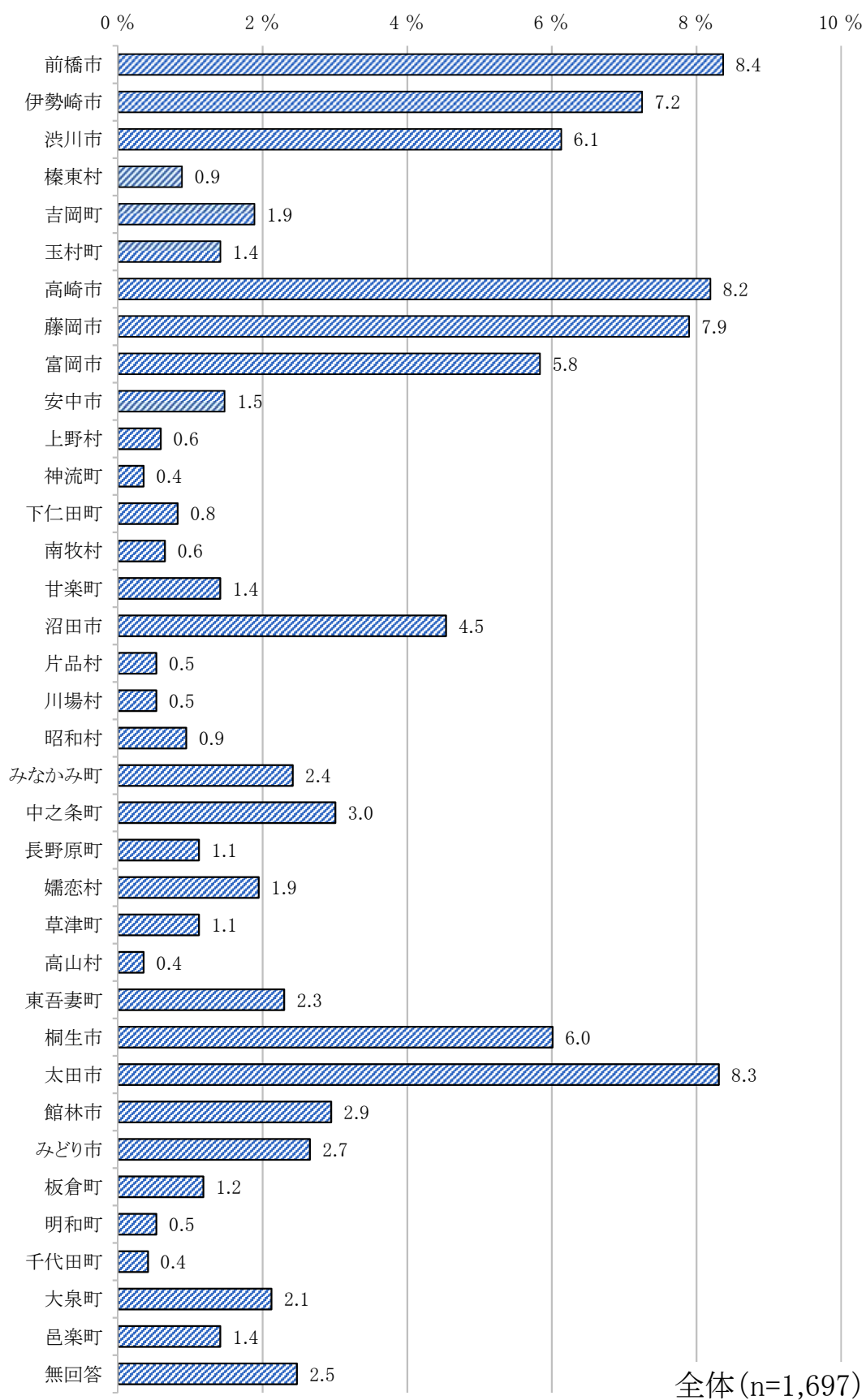
西部エリア

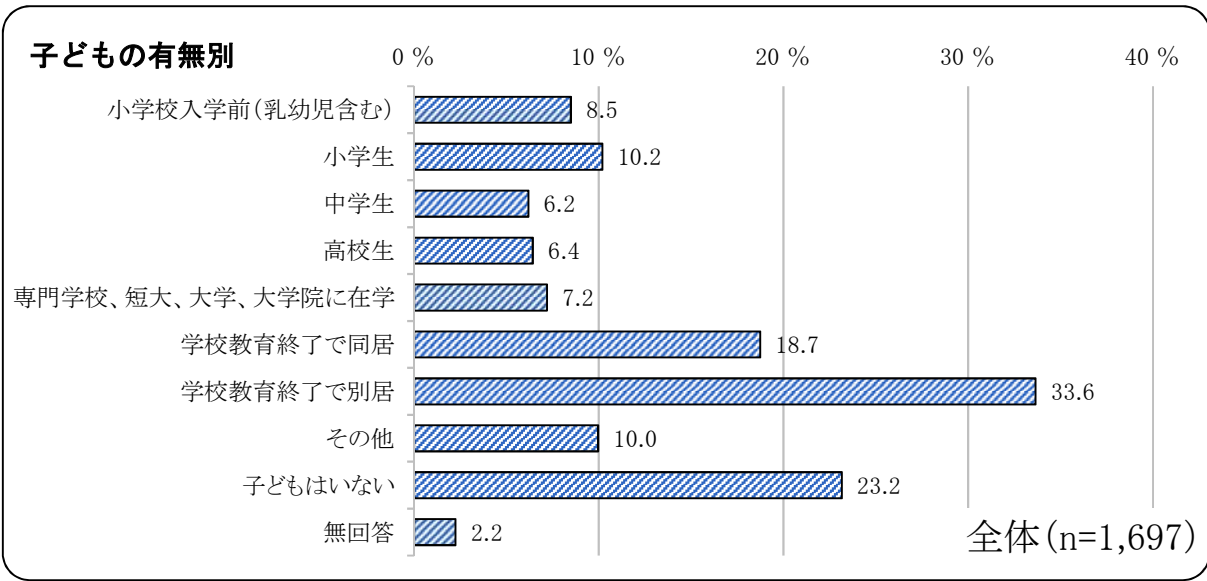
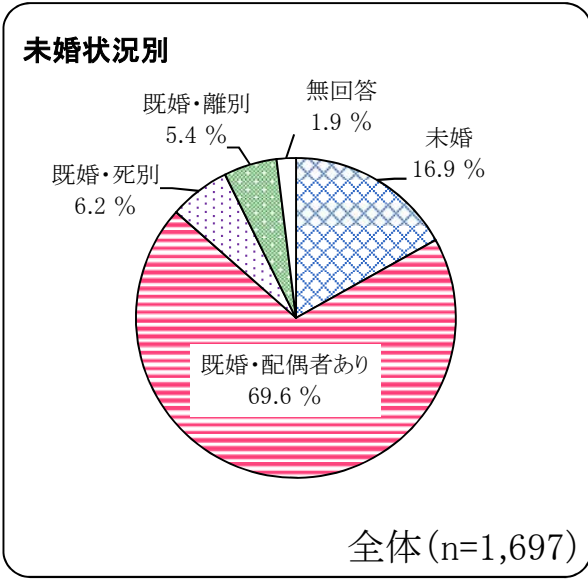
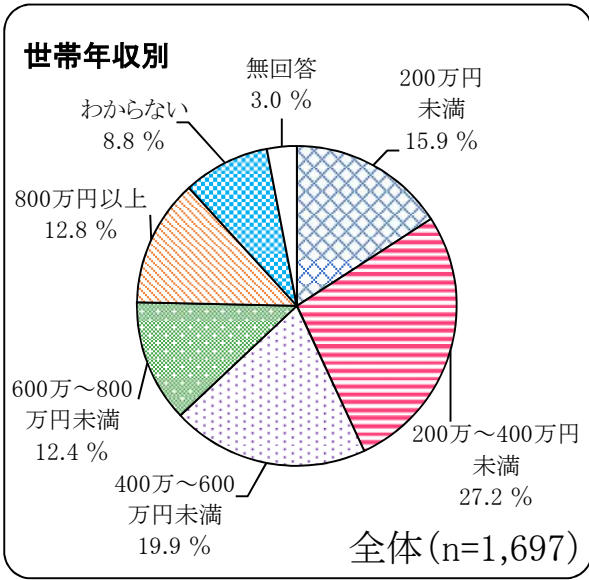
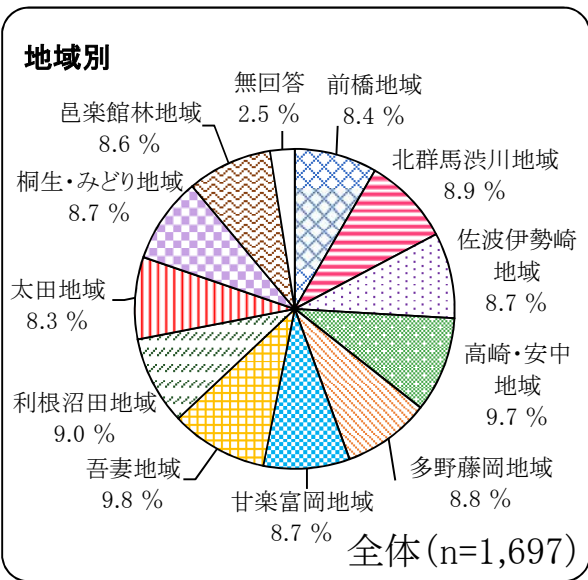
- 高崎・安中地域
 - 高崎市
 - 安中市
- 多野藤岡地域
 - 藤岡市
 - 上野村
 - 神流町
- 甘楽富岡地域
 - 富岡市
 - 下仁田町
 - 南牧村
 - 甘楽町

7. 回答者の属性



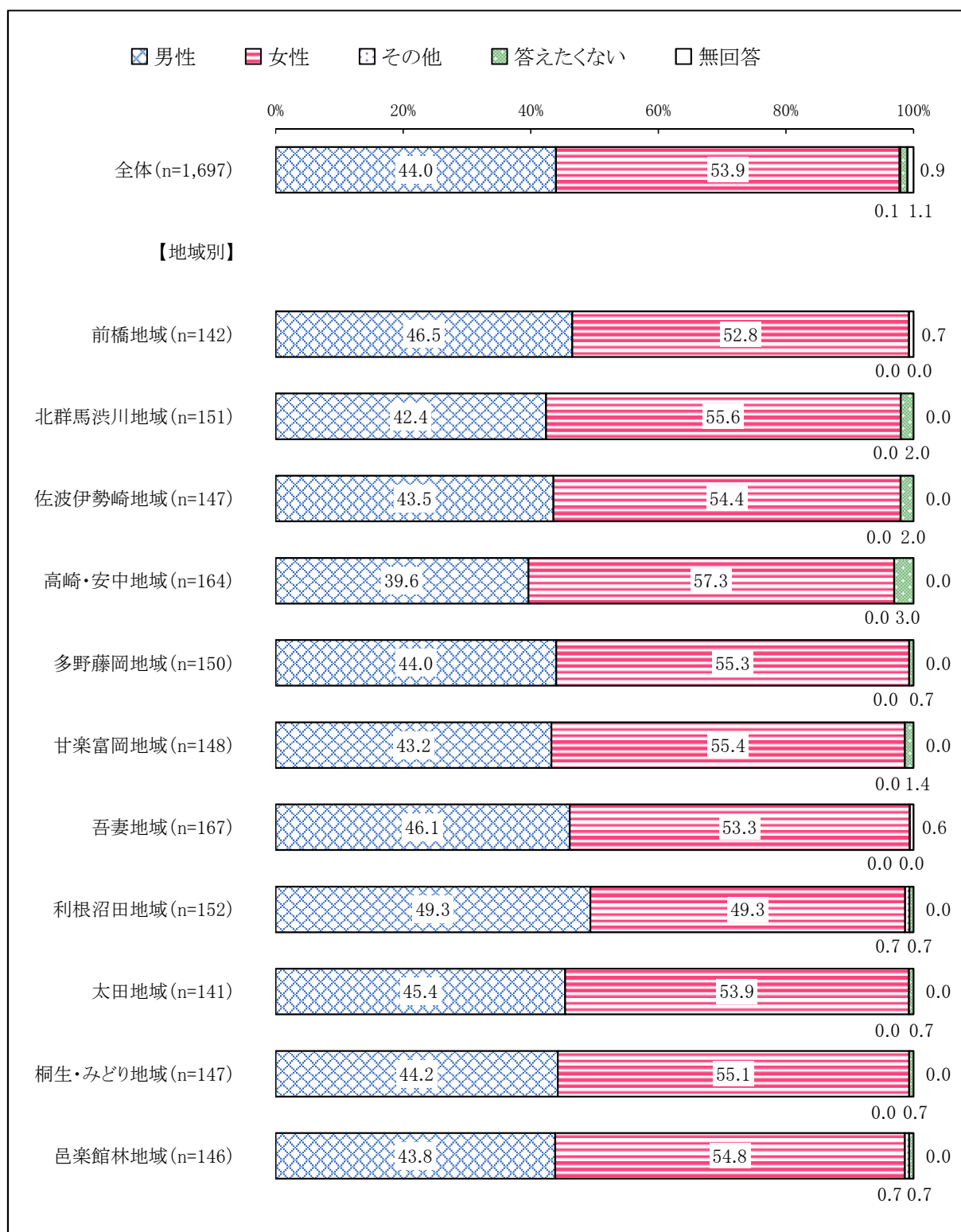
居住市町村別



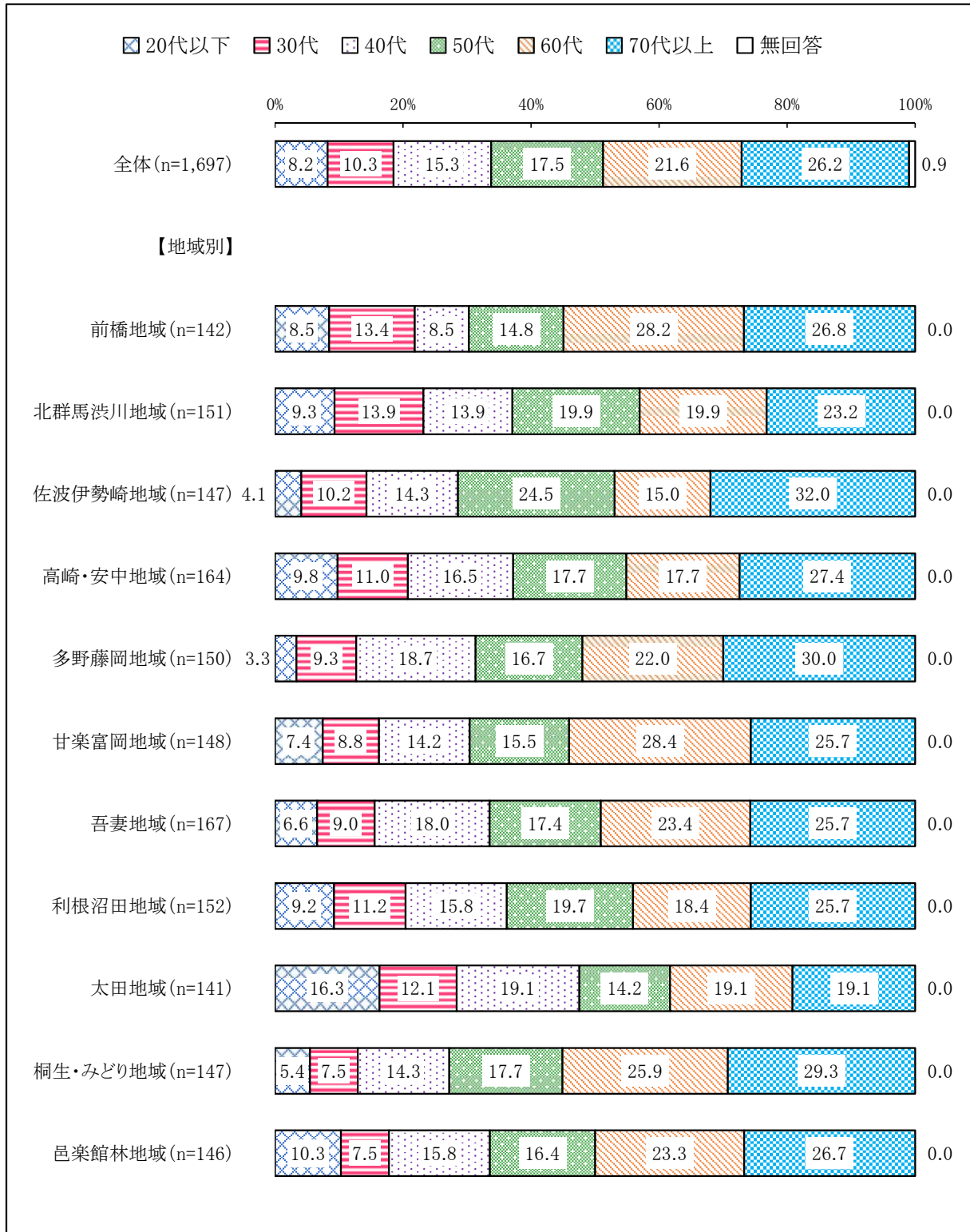


8. 回答者の属性（地域別）

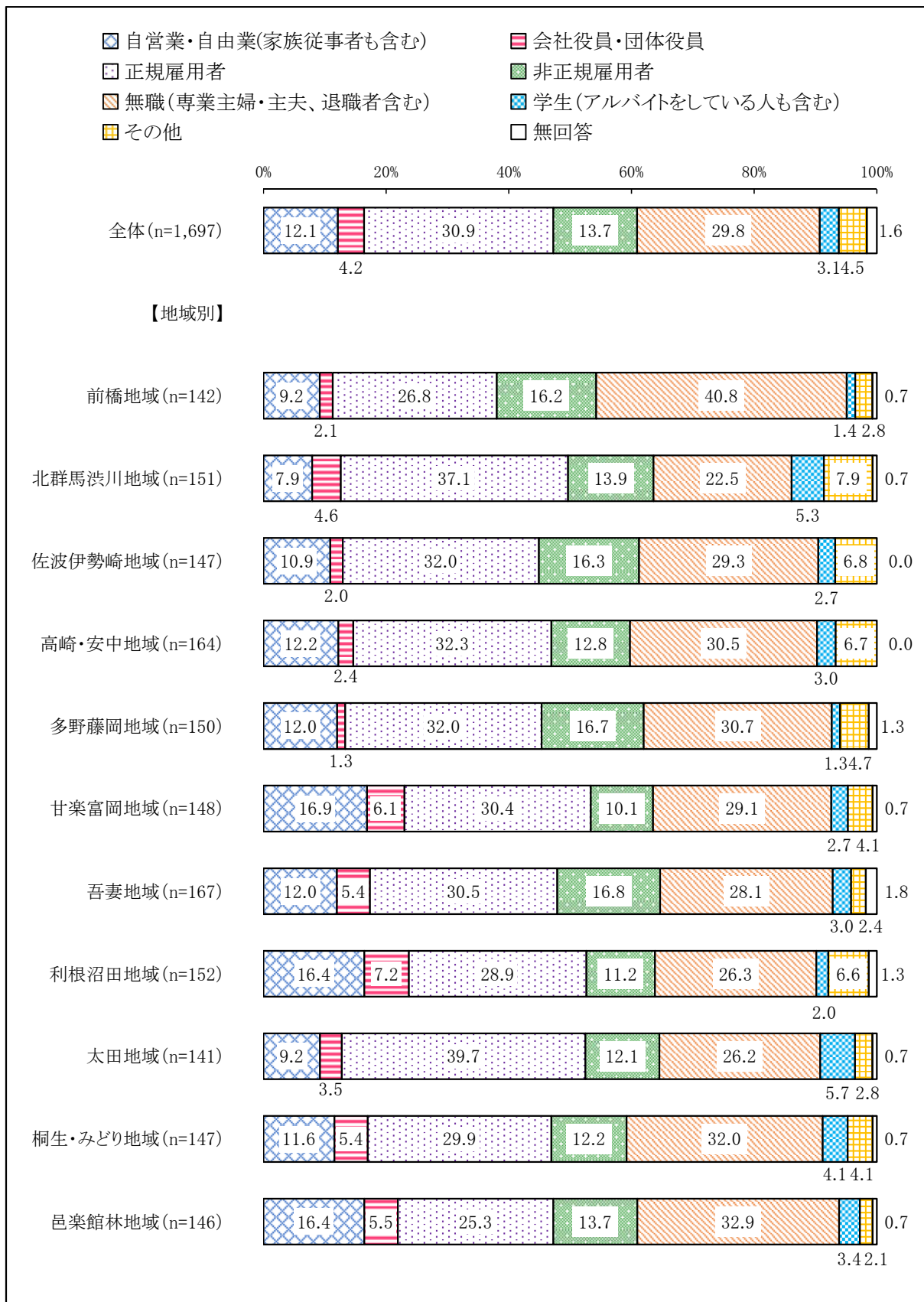
（1）性別



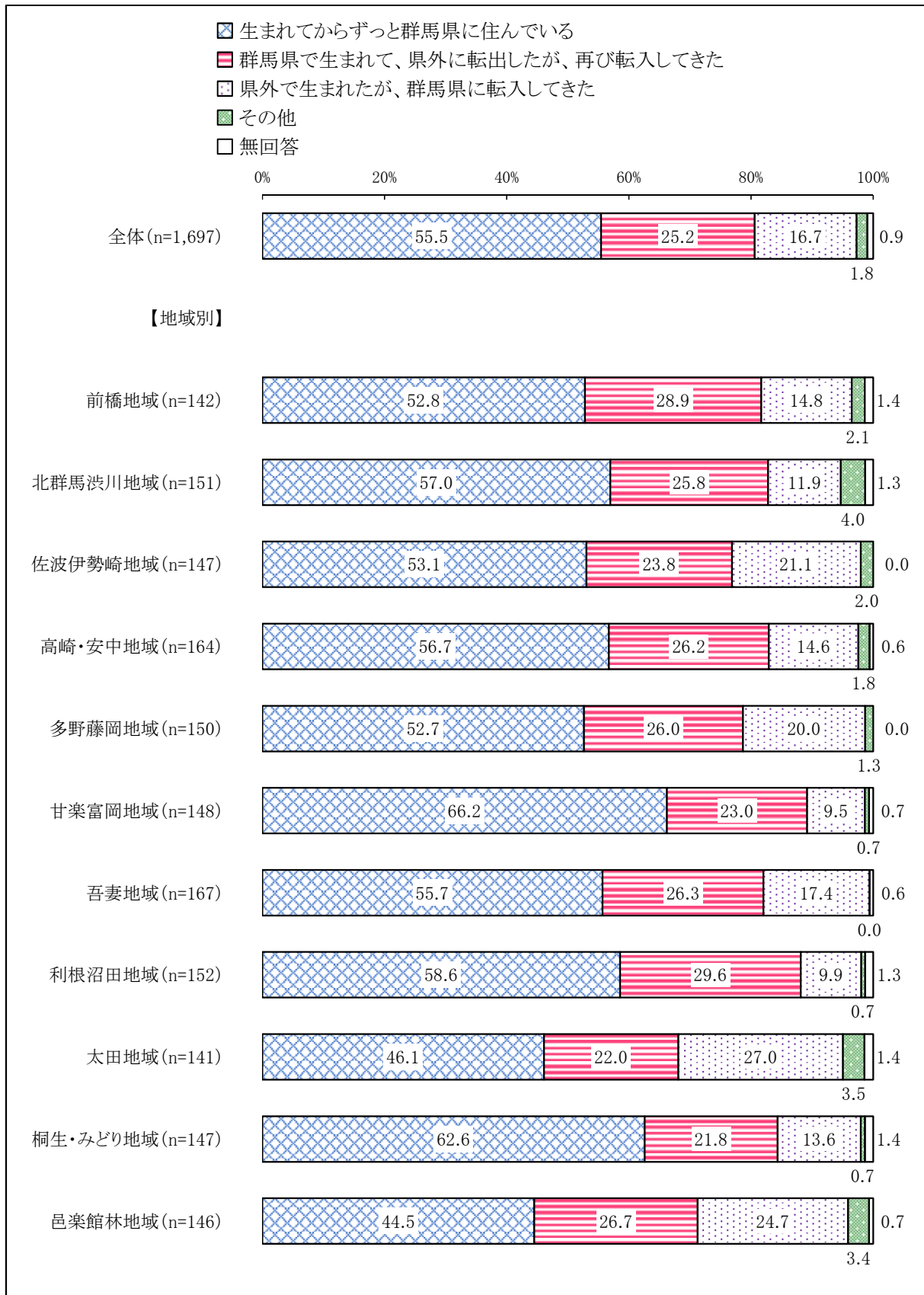
(2) 年代別



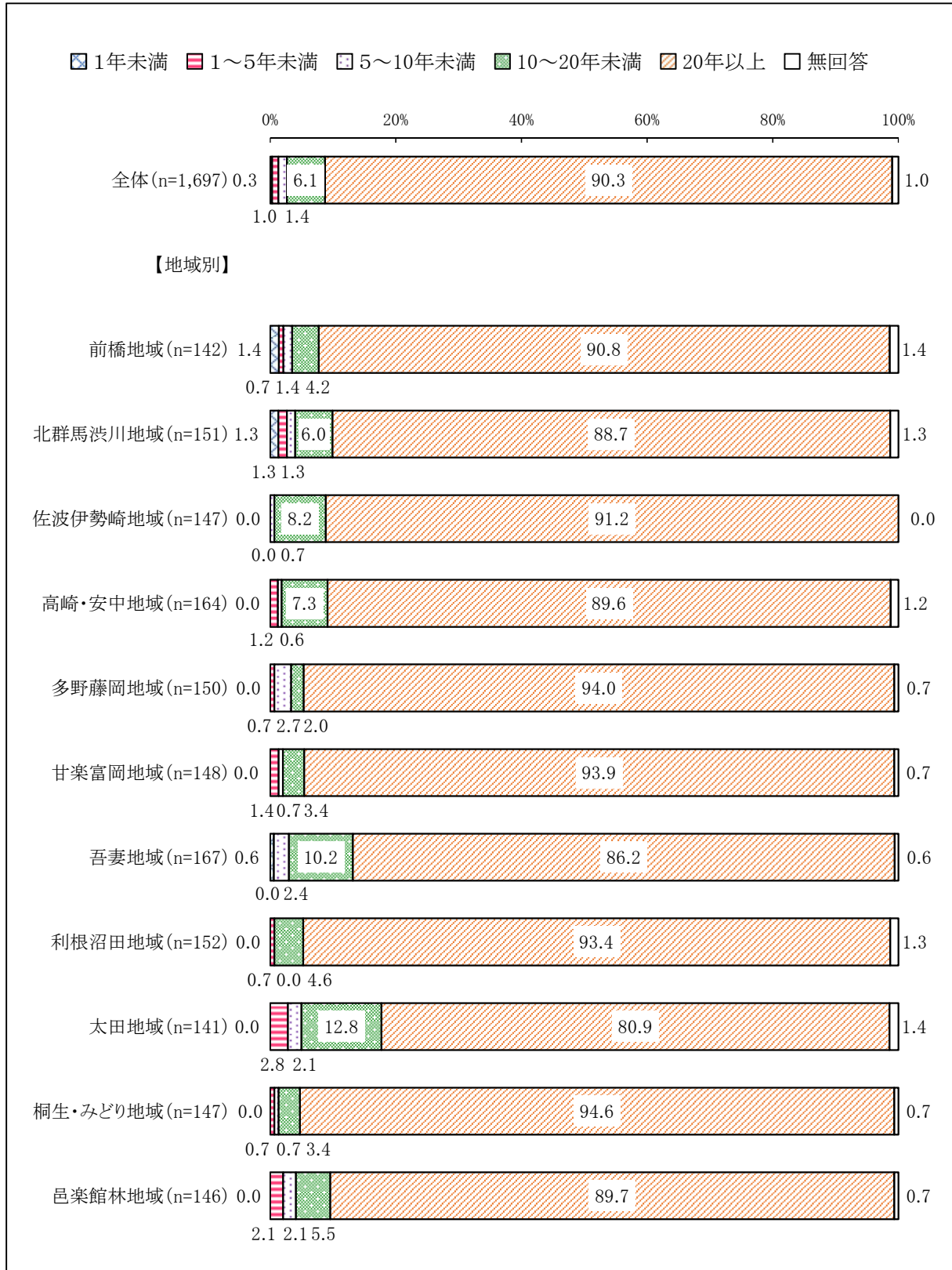
(3) 職業別



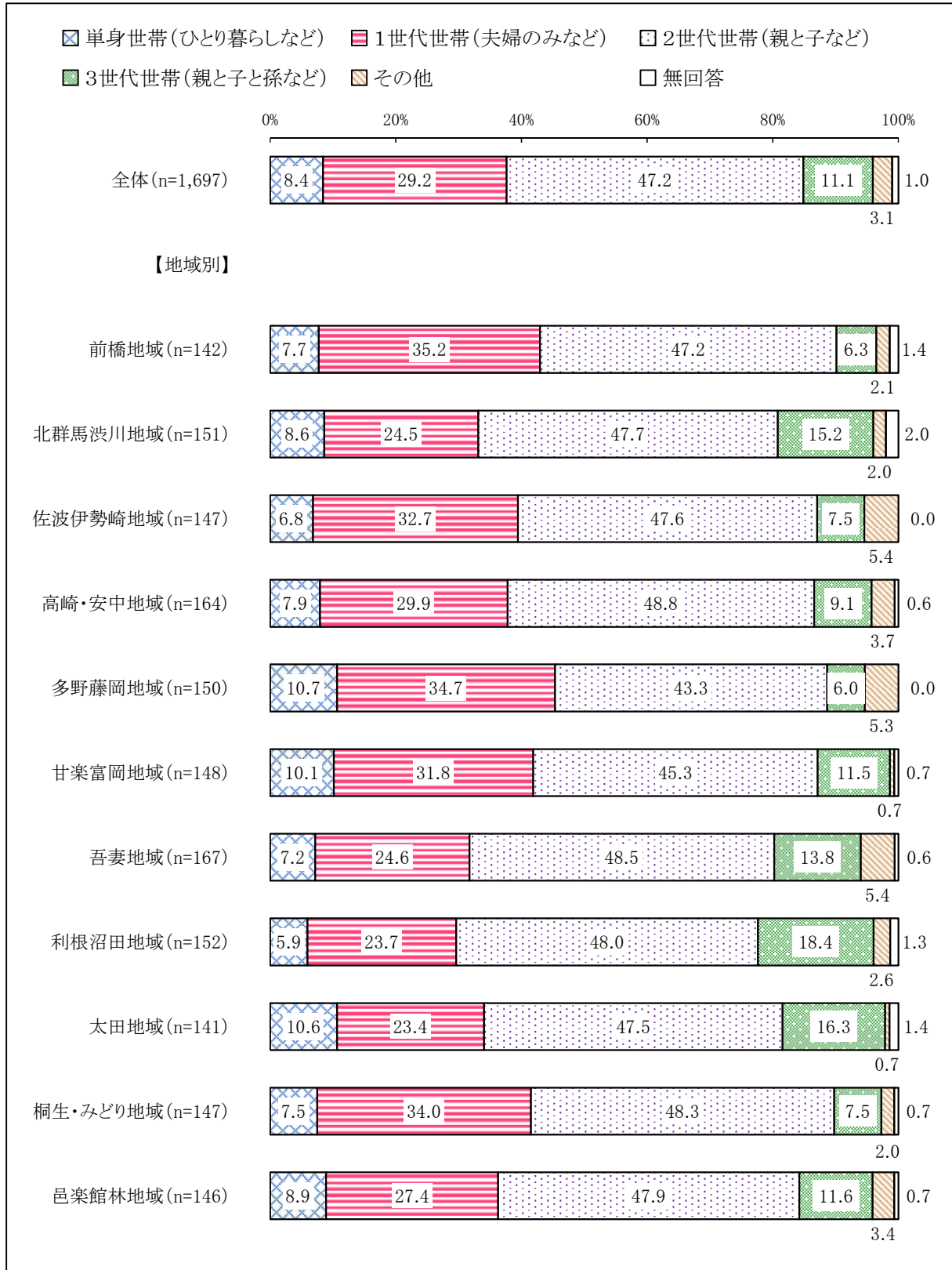
(4) 居住歴別



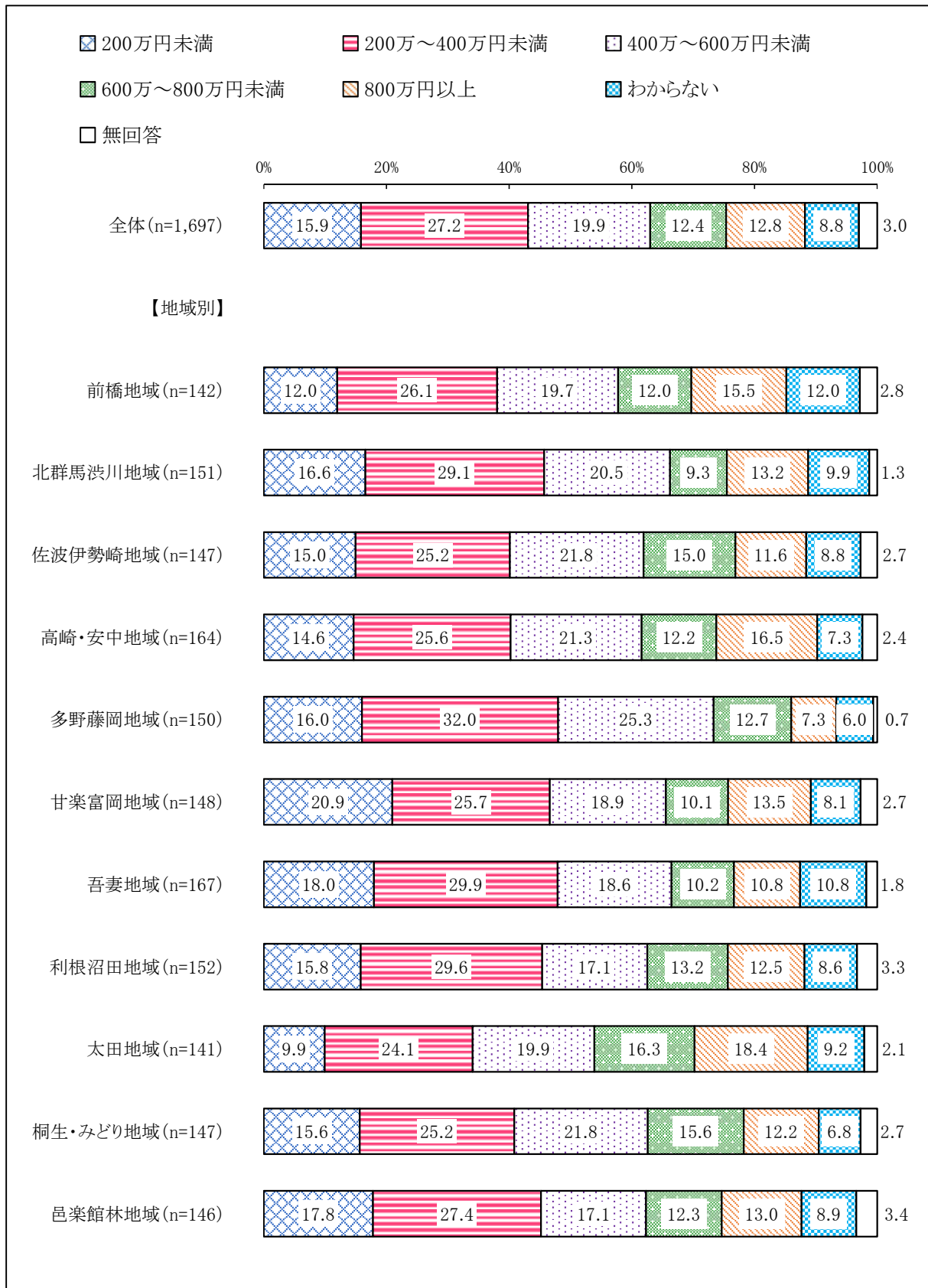
(5) 居住年数別



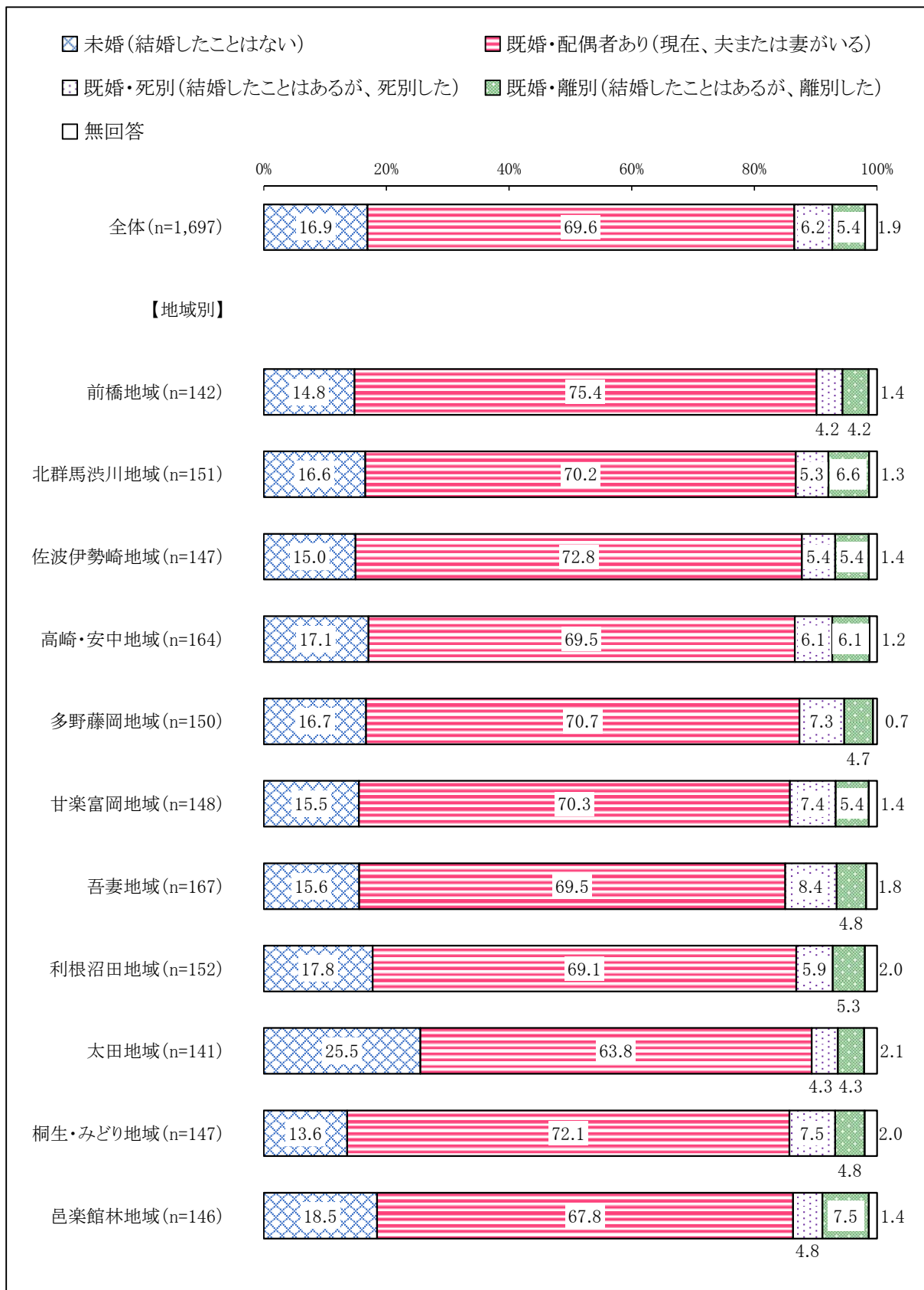
(6) 世帯構成別



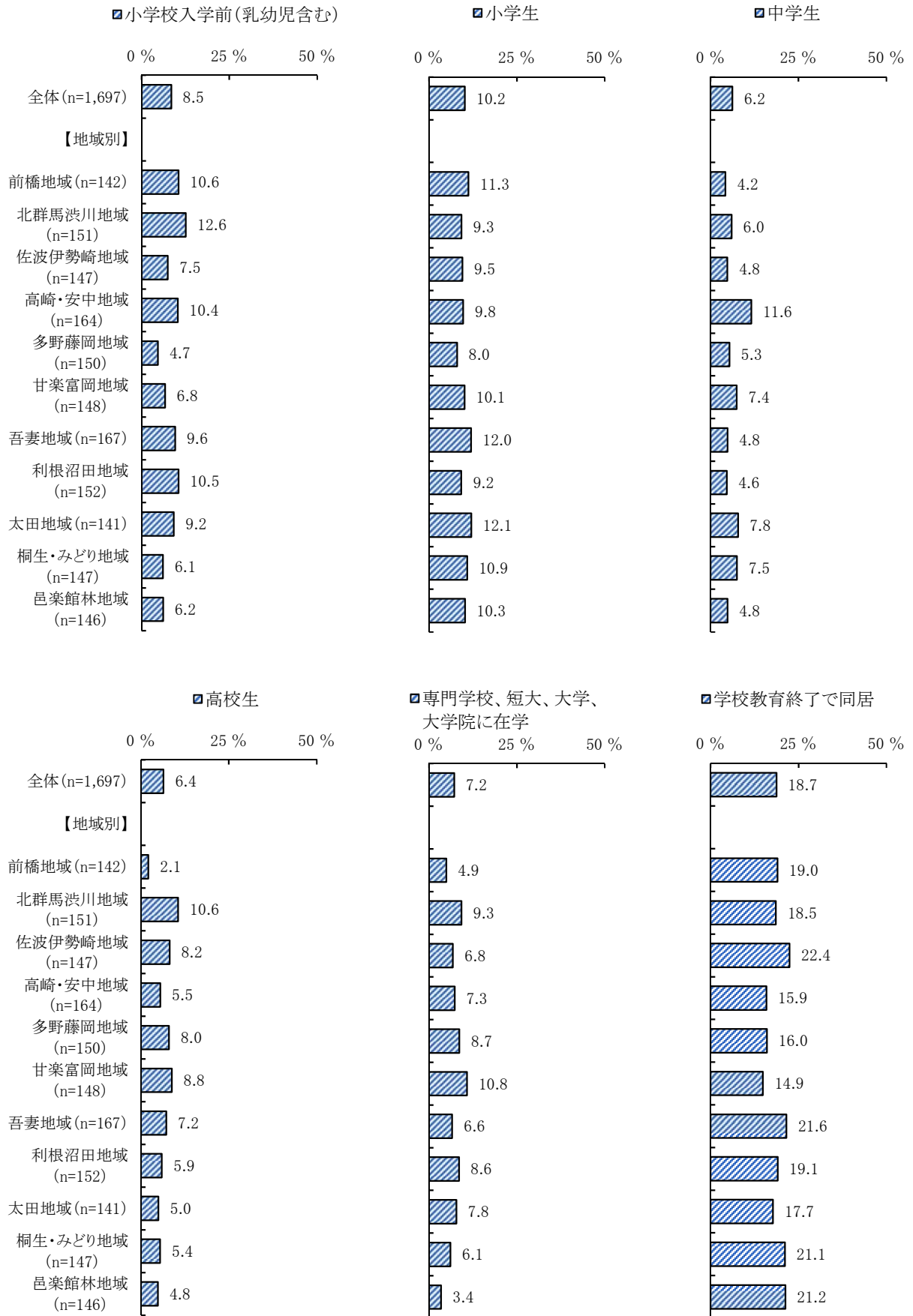
(7) 世帯年収別

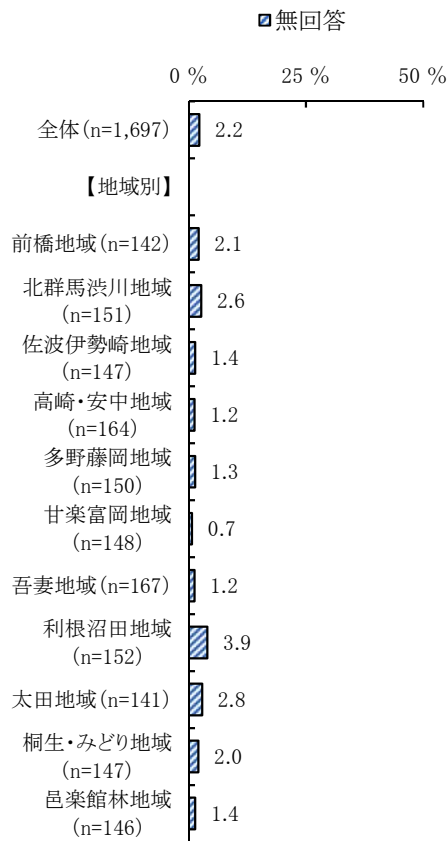
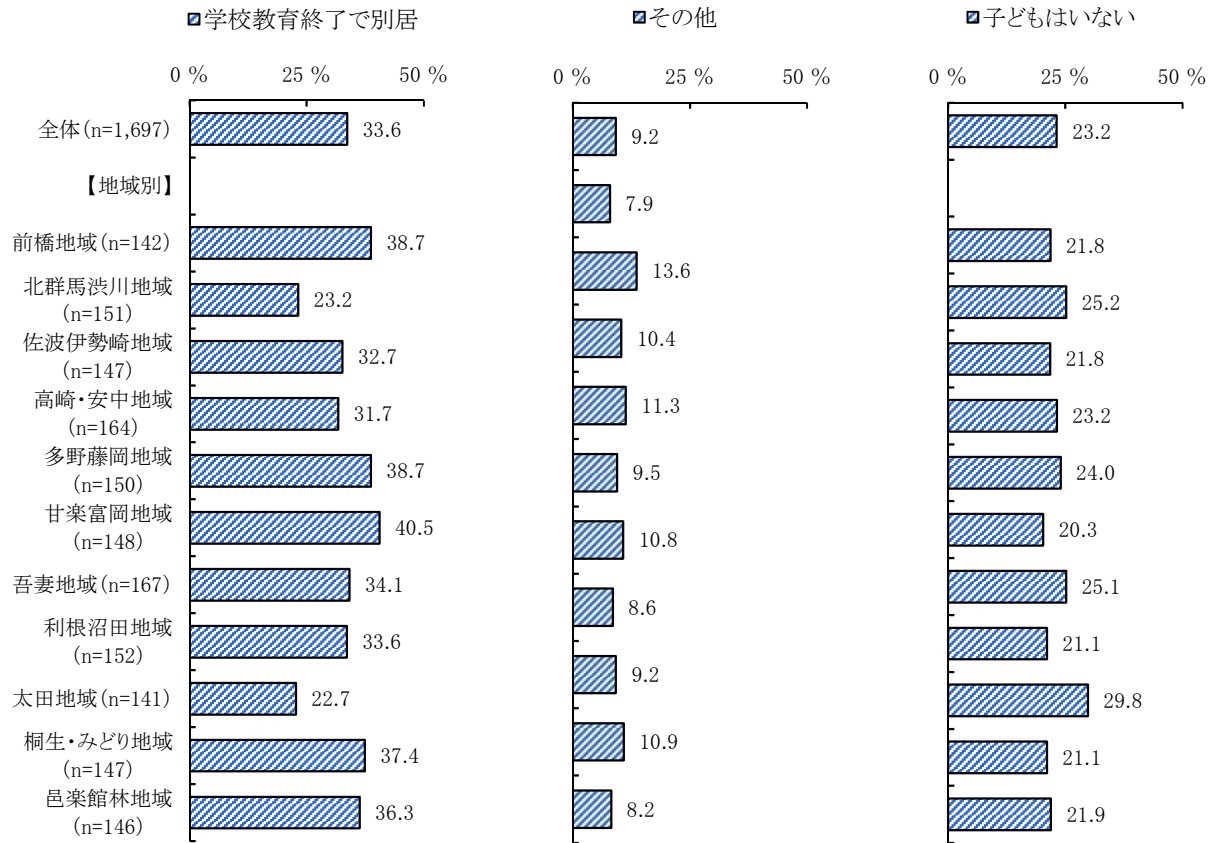


(8) 未既婚状況別



(9) 子どもの有無別





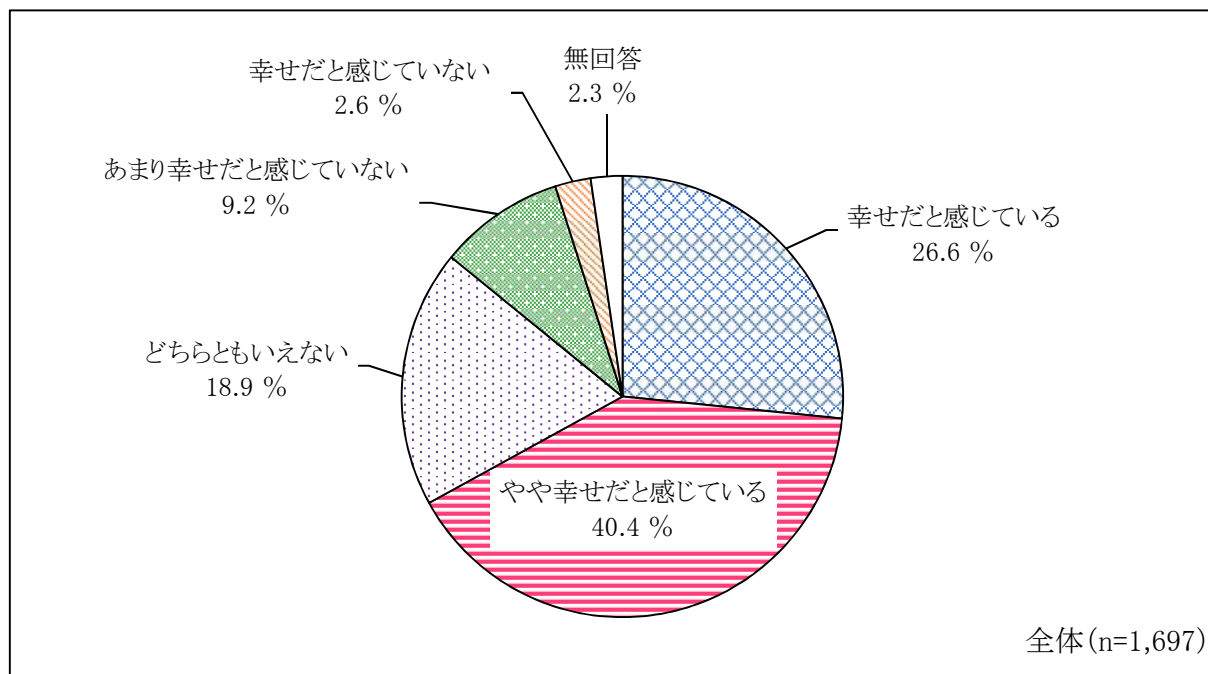
II 調査結果

1. 「幸福」に関する考え方などについて

(1) 幸福感について

① 属性別にみた幸福感

Q あなたは現在、どの程度幸せだと感じていますか。
最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 『幸せだと感じている』人は7割近く —

【全体結果】

「幸せだと感じている」(26.6%)と「やや幸せだと感じている」(40.4%)を合わせた『幸せだと感じている』(67.0%)と答えた割合は7割近くを占めています。「あまり幸せだと感じていない」(9.2%)と「幸せだと感じていない」(2.6%)を合わせた『幸せだと感じていない』(11.8%)と答えた割合は約1割となっています。

【属性別結果】

ア 性別

『幸せだと感じている』と答えた割合は、男性(63.5%)と比べて女性(72.4%)で高くなっています。

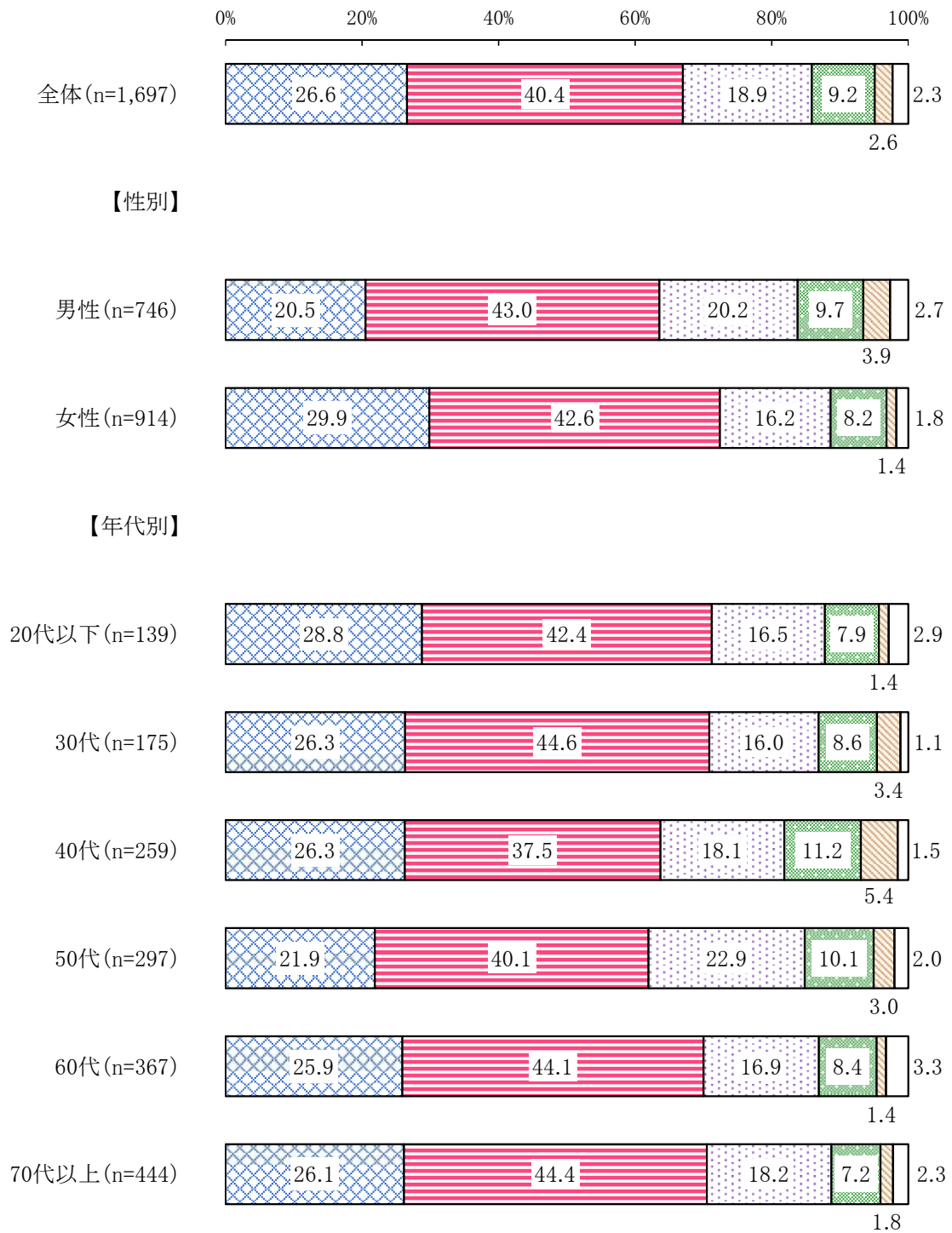
イ 年代別

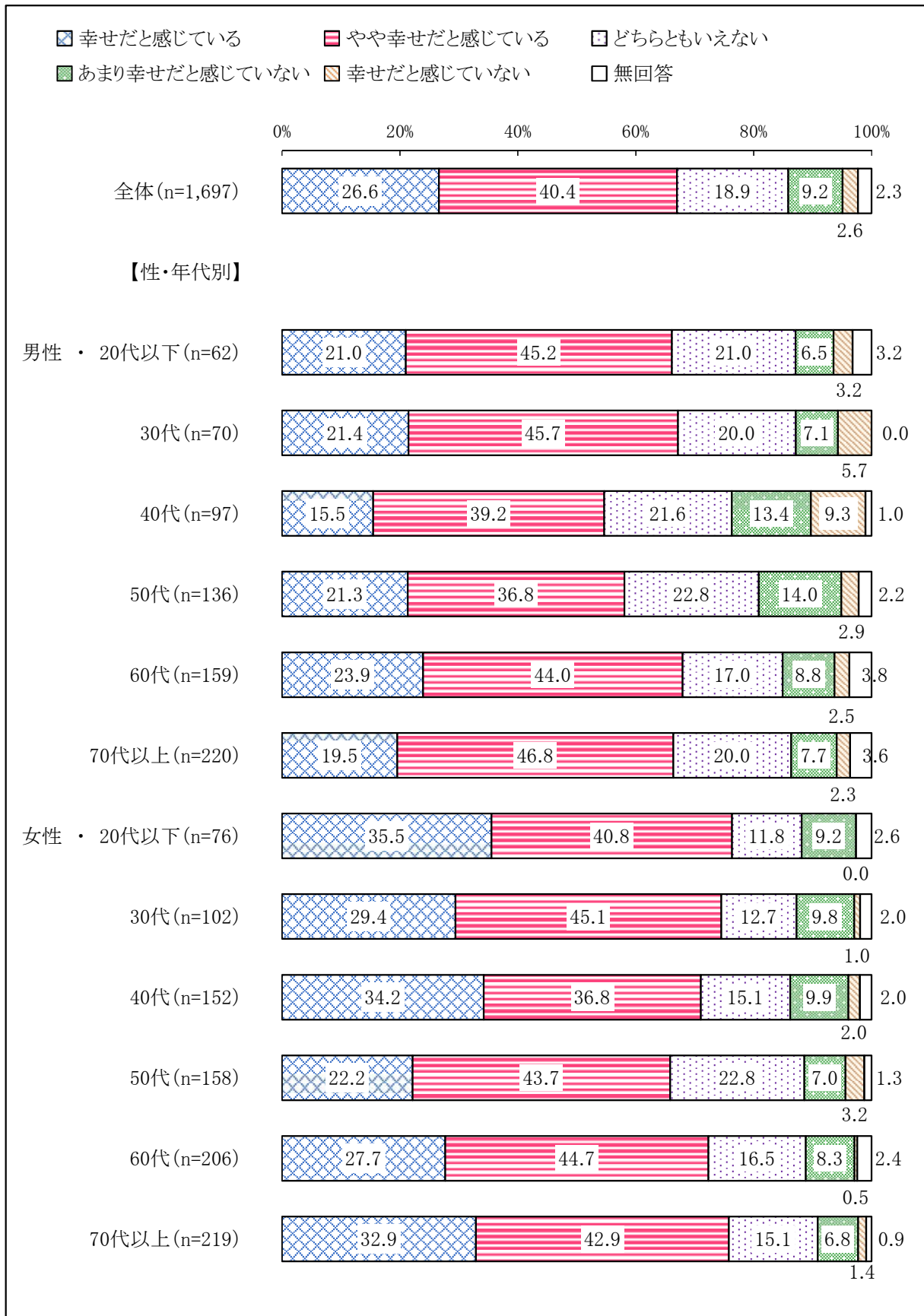
『幸せだと感じている』と答えた割合は、他の年代と比べて40～50代で6割強とやや低くなっています。他の年代では7割を超えています。

ウ 性・年代別

『幸せだと感じている』と答えた割合は、女性の20代以下、30代、70代以上で高く7割半ばとなっています。女性では50代で最も低く6割半ば、男性では40～50代で低く6割未満でした。

幸せだと感じている
 やや幸せだと感じている
 どちらともいえない
 あまり幸せだと感じていない
 幸せだと感じていない
 無回答





② 幸福感を判断する際に重視する事項

現在、または、10年後の幸福感を判断する14項目の回答率をランキング化しました。

【全体結果】

現在と比べ10年後の回答率が高くなっているのは、「健康状況」(65.6%→80.4%)、「家計の状況(所得)」(46.2%→58.4%)、「生きがい」(18.9%→19.9%)、「生活環境(居住・福祉・教育環境など)」(14.2%→17.6%)、「地域の治安・防災体制」(3.2%→4.1%)、「地域コミュニティとの関係」(2.8%→3.4%)となっています。

現在の幸福感を判断する重視度ランキング

順位	項目	回答率 (%)
1	健康状況	65.6
2	家族関係	54.0
3	家計の状況(所得)	46.2
4	自由な時間・充実した余暇	23.3
5	精神的なゆとり	21.6
6	生きがい	18.9
7	友人関係	14.6
8	生活環境(居住・福祉・教育環境など)	14.2
9	就業状況(仕事の有無・安定)	13.7
10	仕事の充実度	6.2
11	職場の人間関係	4.0
12	地域の治安・防災体制	3.2
13	地域コミュニティとの関係	2.8
14	地域の自然・歴史・文化	2.5

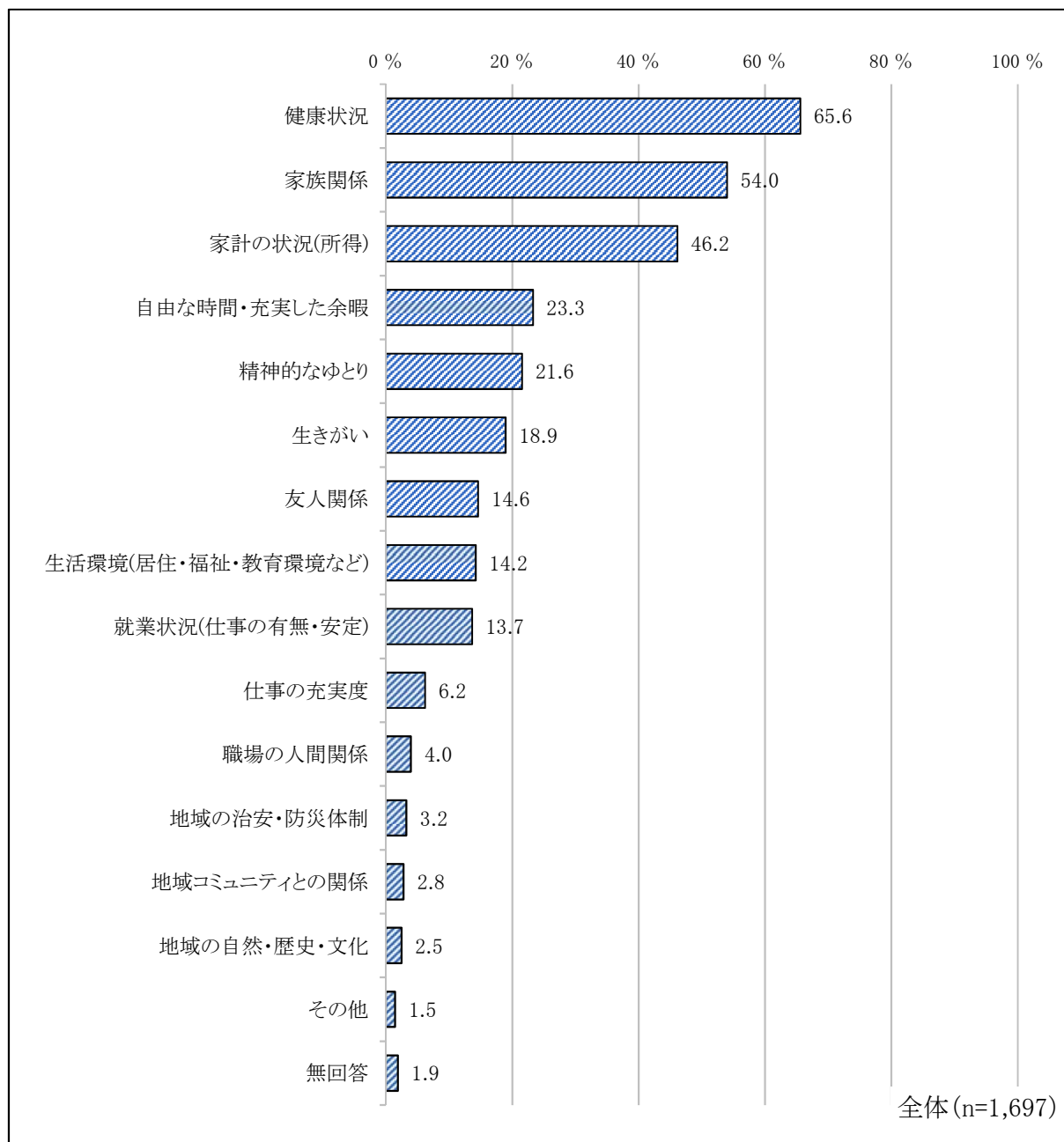
10年後の幸福感を判断する重視度ランキング

順位	項目	回答率 (%)	
1	健康状況	80.4	↑
2	家計の状況(所得)	58.4	↑
3	家族関係	49.5	↓
4	精神的なゆとり	21.5	—
5	生きがい	19.9	—
6	生活環境(居住・福祉・教育環境など)	17.6	↑
7	自由な時間・充実した余暇	12.4	↓
8	就業状況(仕事の有無・安定)	10.6	↓
9	友人関係	7.7	↓
10	地域の治安・防災体制	4.1	—
11	地域コミュニティとの関係	3.4	—
12	仕事の充実度	2.8	↓
13	職場の人間関係	1.6	—
14	地域の自然・歴史・文化	0.5	—

回答率が高いほど、「重視度」が高い項目です。

↑ 3ポイント以上増
↓ 3ポイント以上減

Q 現在のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に重視した事項は何ですか。
 次の1～15の中から、特に重視したものを3つ選び、番号に○をつけてください。
 (○は3つ)



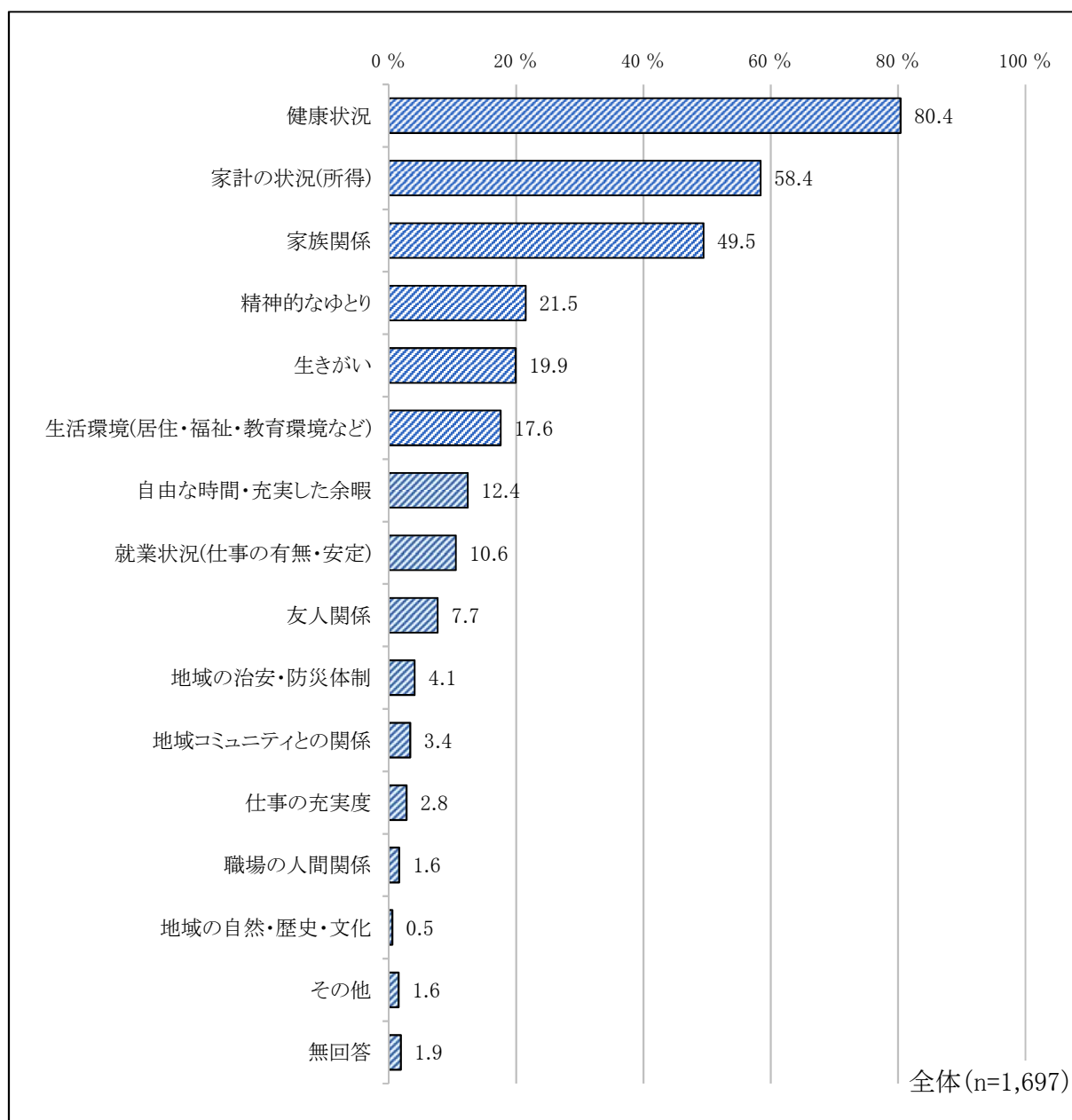
— 1位「健康状況」、2位「家族関係」、3位「家計の状況(所得)」 —

【全体結果】

幸福感を重視する事項について、「健康状況」(65.6%)と答えた割合が6割半ばで最も高くなっています。次いで「家族関係」(54.0%)が5割半ば、「家計の状況(所得)」(46.2%)が4割半ばとなっています。

なお、その他の主な内容として、「その地域の財政」や「免許返納後の買物への不安」、「子どもの成長」、「社会情勢、とくにコロナ関連」が寄せられています。

Q 10年後のあなたを想像してお答えください。
 10年後のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に、重視するだろうと考えられる事項は何ですか。次の1～15の中から、特に重視するだろうと考えられるものを3つ選び、番号に○をつけてください。(○は3つ)



— 1位「健康状況」、2位「家計の状況（所得）」、3位「家族関係」 —

【全体結果】

10年後、幸福感を重視するだろう事項について、「健康状態」（80.4%）と答えた割合が約8割で最も高くなっています。次いで「家計の状況（所得）」（58.4%）が約6割、「家族関係」（49.5%）が約5割となっています。

なお、その他の主な内容として、「子どもの成長」や「コロナの収束」が寄せられています。

③ 感じている幸福感別の重視する事項

重視項目	全体 (n=1697)	幸せだと感じて いる (n=435)	やや幸せだと感 じている (n=714)	どちらともいえ ない (n=313)	あまり幸せだと 感じていない (n=150)	幸せだと感じて いない (n=46)
健康状況	65.6	67.8	68.2	68.1	52.0	45.7
家計の状況(所得)	46.2	32.9	45.1	50.8	66.7	71.7
就業状況(仕事の有無・安定)	13.7	9.0	13.3	19.8	18.0	23.9
生活環境(居住・福祉・教育環境など)	14.2	14.7	16.0	12.1	14.0	13.0
地域の治安・防災体制	3.2	3.0	4.2	3.8	2.0	0.0
地域の自然・歴史・文化	2.5	2.1	3.2	1.0	2.7	2.2
家族関係	54.0	72.6	58.3	37.7	28.0	28.3
友人関係	14.6	19.3	15.8	11.2	12.0	10.9
職場の人間関係	4.0	3.4	4.1	6.4	7.3	2.2
地域コミュニティとの関係	2.8	2.8	3.6	2.2	1.3	2.2
精神的なゆとり	21.6	18.4	16.4	29.7	35.3	32.6
生きがい	18.9	16.6	16.1	21.1	20.0	21.7
仕事の充実度	6.2	6.4	8.0	7.7	6.7	0.0
自由な時間・充実した余暇	23.3	23.9	24.5	21.7	23.3	32.6
その他	1.5	1.4	0.8	2.2	3.3	2.2

※1位を■、2位を■、3位を■で色付け

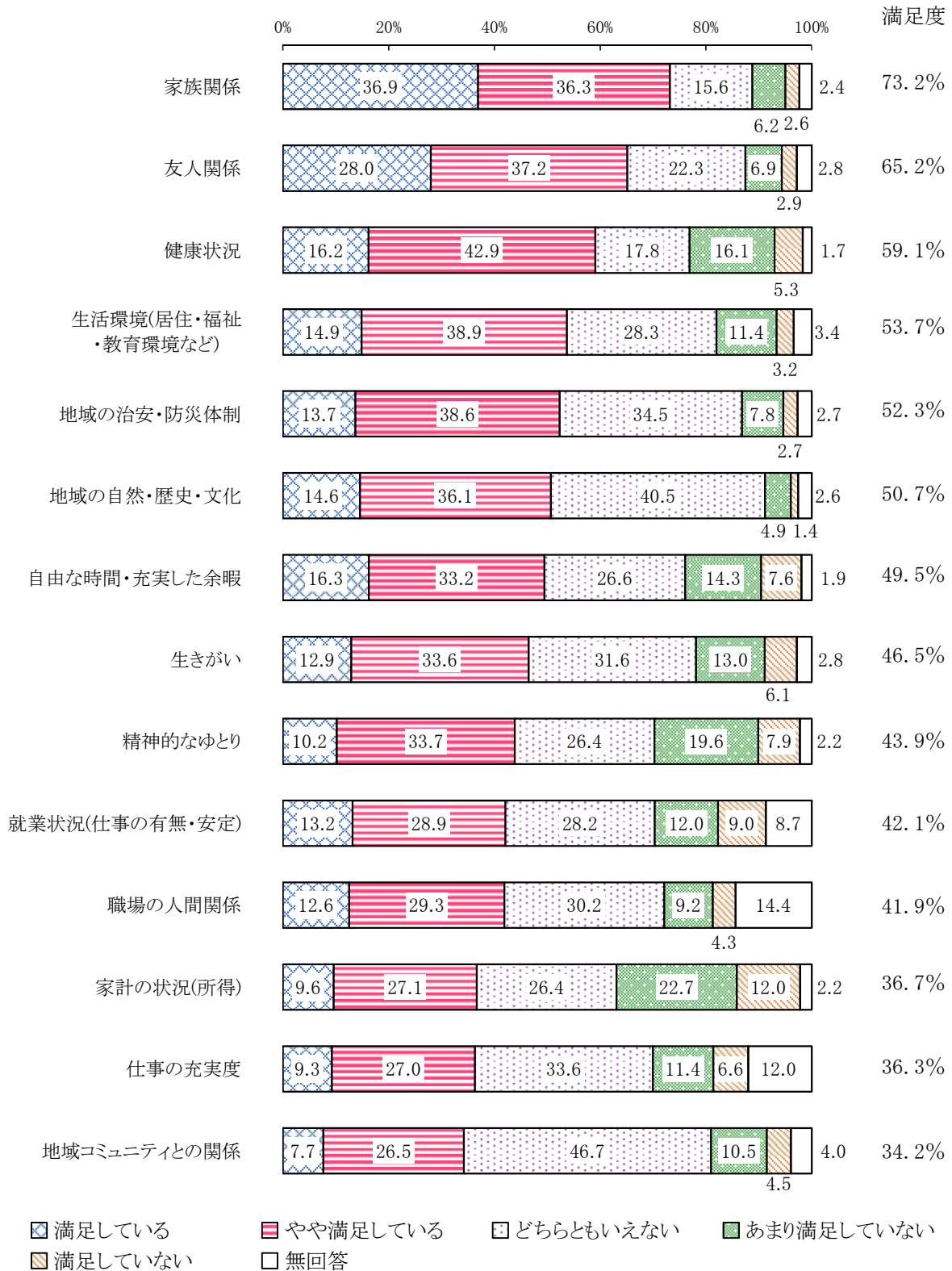
— 幸せだと感じていると回答した人は「家庭関係」、「健康状況」を重視、
 幸せだと感じていないと回答した人は「家計の状況(所得)」を重視 —

(2) 幸福感と満足度の関係について

① 満足度結果一覧

14項目の満足度（「満足している」＋「やや満足している」）をランキング化しました。

満足度ランキング

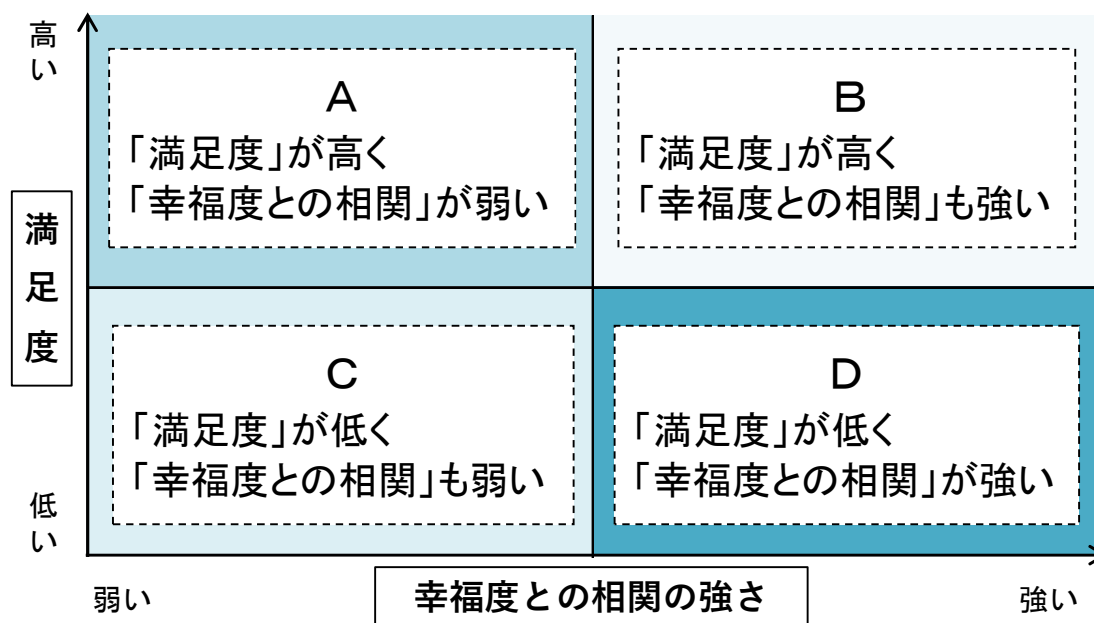


② 幸福感と満足度との関係

《満足度と幸福度との相関の強さの散布図》

本県の取組における項目間の相対的な位置付けを整理するため、「満足度」を縦軸、「幸福度との相関の強さ」を横軸にとり、各項目の「満足度」「幸福度との相関の強さ」の数値を散布図に示しました。

「満足度」「幸福度との相関の強さ」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



A：維持領域

幸福度との相関は弱いが満足度が高い取組は、現状を維持していく項目

B：重点的維持領域

幸福度との相関が強く満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目

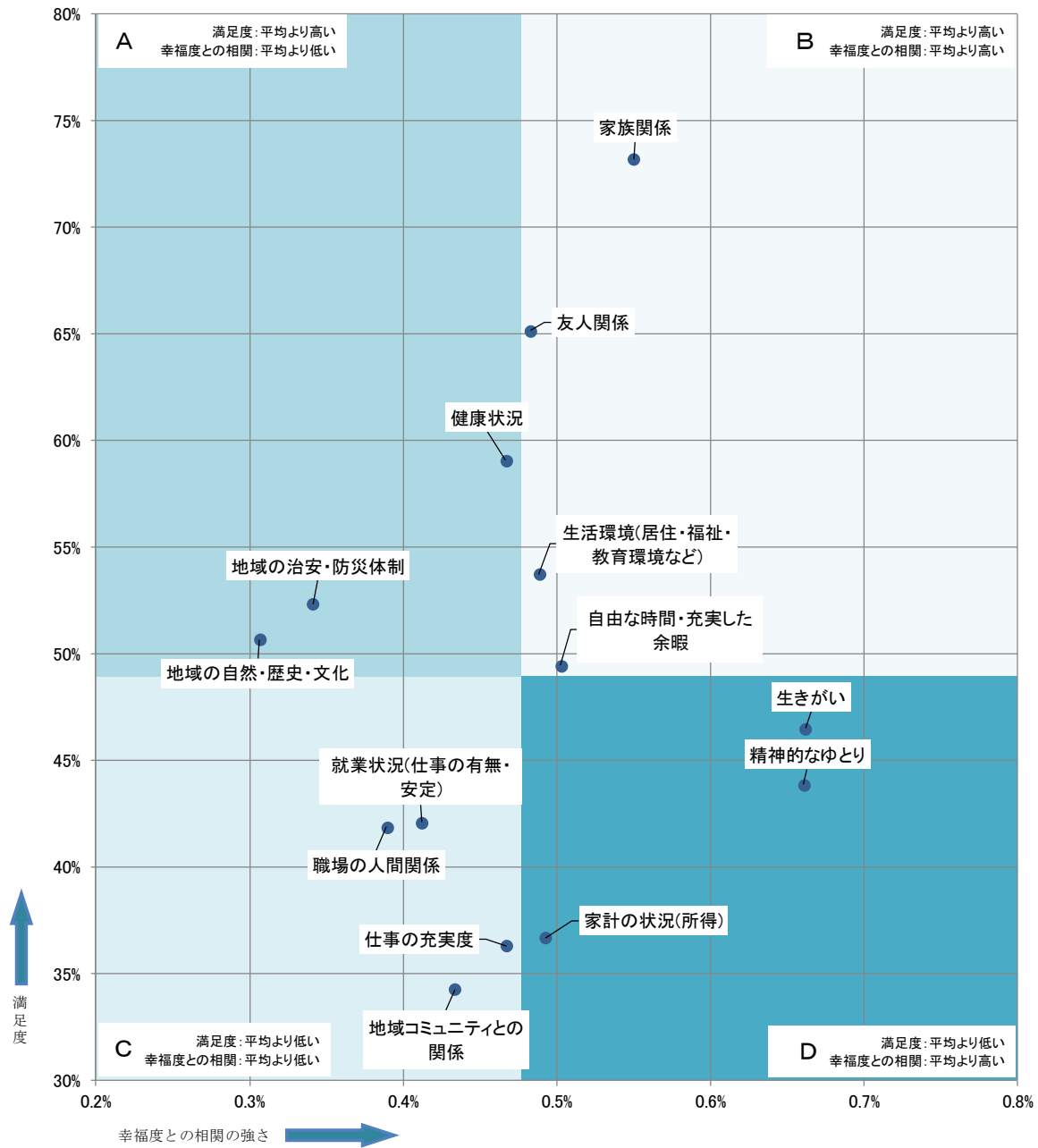
C：要検討領域

幸福度との相関が弱く満足度も低い取組は、県民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目

D：重点的改善領域

幸福度との相関が強いが満足度が低いため、現在のやり方を変え満足度を高めていく必要がある項目

上記のそれぞれの領域に該当した項目の満足度や幸福度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に満足度や幸福度が高い低いということとなります。



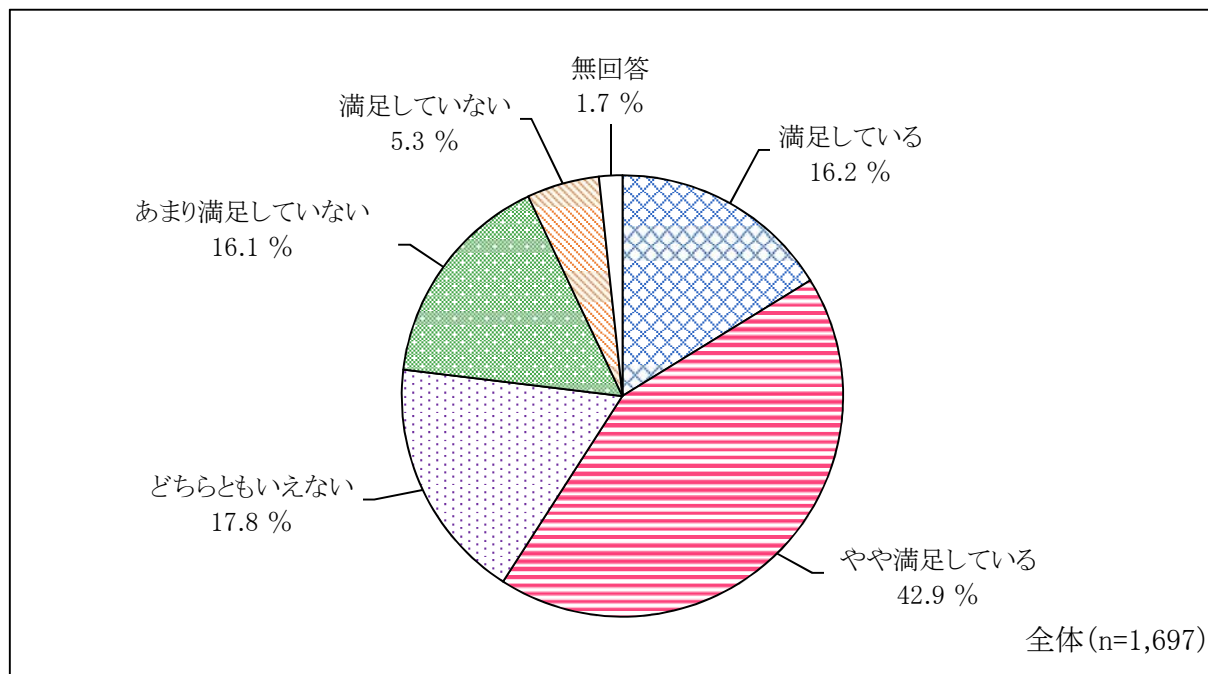
— 幸福度に影響が強いが満足度が低いのは「生きがい」と「精神的なゆとり」 —

幸福度に影響が強いが満足度が低いのは「生きがい」と「精神的なゆとり」となっています。また、「家計の状況(所得)」も幸福度への影響が平均を超えています。満足度は低くなっています。

③ 属性別にみた満足度

Q 現在のあなたご自身の気持ちについてお答えください。
次の1～14の各項目について、あなたはどの程度満足していますか。最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

③-1 健康状況



— 健康状況に『満足している』のは約6割 —

【全体結果】

健康状況について「満足している」(16.2%)と「やや満足している」(42.9%)を合わせた『満足している』(59.1%)と答えた割合は約6割を占めています。「あまり満足していない」(16.1%)と「満足していない」(5.3%)を合わせた『満足していない』(21.4%)と答えた割合は約2割となっています。

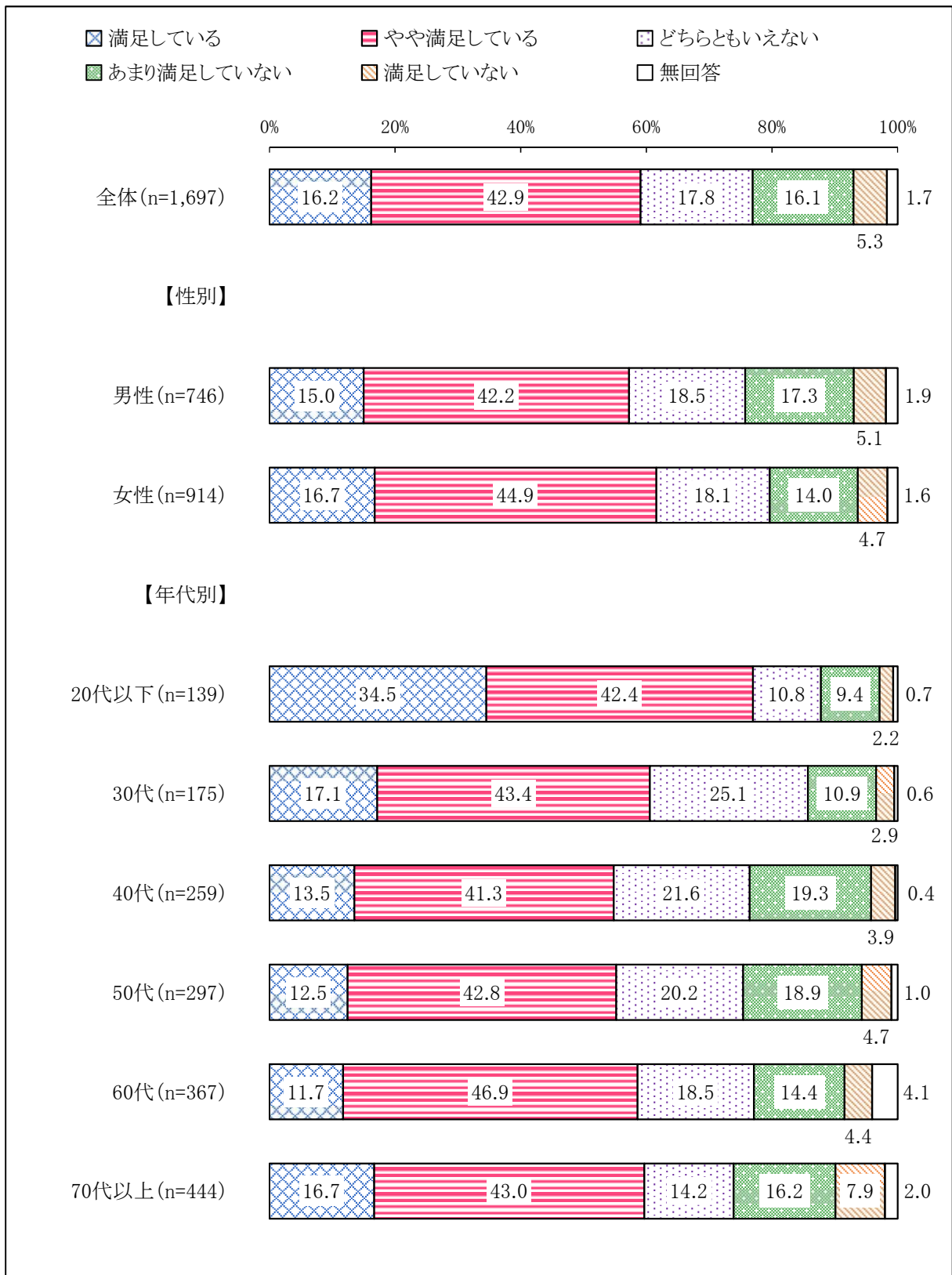
【属性別結果】

ア 性別

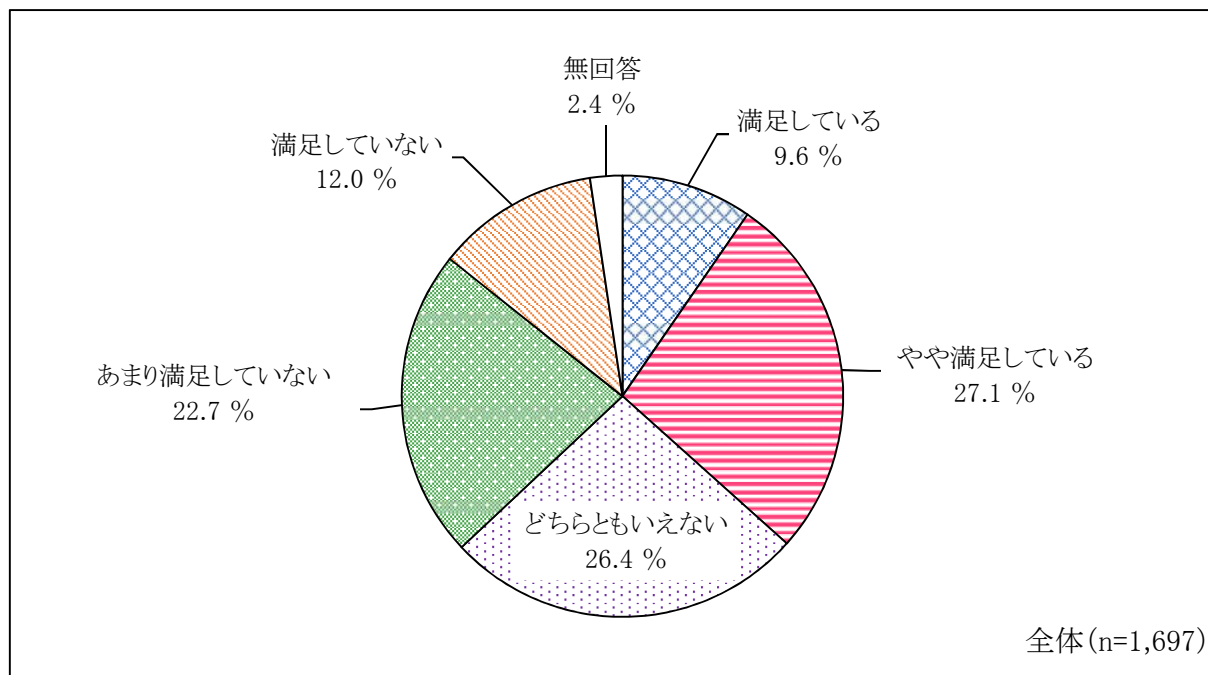
『満足している』と答えた割合は、男性(57.2%)と比べて女性(61.6%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、他の年代と比べて20代以下(77.0%)で最も高く、8割弱となっています。40～50代では5割半ばと他の年代と比べてやや低くなっています。



③-2 家計の状況(所得)



— 家計の状況(所得)に『満足している』のは3割半ば —

【全体結果】

家計の状況(所得)について「満足している」(9.6%)と「やや満足している」(27.1%)を合わせた『満足している』(36.7%)と答えた割合は3割半ばを占めています。「あまり満足していない」(22.7%)と「満足していない」(12.0%)を合わせた『満足していない』(34.7%)と答えた割合もほとんど差はなく、3割半ばとなっています。

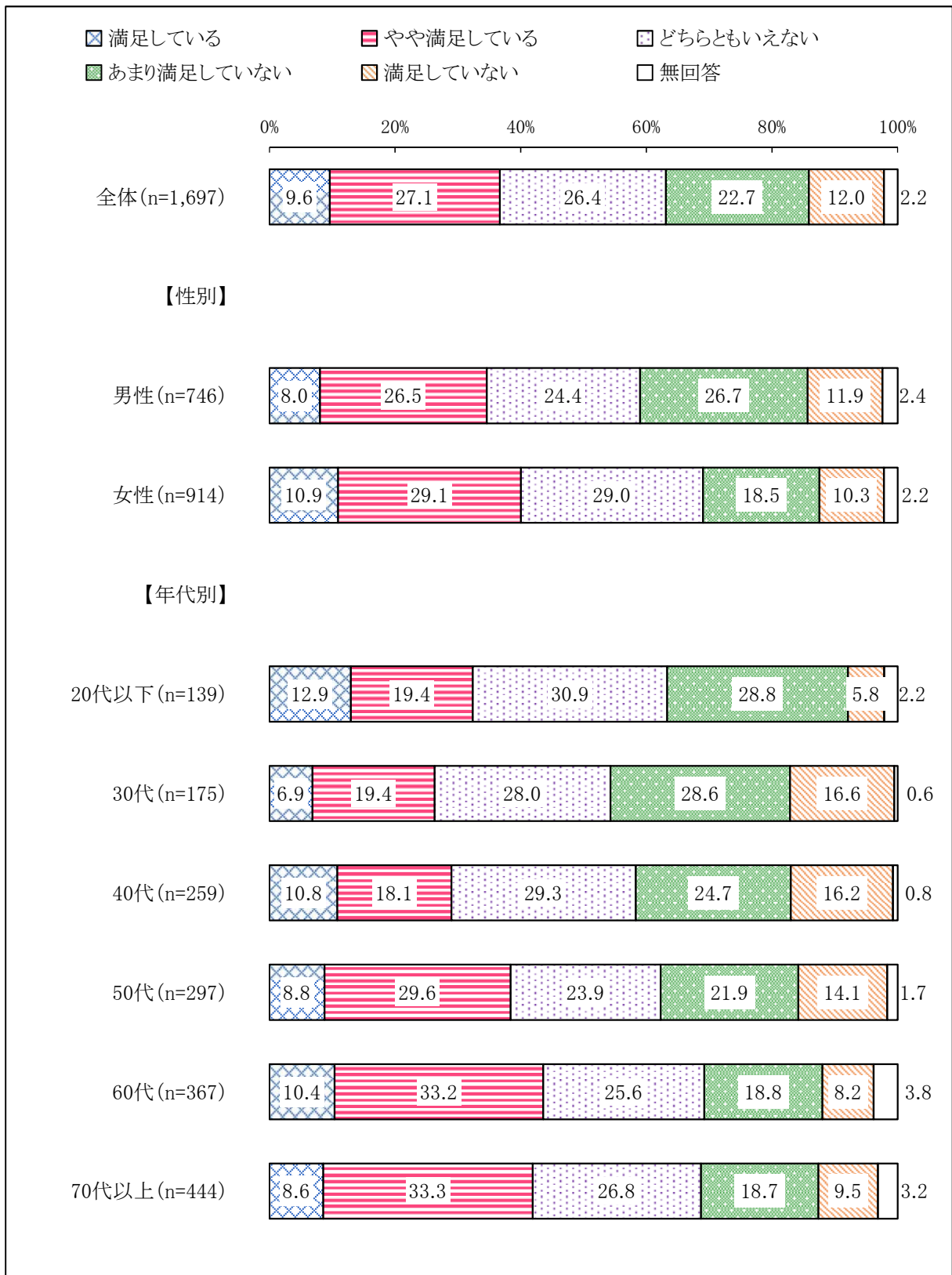
【属性別結果】

ア 性別

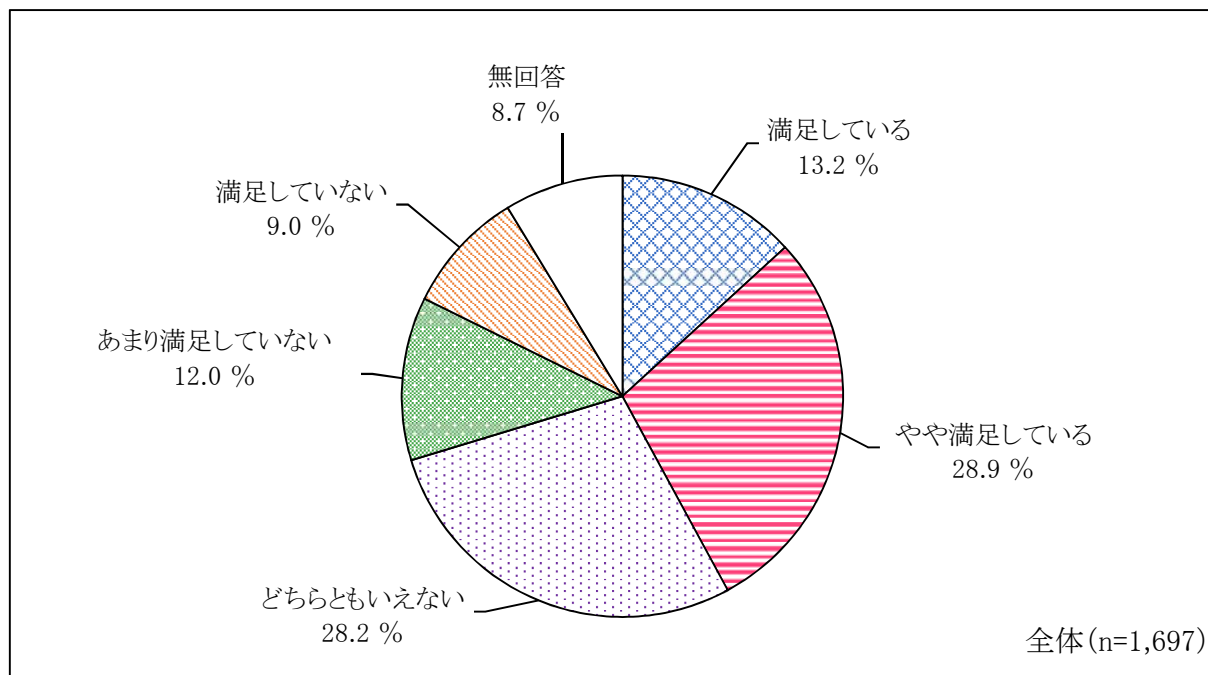
『満足している』と答えた割合は、男性(34.6%)と比べて女性(40.0%)で高くなっています。男性では『満足していない』(38.6%)と答えた割合が『満足している』(34.6%)と答えた割合を上回っています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、他の年代と比べて60代以上で高く4割を超えています。30~40代では3割未満と低く、『満足していない』と答えた割合が『満足している』と答えた割合を上回っています。



③-3 就業状況(仕事の有無・安定)



— 就業状況(仕事の有無・安定)に『満足している』のは約4割 —

【全体結果】

就業状況(仕事の有無・安定)について「満足している」(13.2%)と「やや満足している」(28.9%)を合わせた『満足している』(42.1%)と答えた割合は約4割を占めています。「あまり満足していない」(12.0%)と「満足していない」(9.0%)を合わせた『満足していない』(21.0%)と答えた割合は約2割となっています。

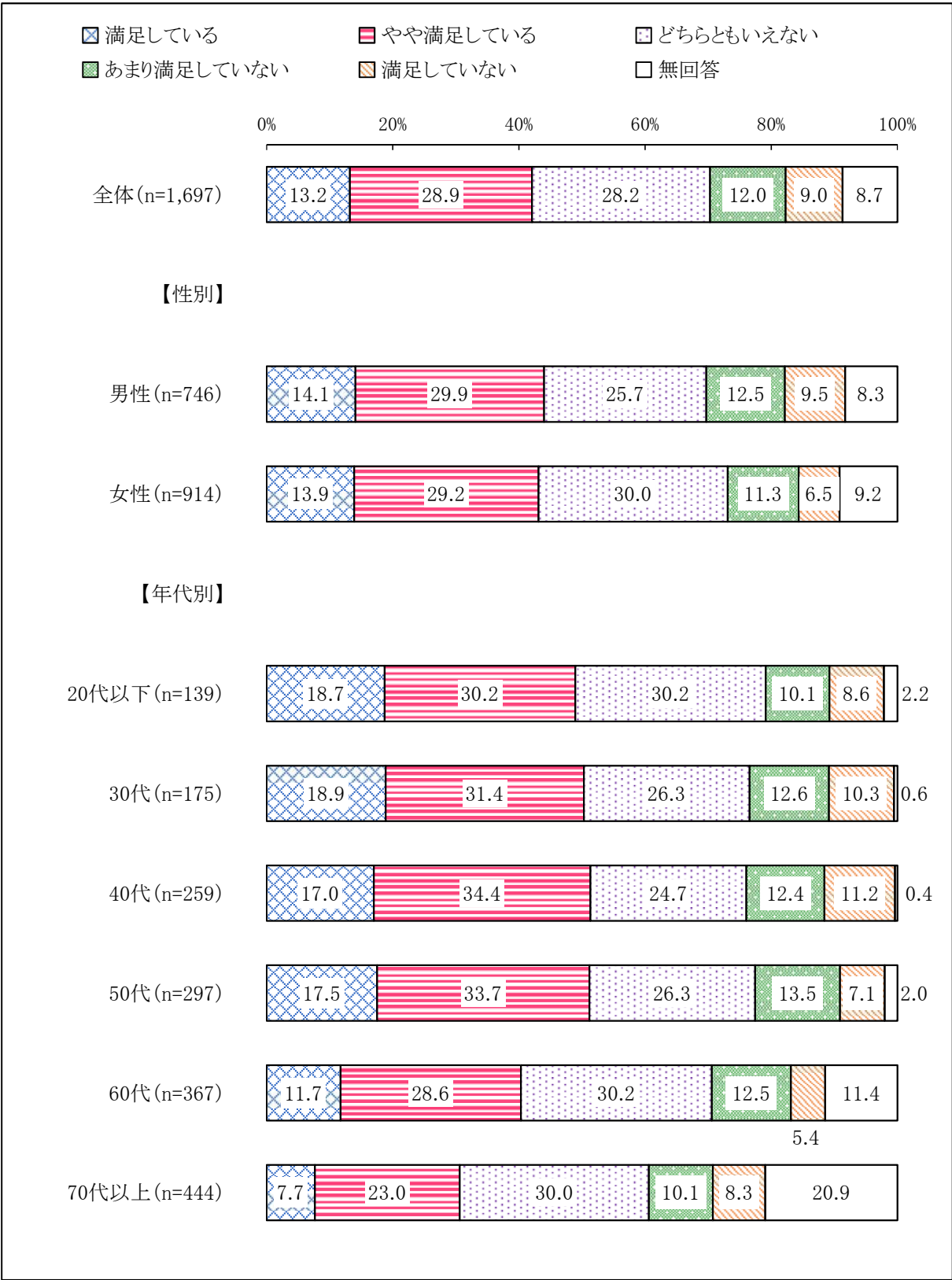
【属性別結果】

ア 性別

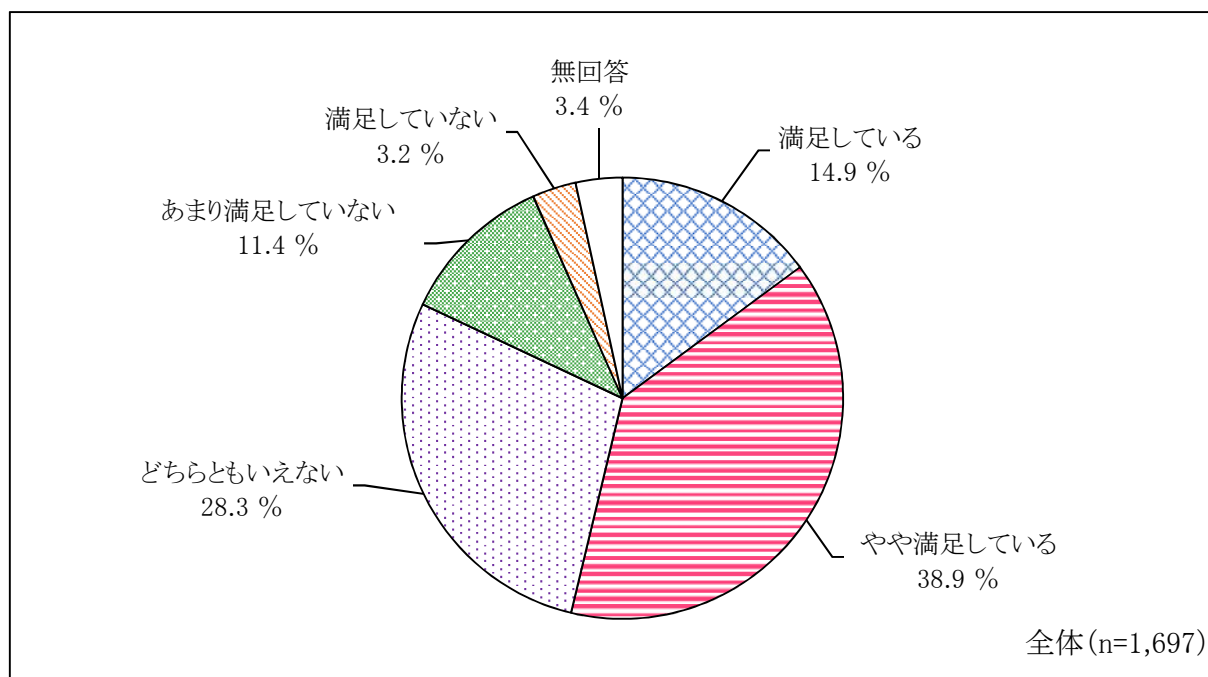
『満足している』と答えた割合は、性別による差はほとんど見られません。『満足していない』と答えた割合は、女性(17.7%)と比べて男性(22.0%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、年代による差は50代以下ではほとんど見られませんが、60代以上で割合が低くなっています。この結果に関しては、60代以上では就業している人が少なく「無回答」が多かったためであると考えられます。



③-4 生活環境(居住・福祉・教育環境など)



— 生活環境(居住・福祉・教育環境など)に『満足している』のは5割強 —

【全体結果】

生活環境(居住・福祉・教育環境など)について「満足している」(14.9%)と「やや満足している」(38.9%)を合わせた『満足している』(53.7%)と答えた割合は5割強を占めています。「あまり満足していない」(11.4%)と「満足していない」(3.2%)を合わせた『満足していない』(14.6%)と答えた割合は1割半ばとなっています。

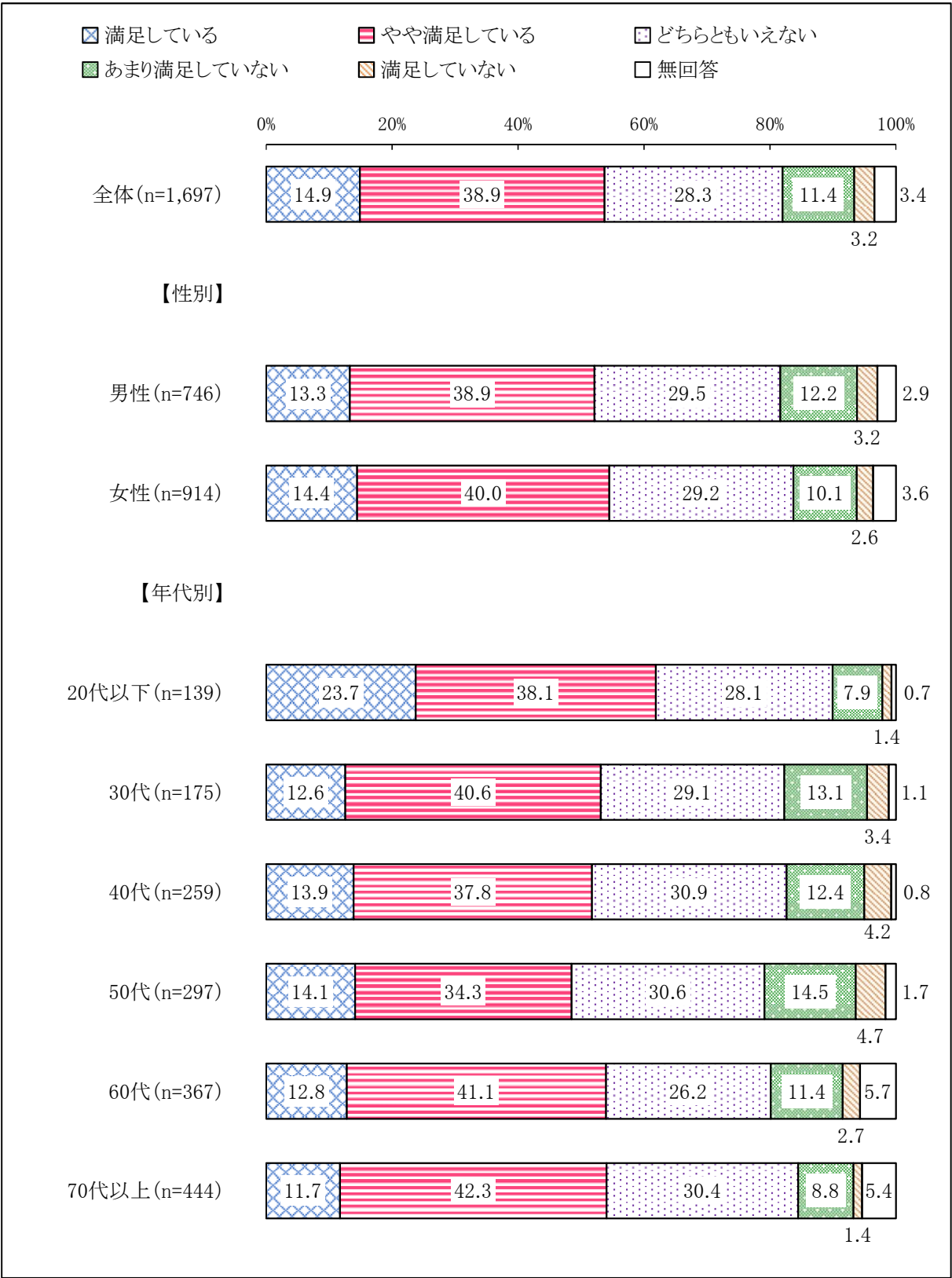
【属性別結果】

ア 性別

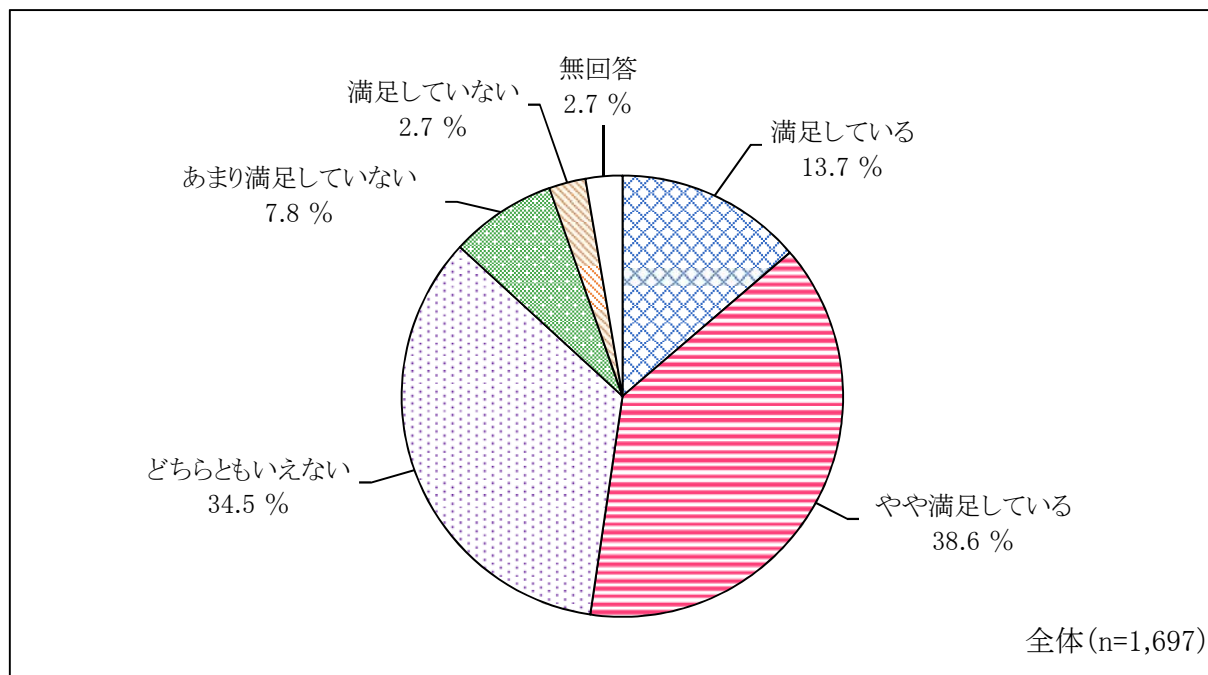
性別による大きな差は見られません。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、他の年代と比べて20代以下(61.9%)で高く、50代(48.5%)で最も低くなっています。



③-5 地域の治安・防災体制



— 地域の治安・防災体制に『満足している』のは5割強 —

【全体結果】

地域の治安・防災体制について「満足している」(13.7%)と「やや満足している」(38.6%)を合わせた『満足している』(52.3%)と答えた割合は5割強を占めています。「あまり満足していない」(7.8%)と「満足していない」(2.7%)を合わせた『満足していない』(10.5%)と答えた割合は約1割となっています。

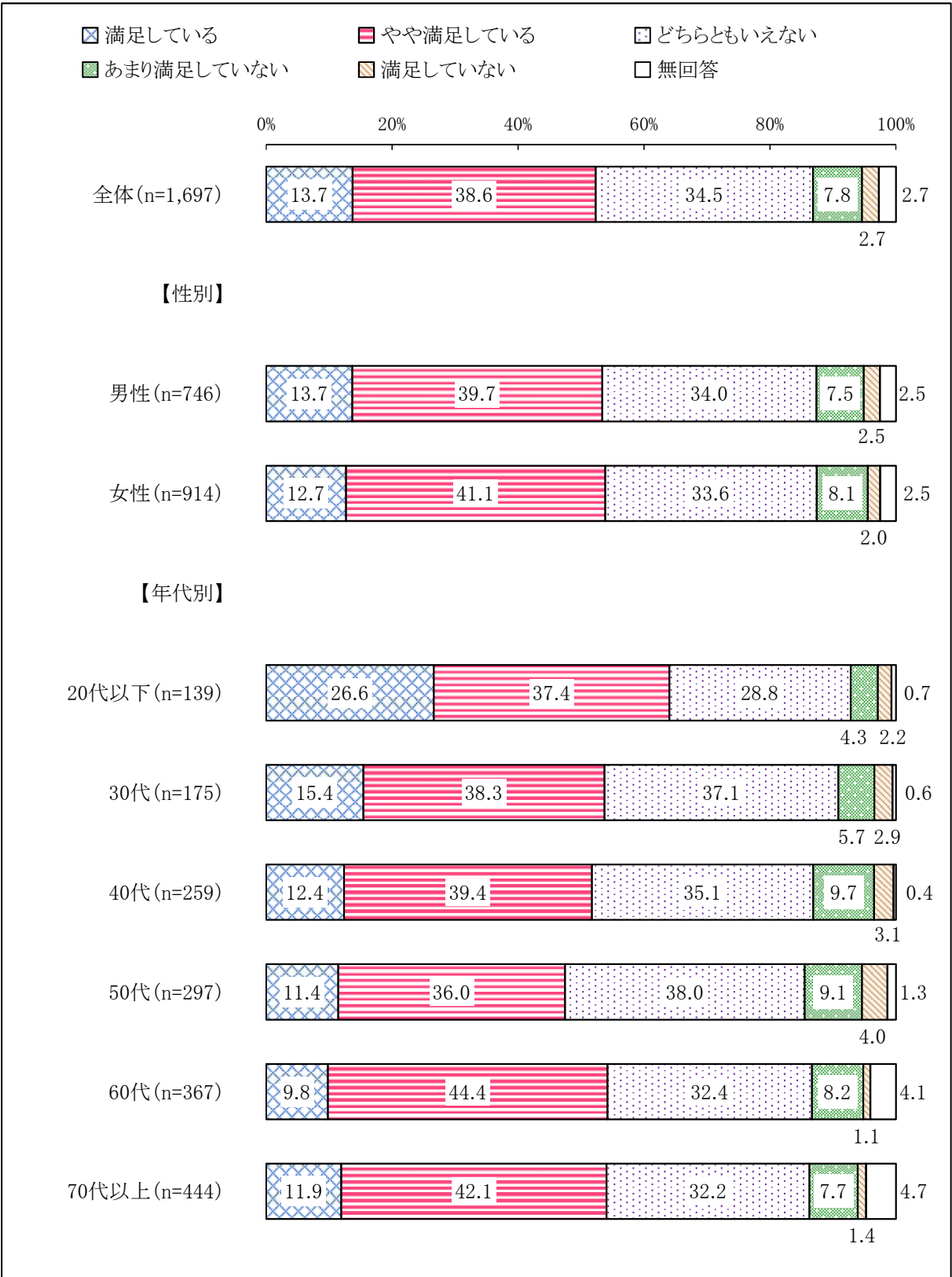
【属性別結果】

ア 性別

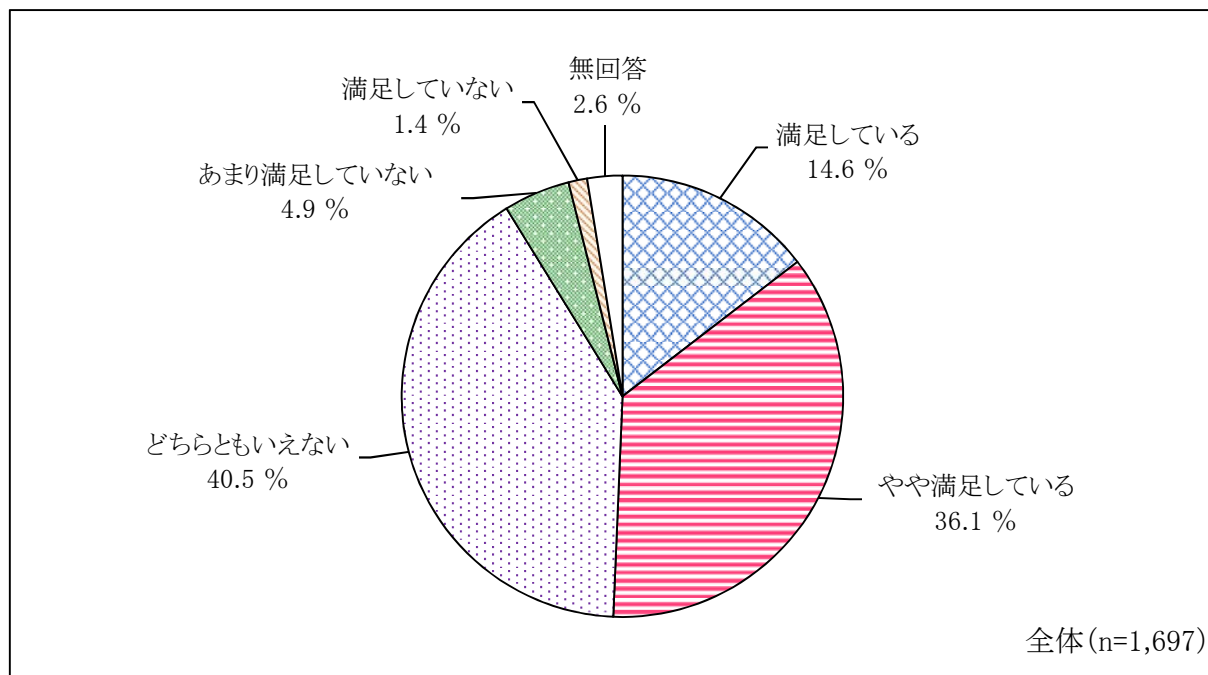
性別による大きな差は見られません。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、20代以下(64.0%)で最も高く、50代(47.5%)で最も低くなっています。



③-6 地域の自然・歴史・文化



— 地域の自然・歴史・文化に『満足している』のは約5割 —

【全体結果】

地域の自然・歴史・文化について「満足している」(14.6%)と「やや満足している」(36.1%)を合わせた『満足している』(50.7%)と答えた割合は約5割を占めています。「あまり満足していない」(4.9%)と「満足していない」(1.4)を合わせた『満足していない』(6.2%)と答えた割合は1割未満でした。

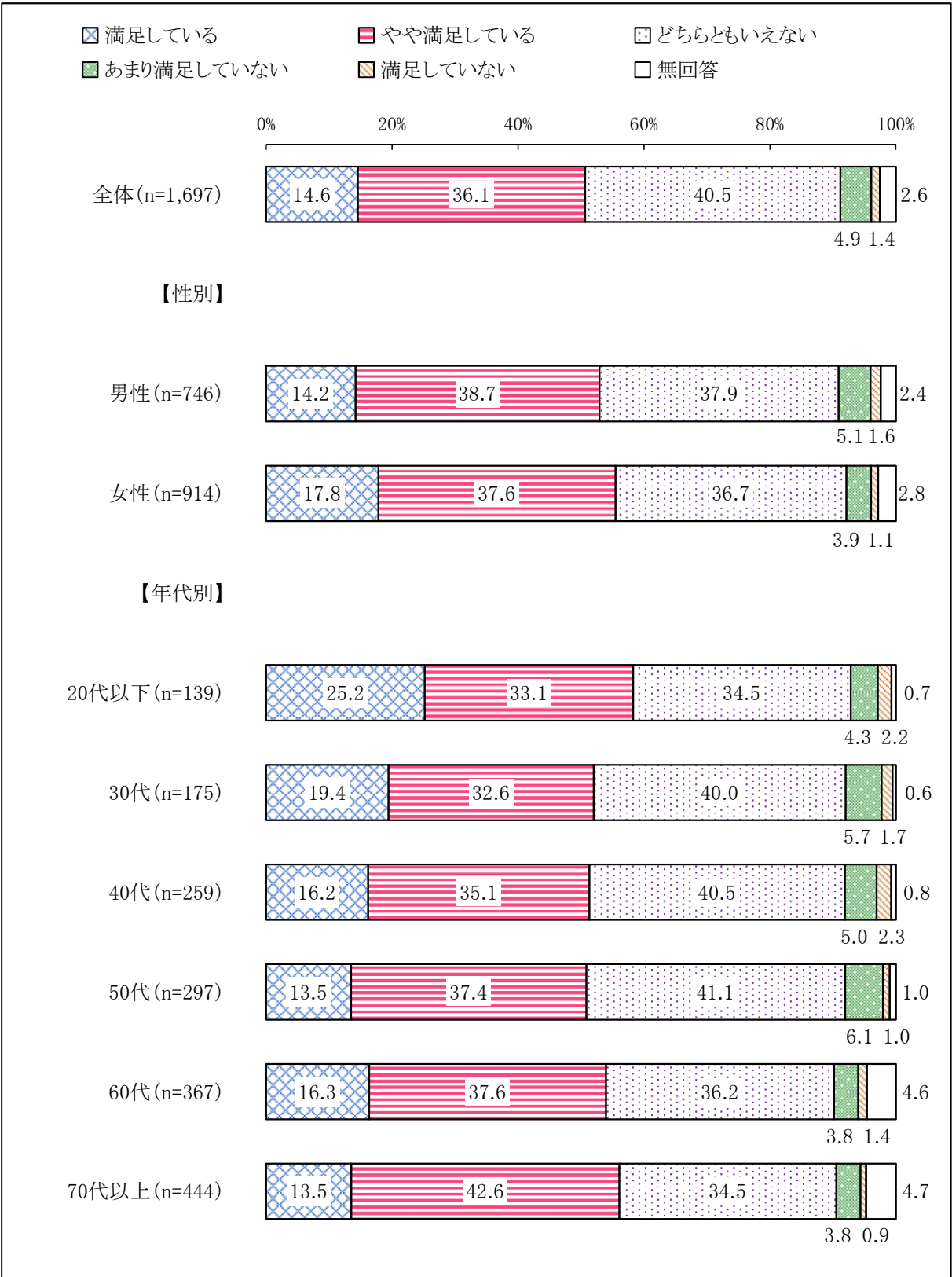
【属性別結果】

ア 性別

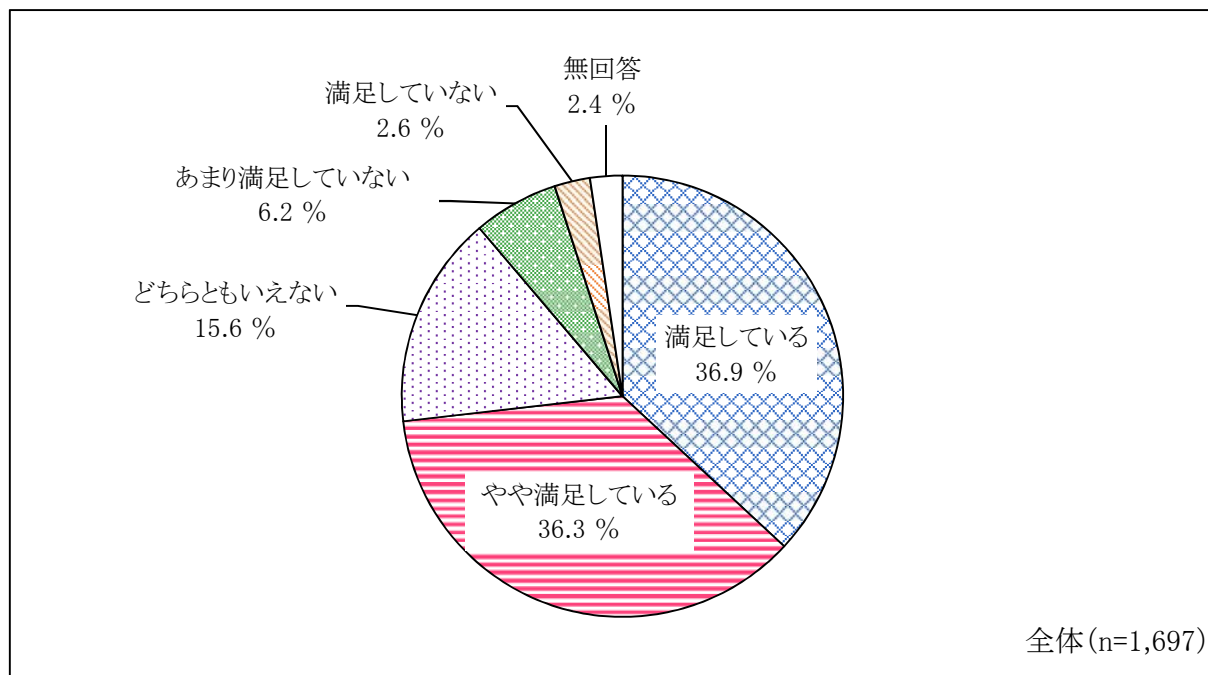
性別による大きな差は見られません。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、他の年代と比べて20代以下(58.3%)でやや高く、「満足している」(25.2%)と答えた割合が最も高くなっています。



③-7 家族関係



— 家族関係に『満足している』のは7割強 —

【全体結果】

家族関係について「満足している」(36.9%)と「やや満足している」(36.3%)を合わせた『満足している』(73.2%)と答えた割合は7割強を占めています。「あまり満足していない」(6.2%)と「満足していない」(2.6%)を合わせた『満足していない』(8.9%)と答えた割合は約1割となっています。

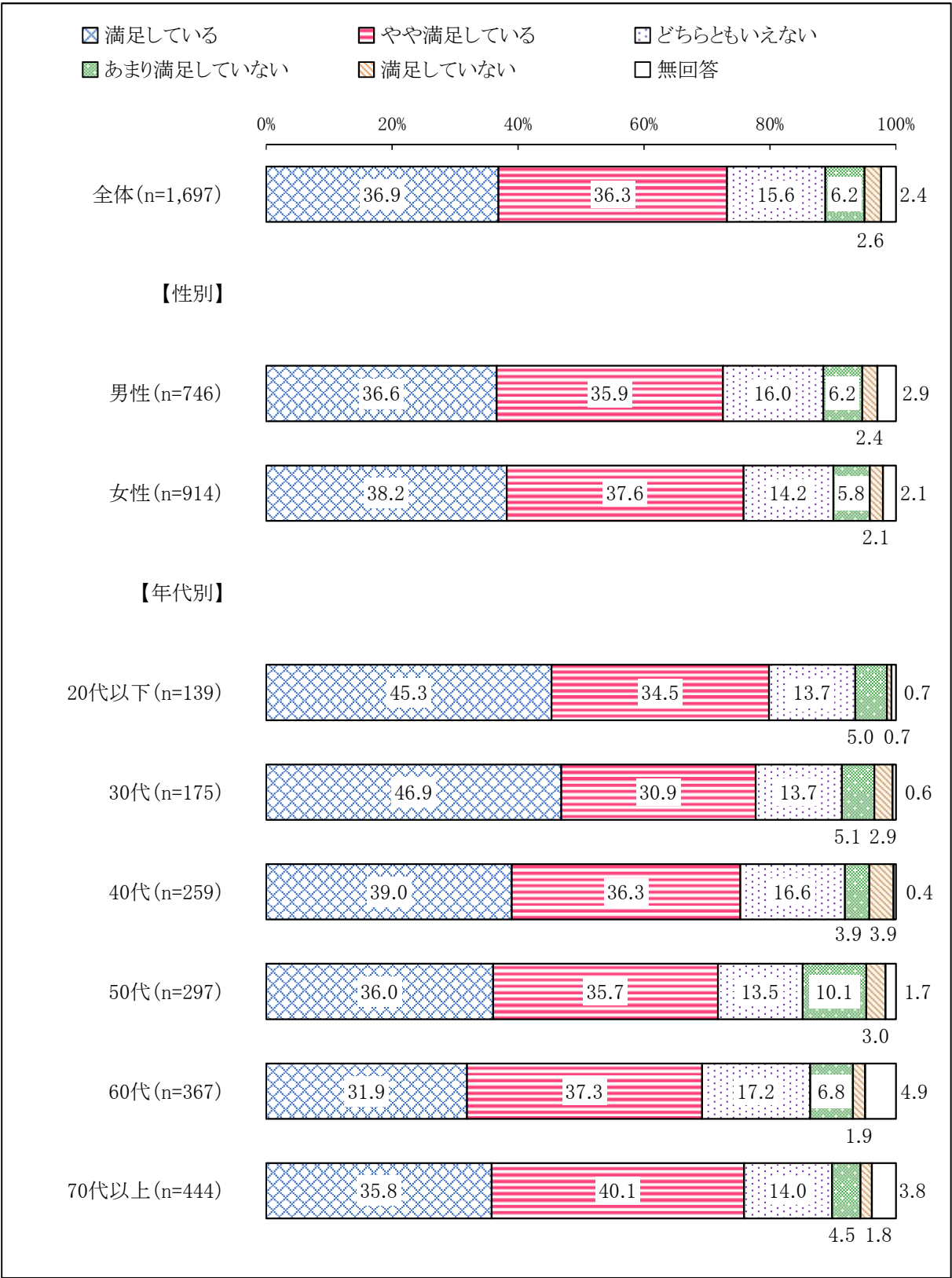
【属性別結果】

ア 性別

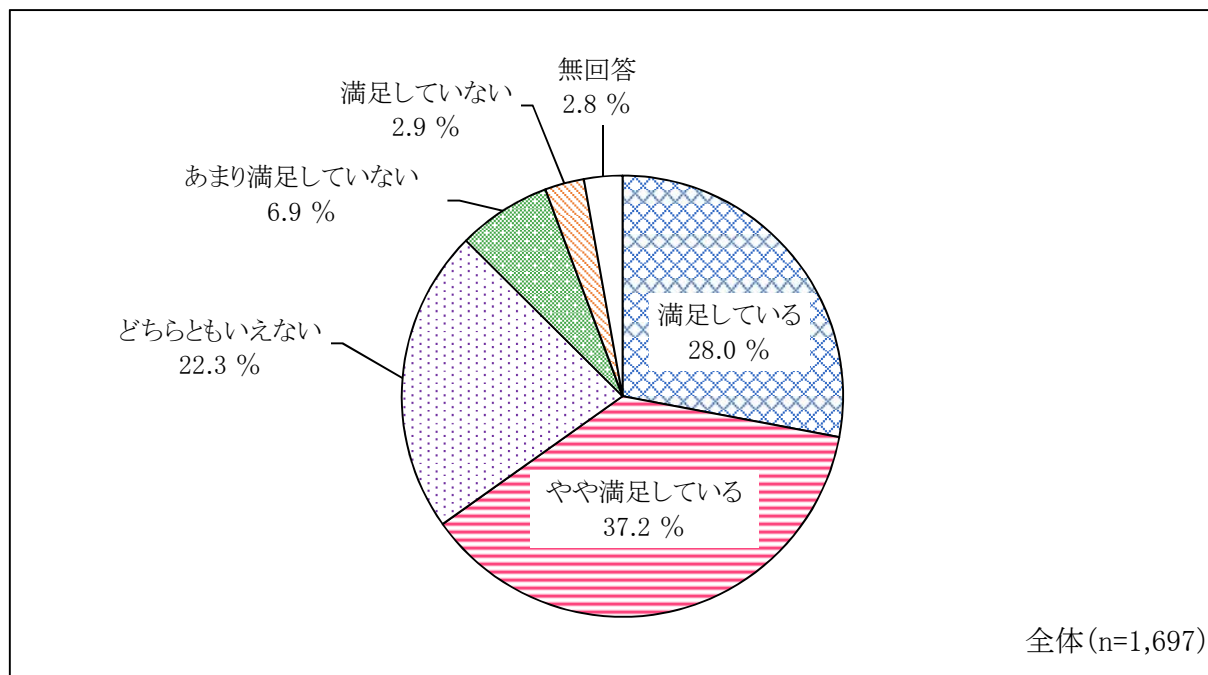
『満足している』と答えた割合は、男性(72.5%)と比べて女性(75.8%)でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、20代以下(79.9%)で最も高く、60代(69.2%)で最も低くなっています。



③-8 友人関係



— 友人関係に『満足している』のは6割半ば —

【全体結果】

友人関係について「満足している」(28.0%)と「やや満足している」(37.2%)を合わせた『満足している』(65.2%)と答えた割合は6割半ばを占めています。「あまり満足していない」(6.9%)と「満足していない」(2.9%)を合わせた『満足していない』(9.7%)と答えた割合は約1割となっています。

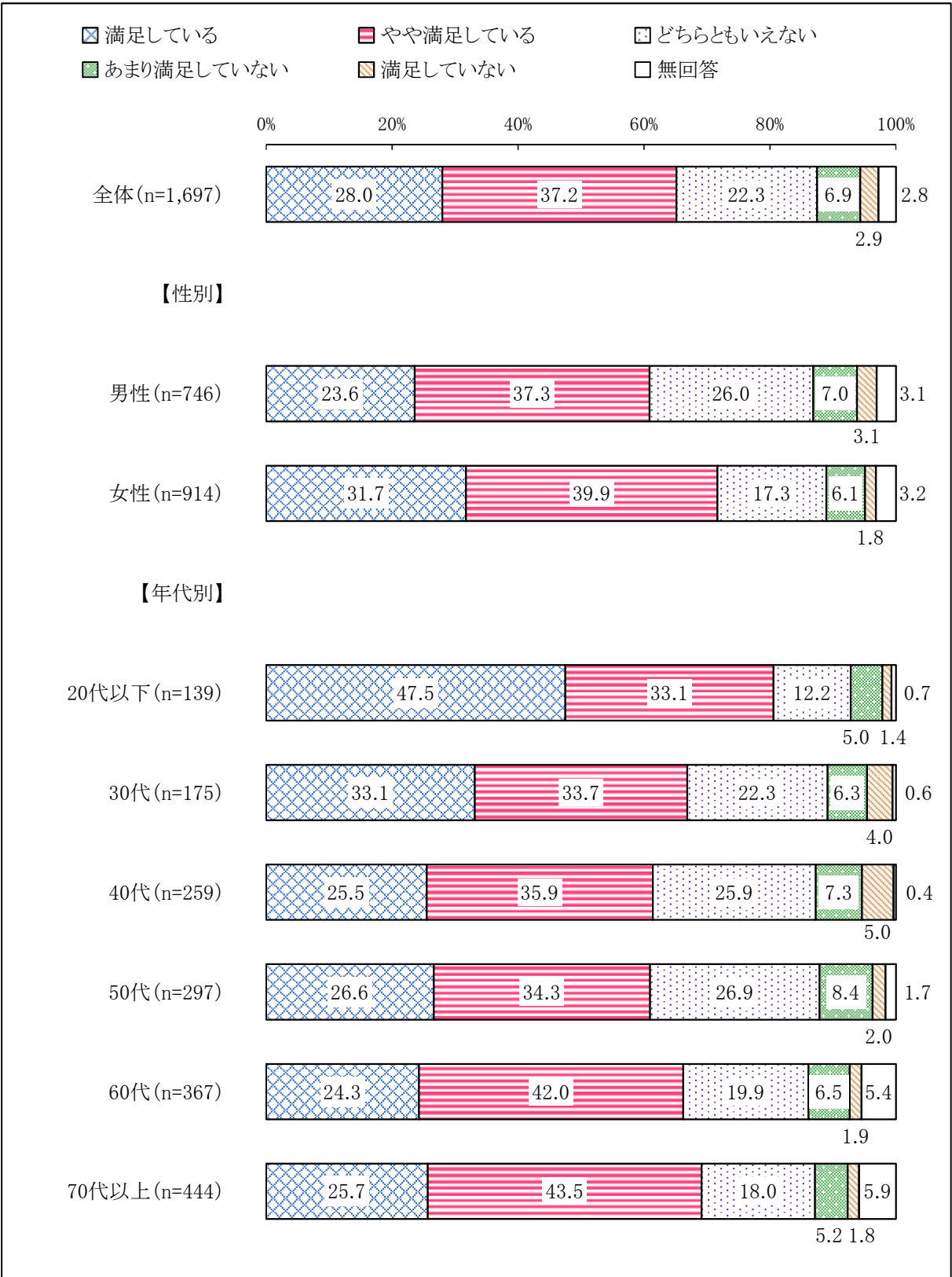
【属性別結果】

ア 性別

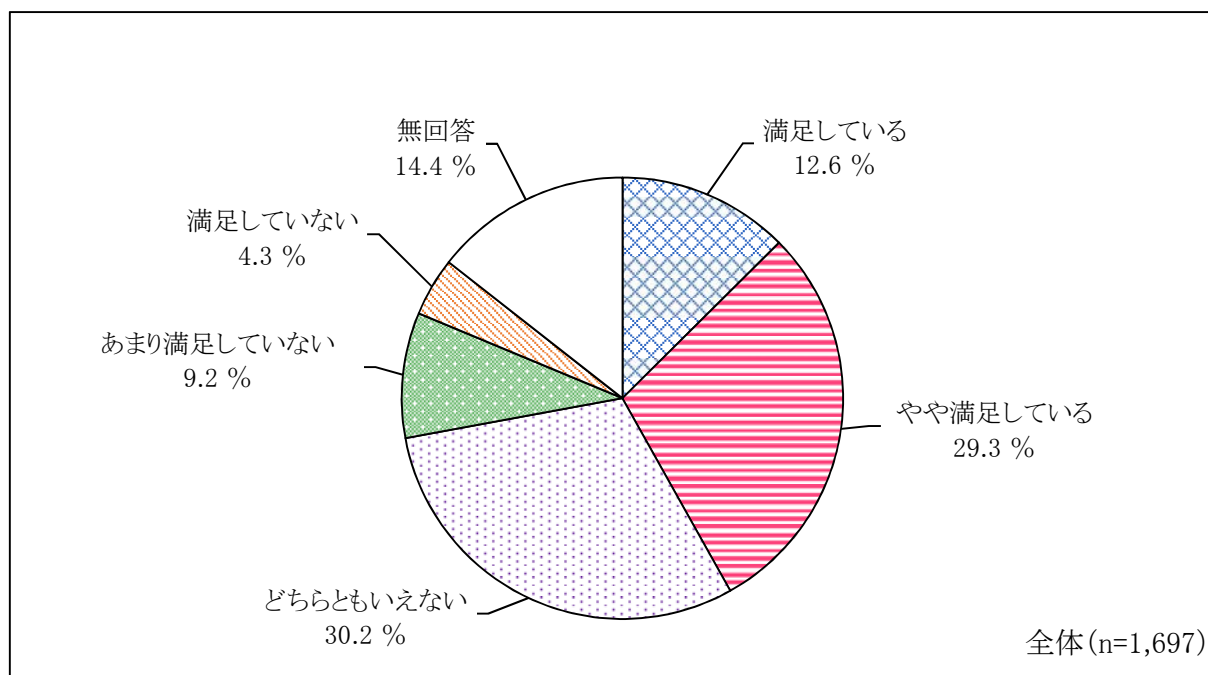
『満足している』と答えた割合は、男性(60.9%)と比べて女性(71.7%)でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、20代以下(80.6%)で最も高く、「満足している」(47.5%)の割合が他の年代と比べて突出しています。



③-9 職場の人間関係



— 職場の人間関係に『満足している』のは約4割 —

【全体結果】

職場の人間関係について「満足している」(12.6%)と「やや満足している」(29.3%)を合わせた『満足している』(41.9%)と答えた割合は約4割を占めています。「あまり満足していない」(9.2%)と「満足していない」(4.3%)を合わせた『満足していない』(13.5%)と答えた割合は1割強となっています。

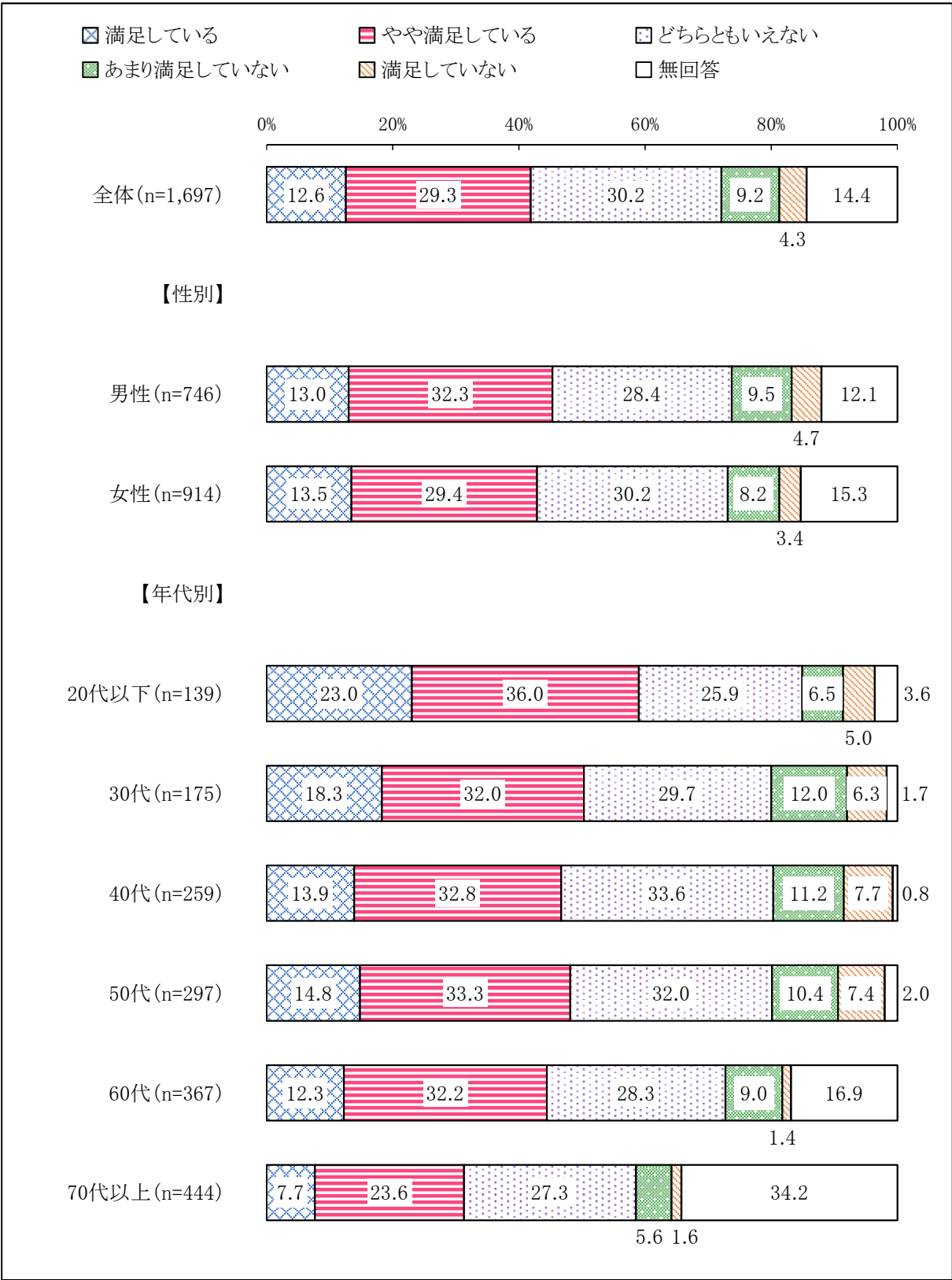
【属性別結果】

ア 性別

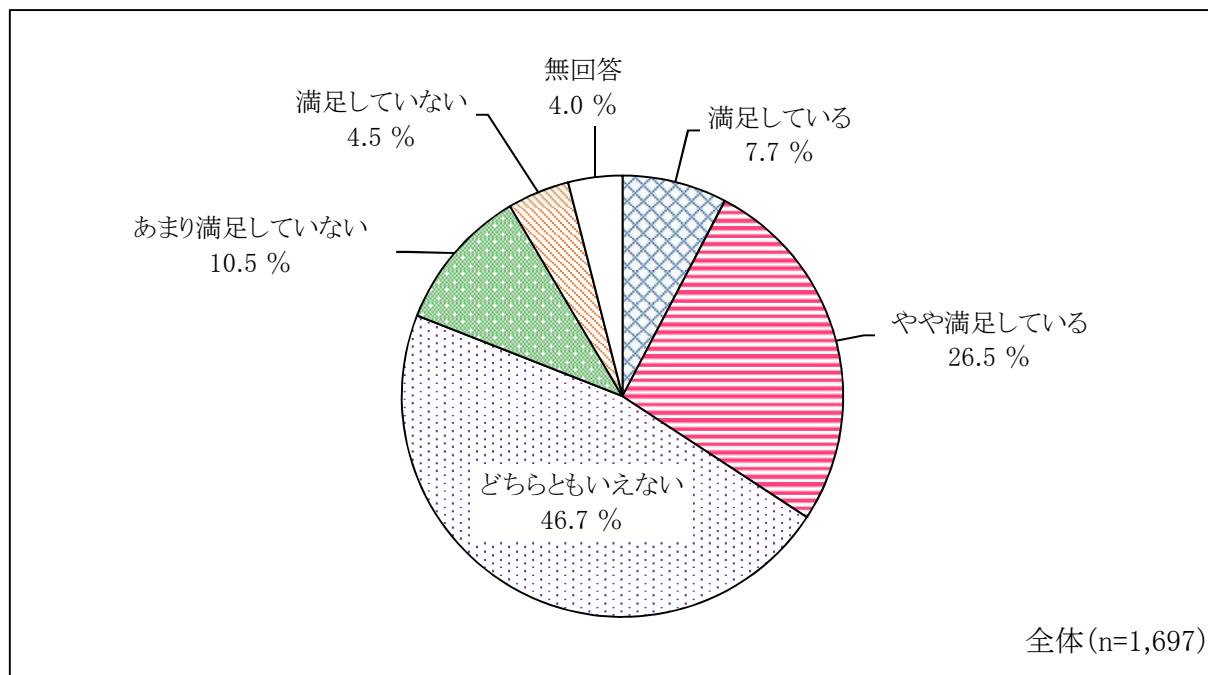
『満足している』と答えた割合は性別による大きな差は見られませんが、『満足していない』と答えた割合は女性(11.6%)と比べて男性(14.2%)でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、20代以下(59.0%)で最も高く、70代以上(31.3%)で最も低くなっています。70代以上では就業している人が少なく「無回答」が多いため割合が低くなっています。



③-10 地域コミュニティとの関係



— 地域コミュニティとの関係に『満足している』のは3割半ば —

【全体結果】

地域コミュニティとの関係について「満足している」(7.7%)と「やや満足している」(26.5%)を合わせた『満足している』(34.2%)と答えた割合は3割半ばを占めています。「あまり満足していない」(10.5%)と「満足していない」(4.5%)を合わせた『満足していない』(15.1%)と答えた割合は1割半ばとなっています。「どちらともいえない」(46.7%)という回答が多くなっています。

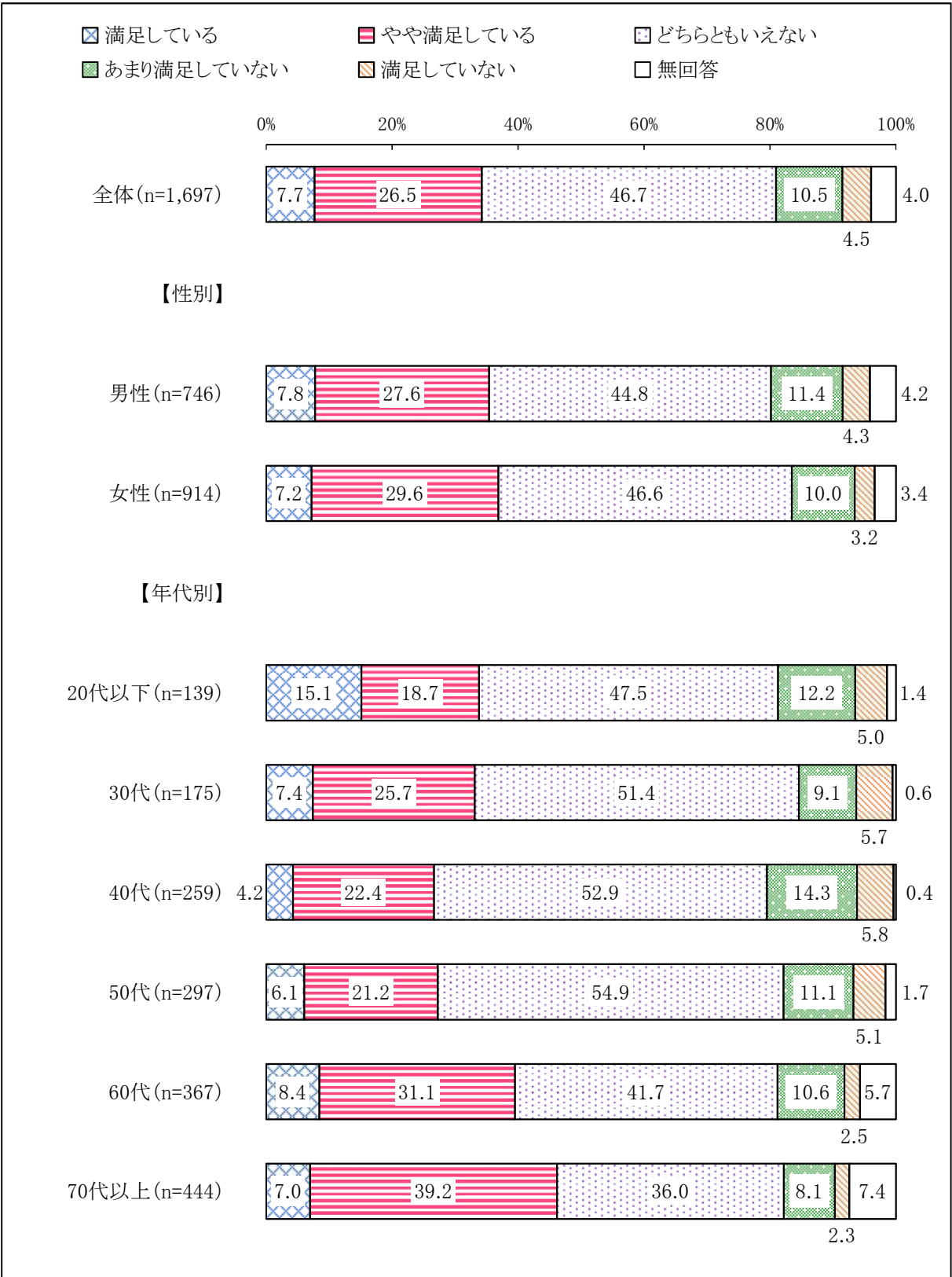
【属性別結果】

ア 性別

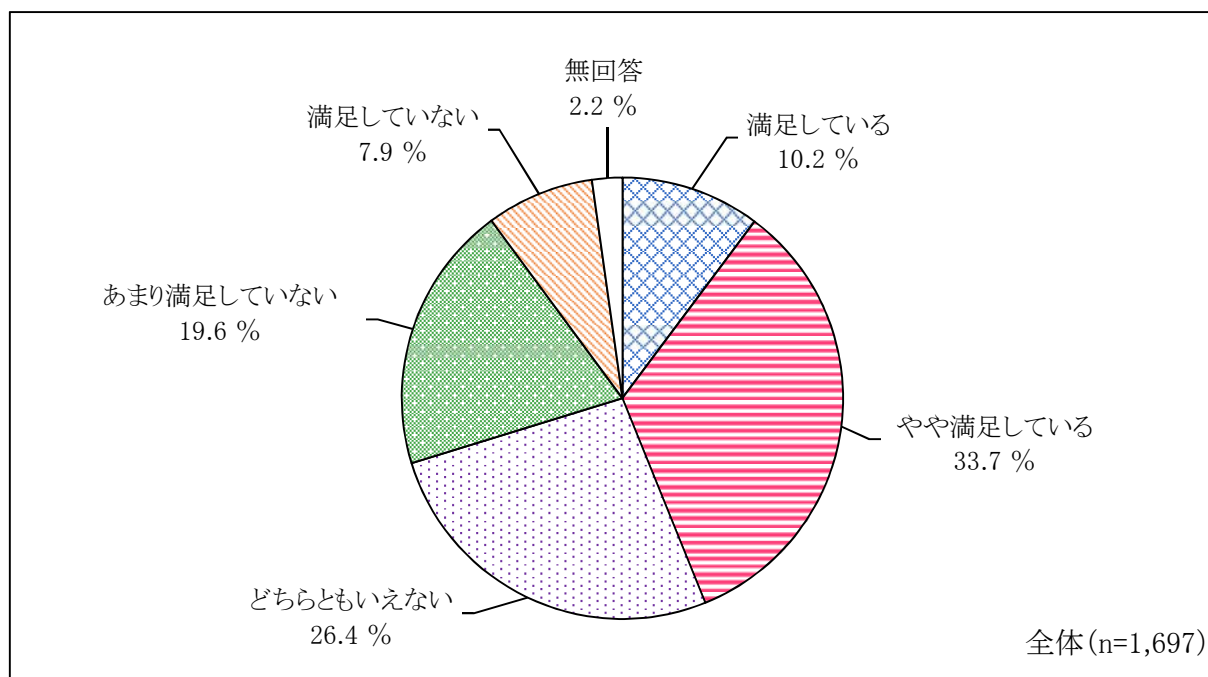
性別による大きな差は見られません。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、70代以上(46.2%)で最も高く4割半ばとなり、40～50代で低く3割未満でした。



③-11 精神的なゆとり



— 精神的なゆとりに『満足している』のは4割強 —

【全体結果】

精神的なゆとりについて「満足している」(10.2%)と「やや満足している」(33.7%)を合わせた『満足している』(43.9%)と答えた割合は4割強を占めています。「あまり満足していない」(19.6%)と「満足していない」(7.9%)を合わせた『満足していない』(27.5%)と答えた割合は3割弱となっています。

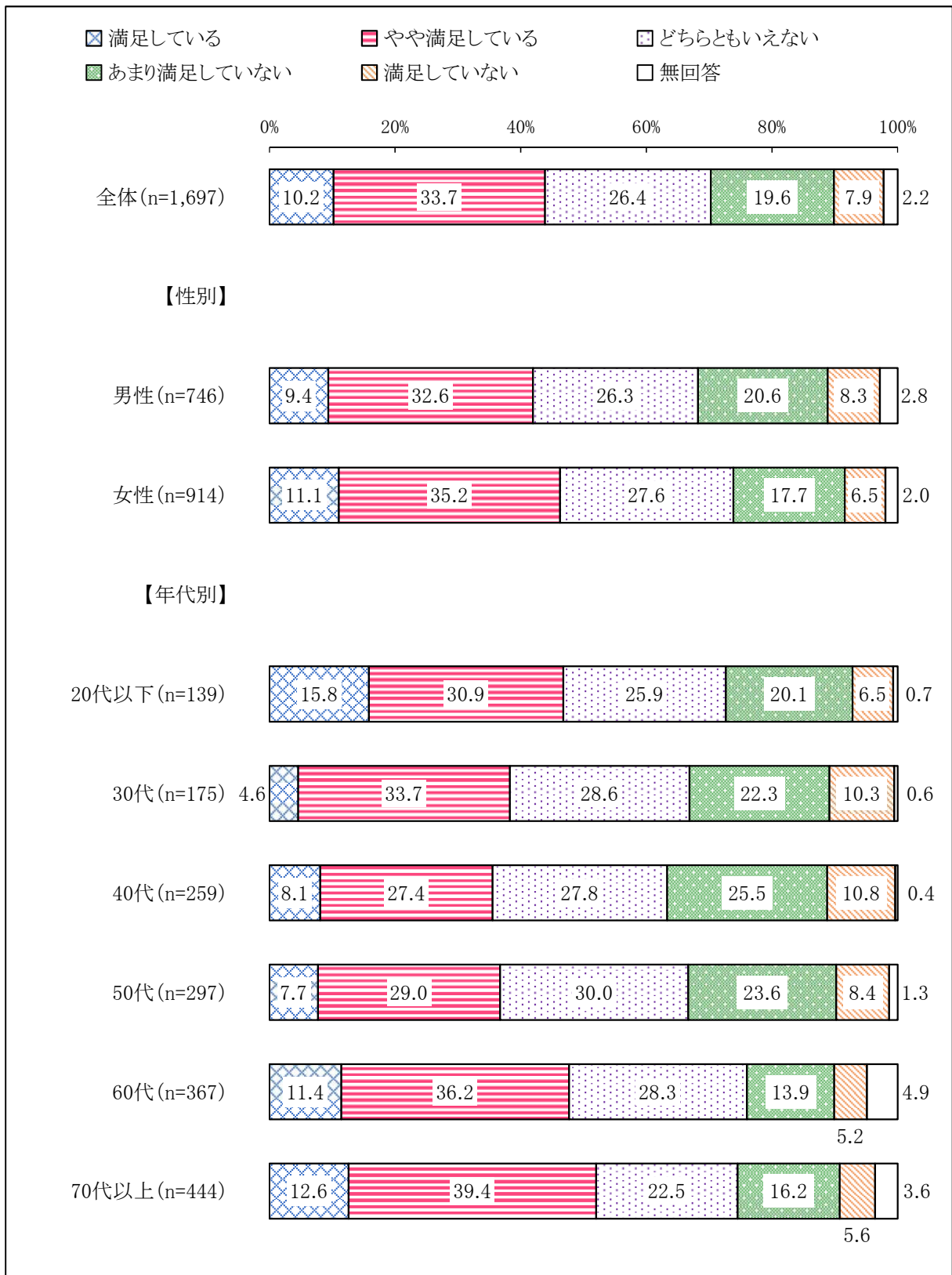
【属性別結果】

ア 性別

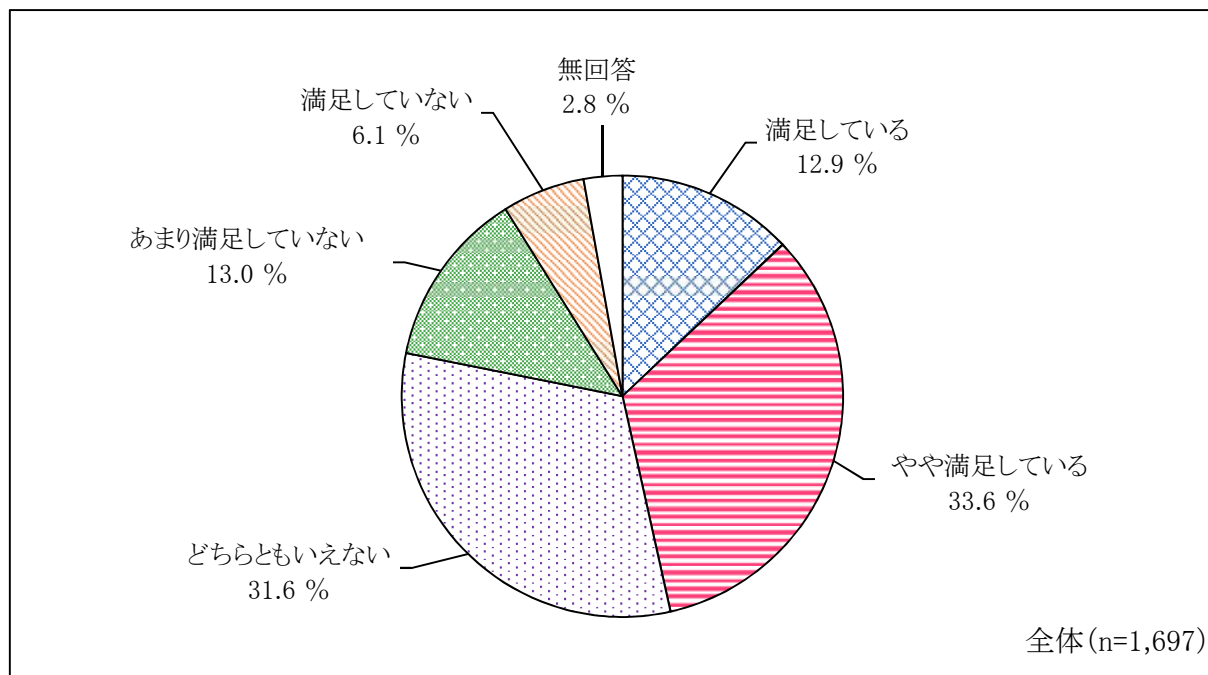
『満足している』と答えた割合は、男性(42.0%)と比べて女性(46.3%)でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、70代以上(52.0%)で最も高く約5割となり、40~50代で低くなっています。



③-12 生きがい



— 生きがいに『満足している』のは4割半ば —

【全体結果】

生きがいについて「満足している」(12.9%)と「やや満足している」(33.6%)を合わせた『満足している』(46.5%)と答えた割合は4割半ばを占めています。「あまり満足していない」(13.0%)と「満足していない」(6.1%)を合わせた『満足していない』(19.0%)と答えた割合は約2割となっています。

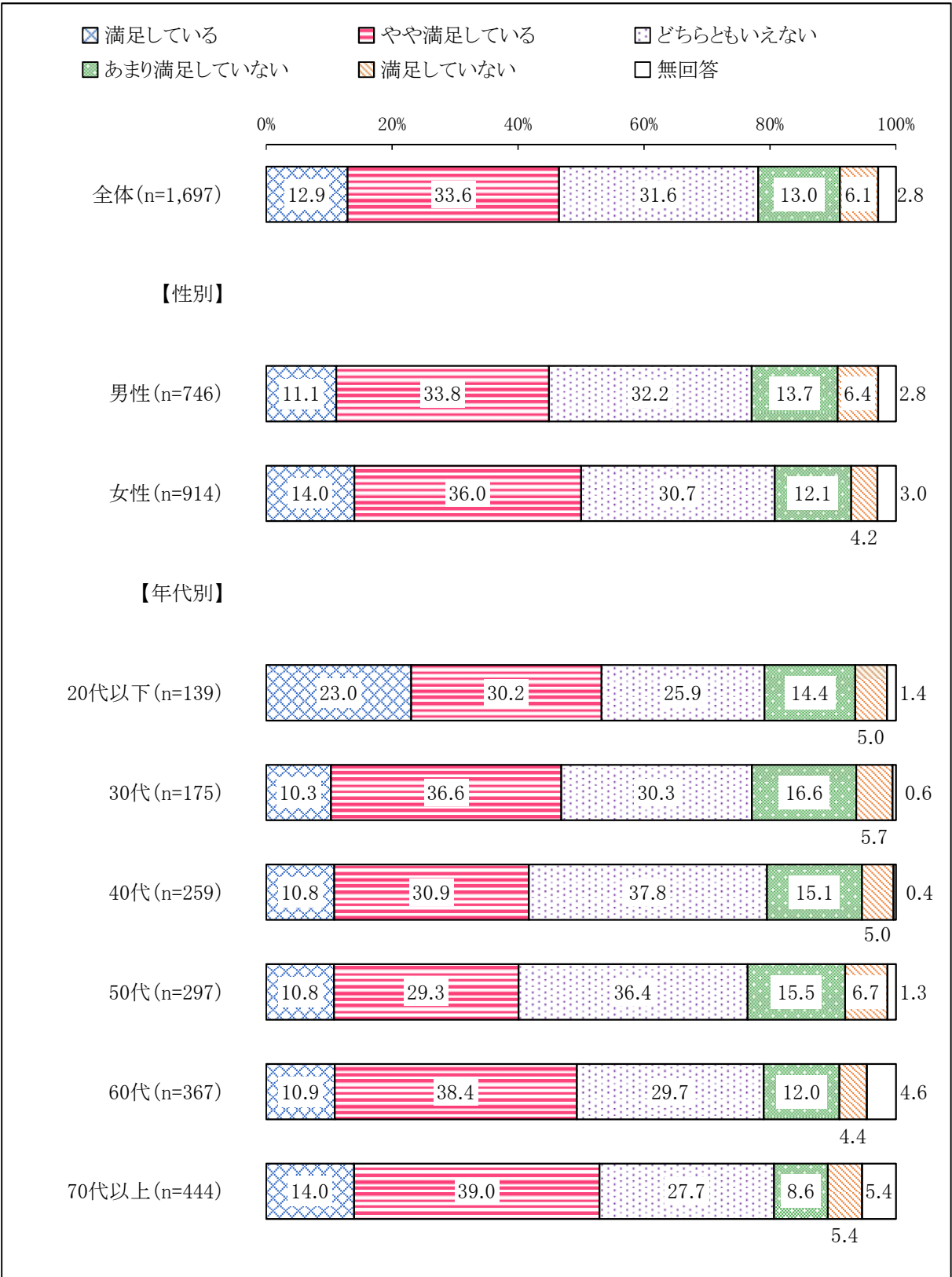
【属性別結果】

ア 性別

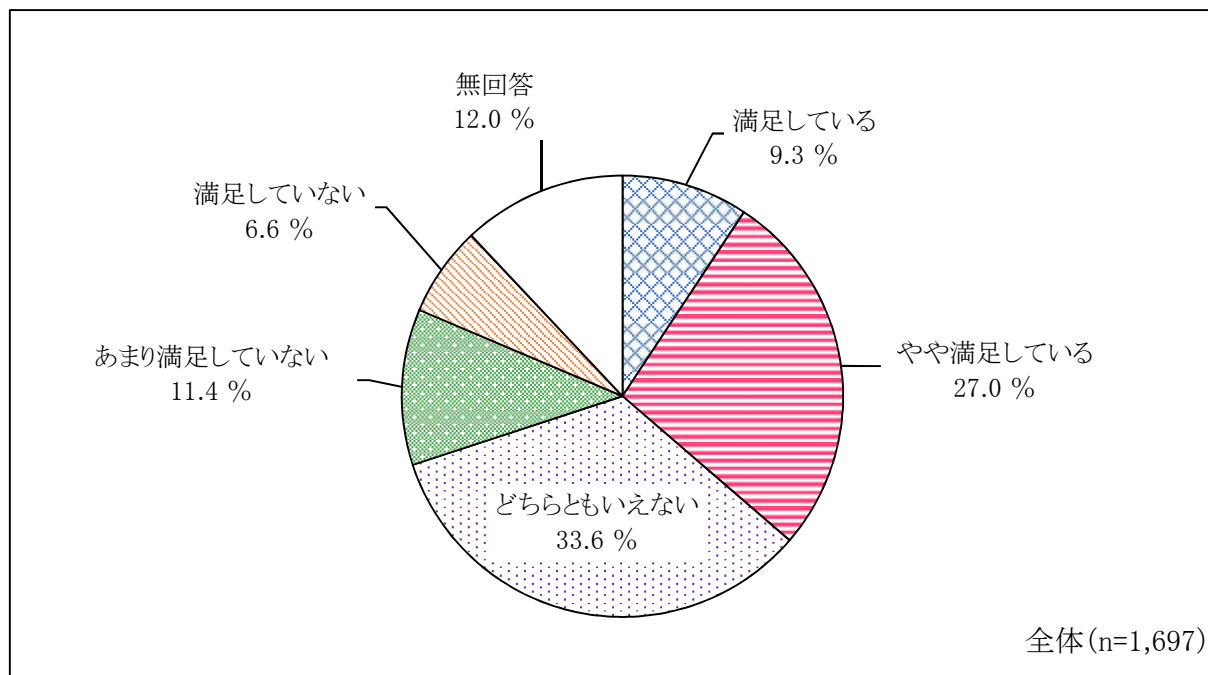
『満足している』と答えた割合は、男性(44.9%)と比べて女性(50.0%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、20代以下と70代以上で高く、半数以上を占めています。



③-13 仕事の充実度



— 仕事の充実度に『満足している』のは3割半ば —

【全体結果】

仕事の充実度について「満足している」(9.3%)と「やや満足している」(27.0%)を合わせた『満足している』(36.3%)と答えた割合は3割半ばを占めています。「あまり満足していない」(11.4%)と「満足していない」(6.6%)を合わせた『満足していない』(18.0%)と答えた割合は約2割となっています。

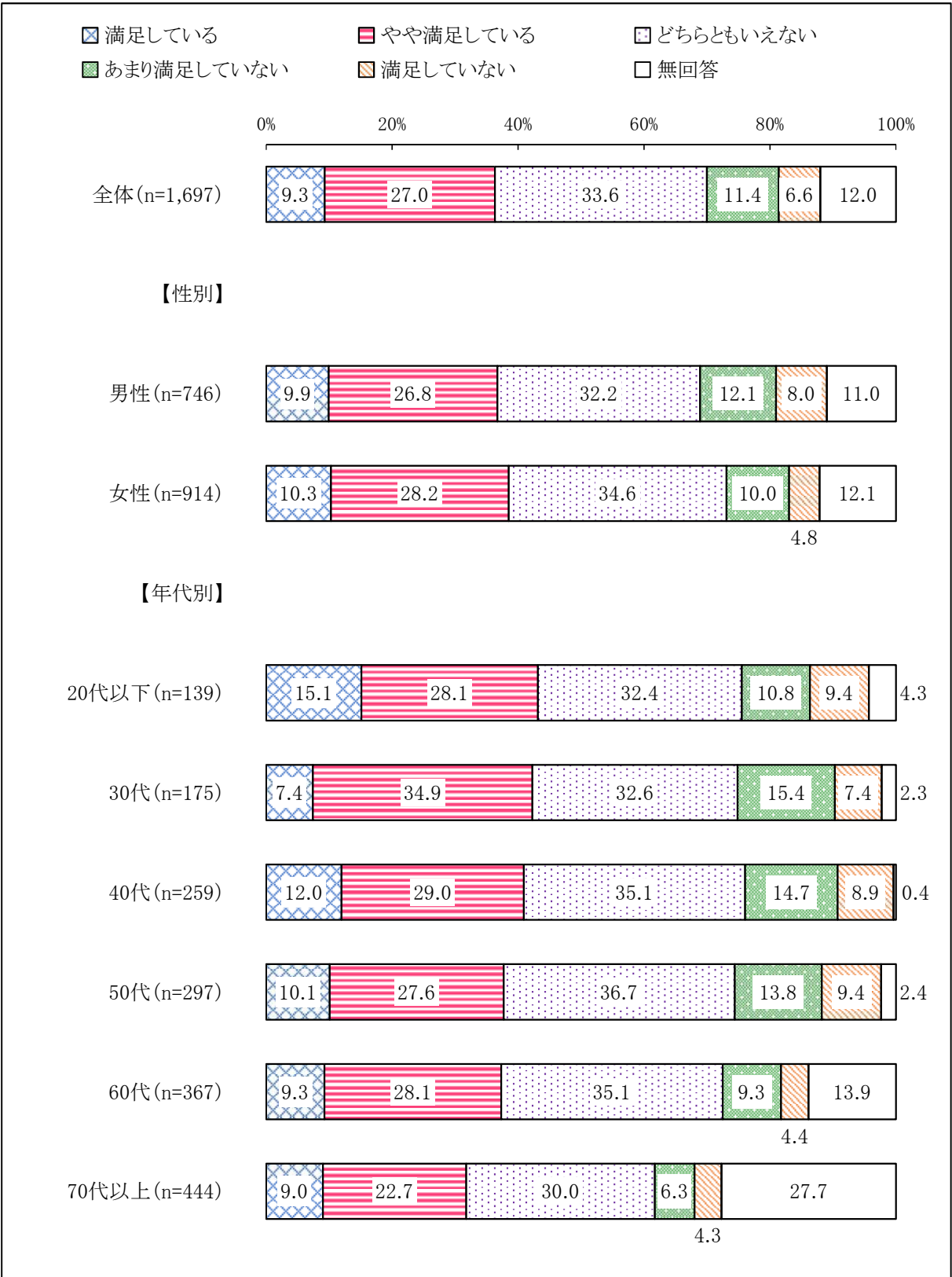
【属性別結果】

ア 性別

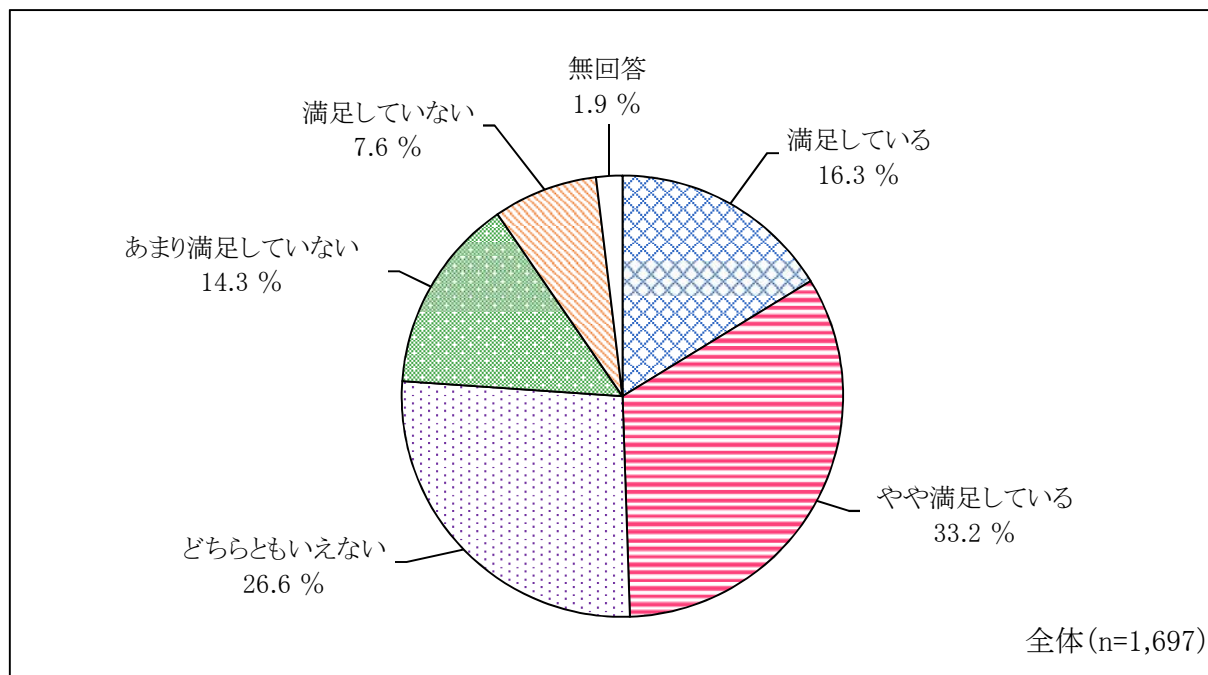
『満足している』と答えた割合は性別による大きな差は見られませんが、『満足していない』と答えた割合は女性(14.8%)と比べて男性(20.1%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は年代による大きな差は見られません。70代以上では就業している人が少なく「無回答」が多いため割合が低くなっています。



③-14 自由な時間・充実した余暇



— 自由な時間・充実した余暇に『満足している』のは約5割 —

【全体結果】

自由な時間・充実した余暇について「満足している」(16.3%)と「やや満足している」(33.2%)を合わせた『満足している』(49.5%)と答えた割合は約5割を占めています。「あまり満足していない」(14.3%)と「満足していない」(7.6%)を合わせた『満足していない』(22.0%)と答えた割合は約2割となっています。

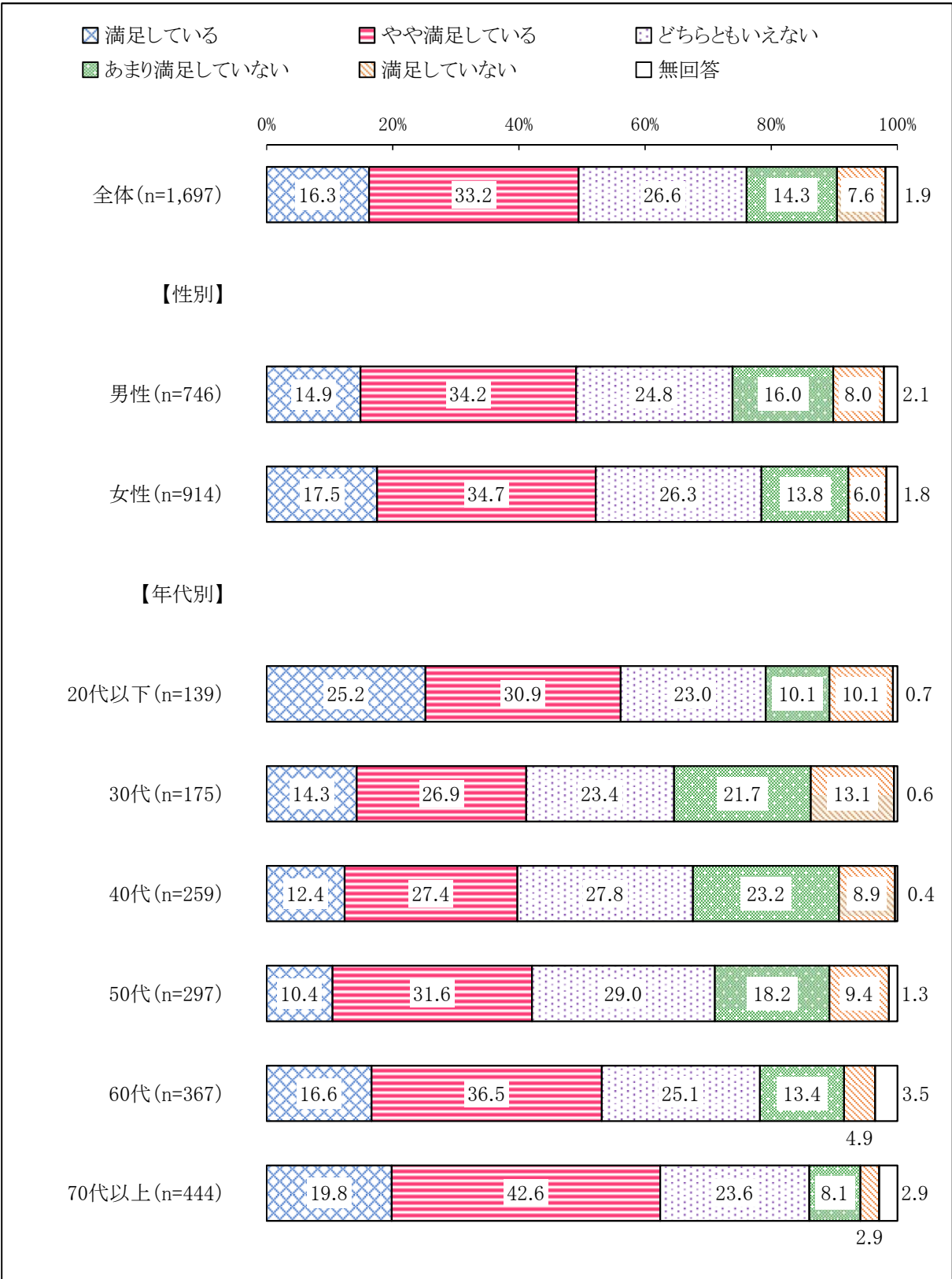
【属性別結果】

ア 性別

『満足している』と答えた割合は男性(49.1%)と比べて女性(52.2%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は70代以上(62.4%)で最も高く6割強となり、40代(39.8%)で最も低く約4割となっています。

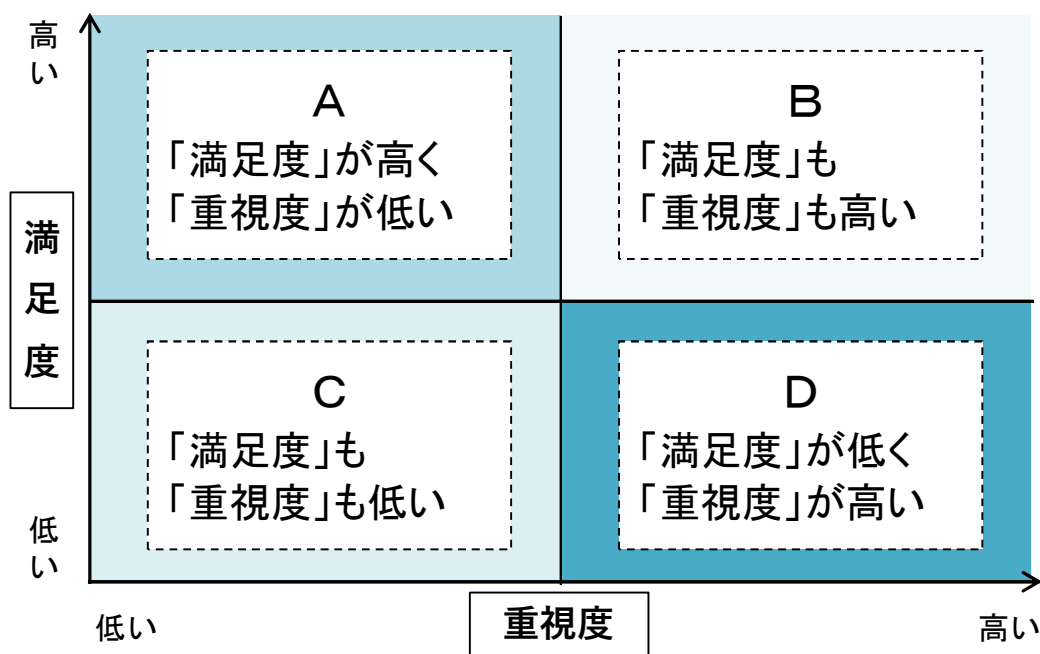


(3) 満足度と重視度の関係について

《満足度と重視度の散布図》

本県の取組における項目間の相対的な位置付けを整理するため、「満足度」を縦軸、「重視度」を横軸にとり、各項目の「満足度」「重視度」の数値を散布図に示しました。

「満足度」「重視度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



A：維持領域

重視度は低いが高満足度が高い取組は、現状を維持していく項目

B：重点的維持領域

重視度が高く満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目

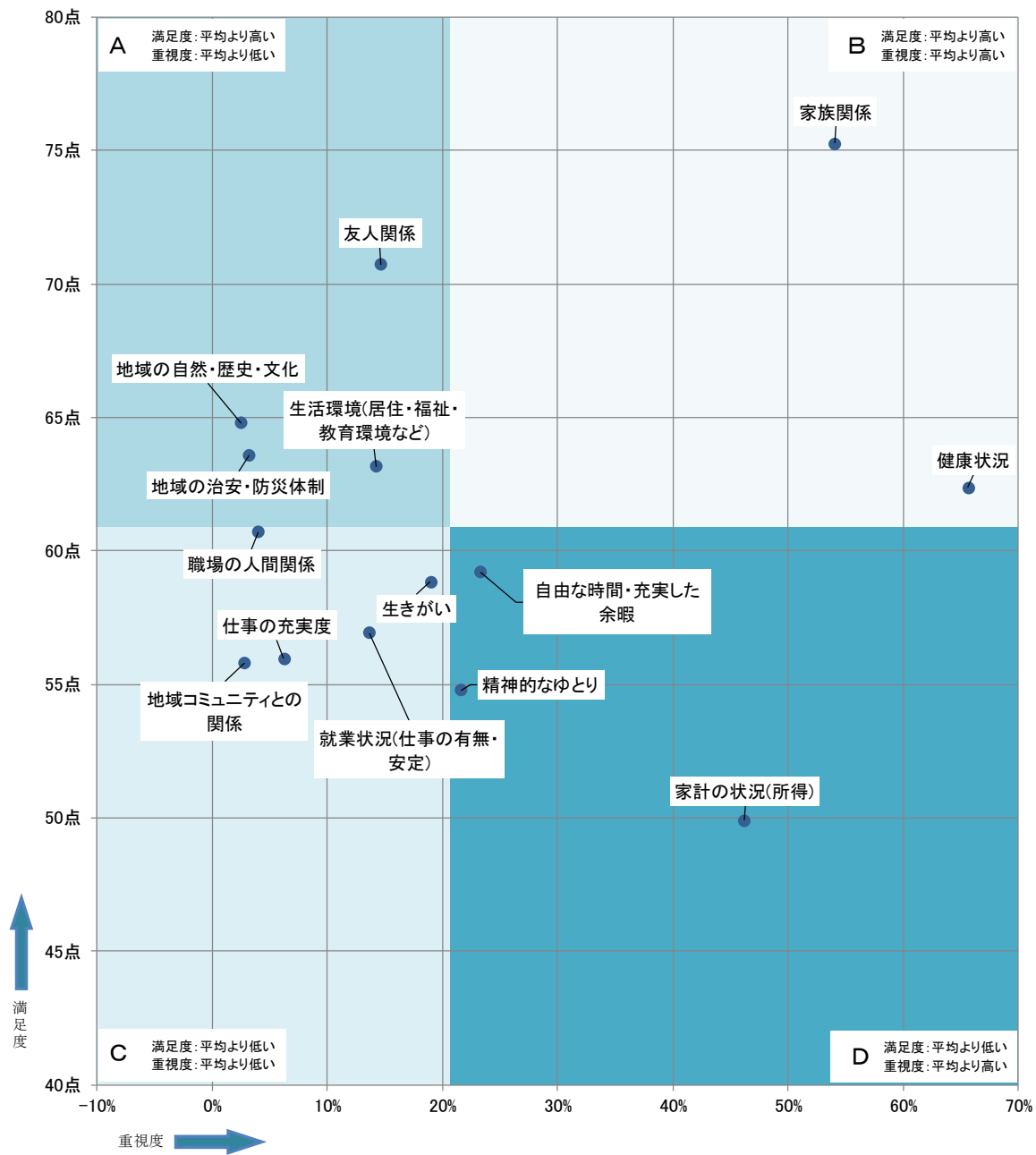
C：要検討領域

重視度も満足度も低い取組は、県民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目

D：重点的改善領域

重視度が高いが満足度が低いため、現在のやり方を変え満足度を高めていく必要がある項目

上記のそれぞれの領域に該当した項目の満足度や重視度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に満足度や重視度が高い低いということとなります。



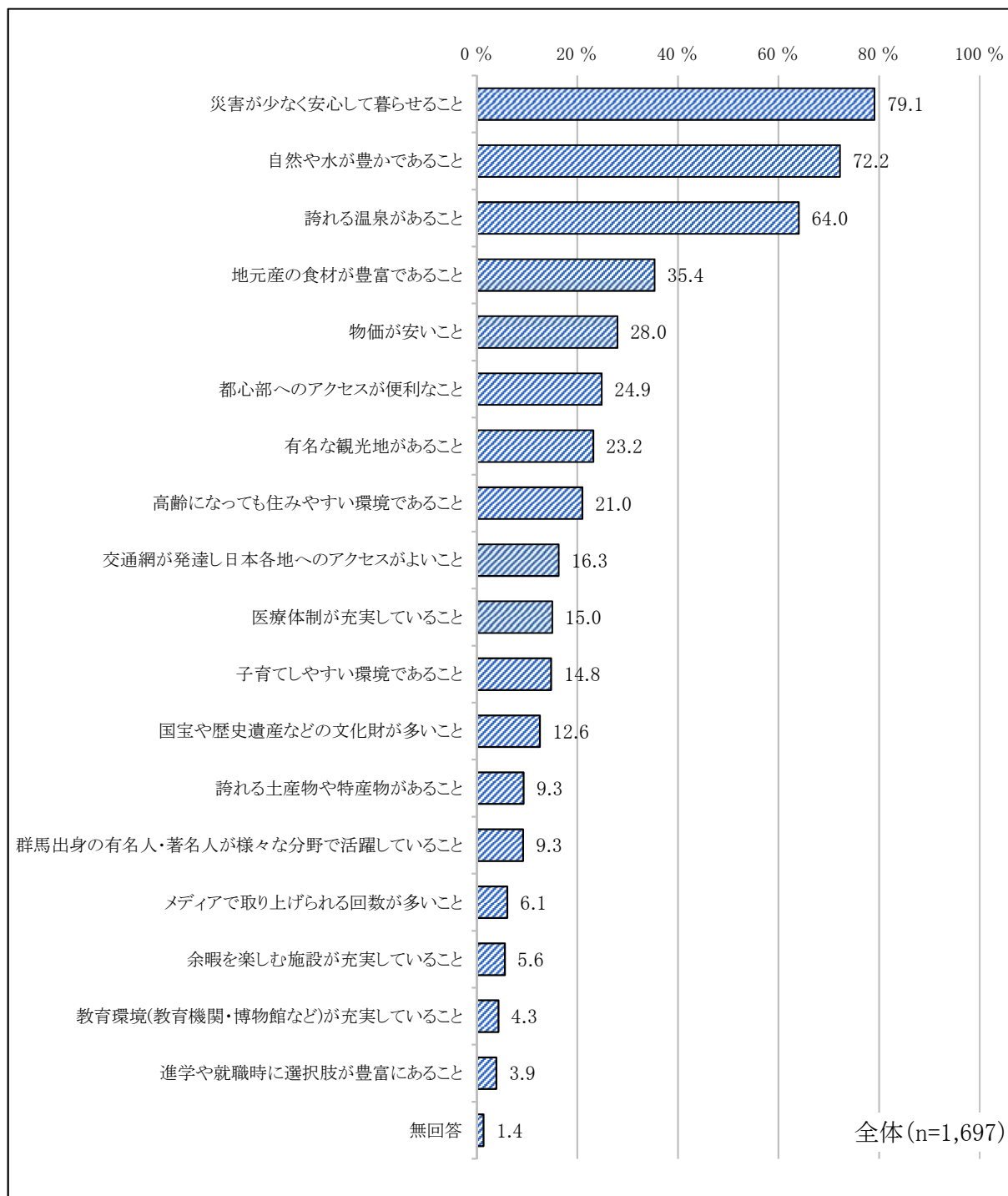
— 重視度は高いが満足度が低いのは「家計の状況（所得）」 —

幸福感を判断する際の重視度は高いが満足度が低いのは「家計の状況（所得）」となっています。

2. 『群馬県に対する気持ち』について

(1) 群馬県の良いところ

Q あなたが思う「群馬県のよいところ」はどのようなところですか。
次の1～18の中から、該当するすべての番号に○をつけてください。(○はいくつでも)



— 「災害が少なく安心して暮らせること」が約8割でトップ —

【全体結果】

「群馬県のよいところ」について、「災害が少なく安心して暮らせること」(79.1%)と答えた割合が最も高く、約8割となっています。次いで「自然や水が豊かであること」(72.2%)、「誇れる温泉があること」(64.0%)と半数以上が回答しており、「地元産の食材が豊富であること」(35.4%)が3割台、「物価が安いこと」(28.0%)、「都心部へのアクセスが便利なこと」(24.9%)、「有名な観光地があること」(23.2%)、「高齢になっても住みやすい環境であること」(21.0%)が2割台で続いています。

【属性別結果】

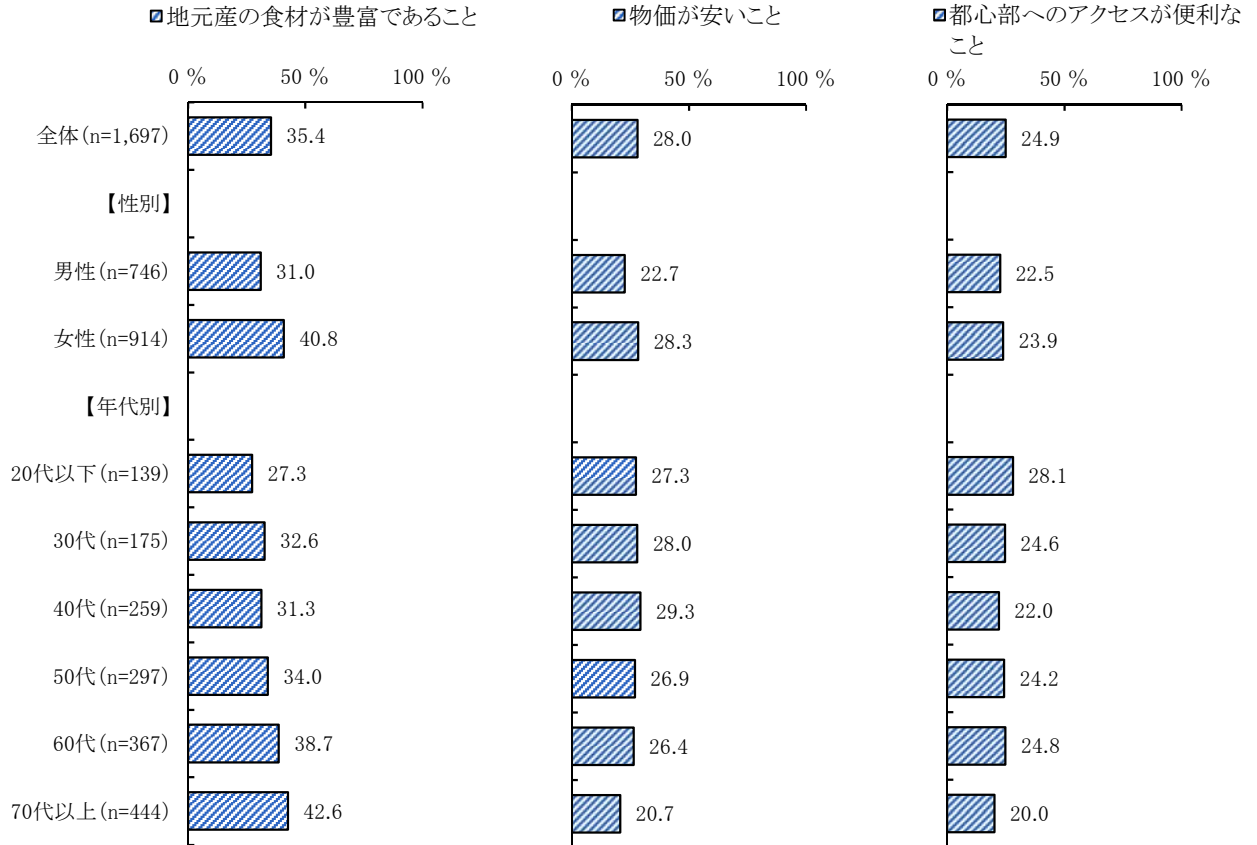
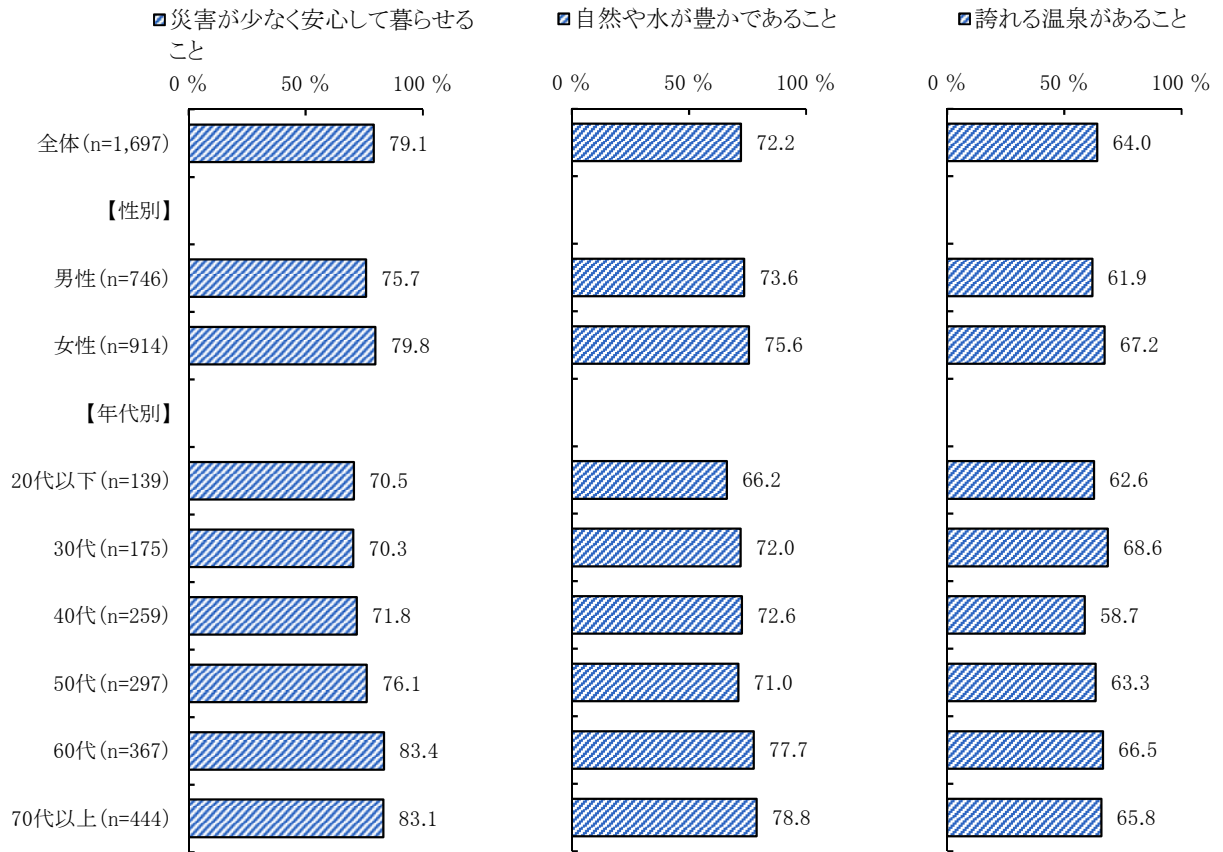
ア 性別

男女とも「災害が少なく安心して暮らせること」(各75.7%、79.8%)と答えた割合が最も高く、次いで「自然や水が豊かであること」(各73.6%、75.6%)、「誇れる温泉があること」(各61.9%、67.2%)の順となっています。「地元産の食材が豊富であること」と答えた割合は、男性(31.0%)と比べて女性(40.8%)で高くなっています。

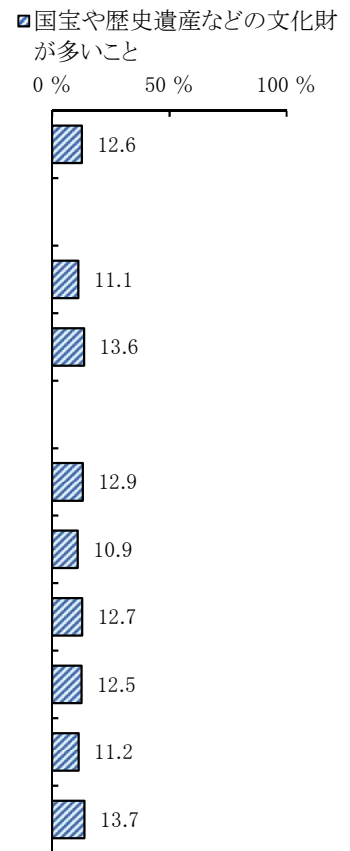
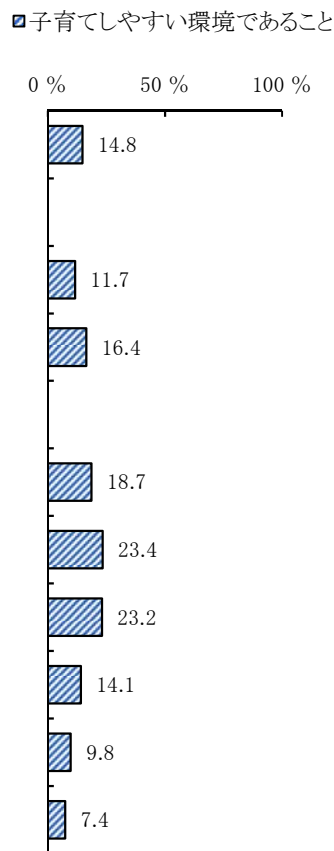
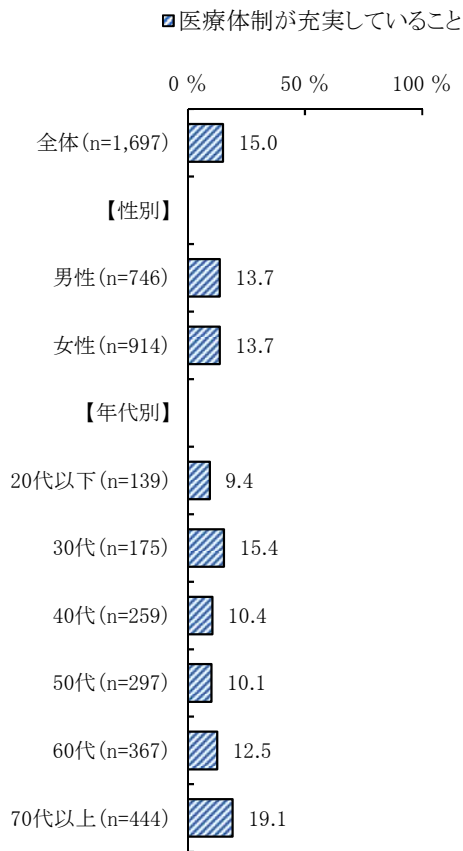
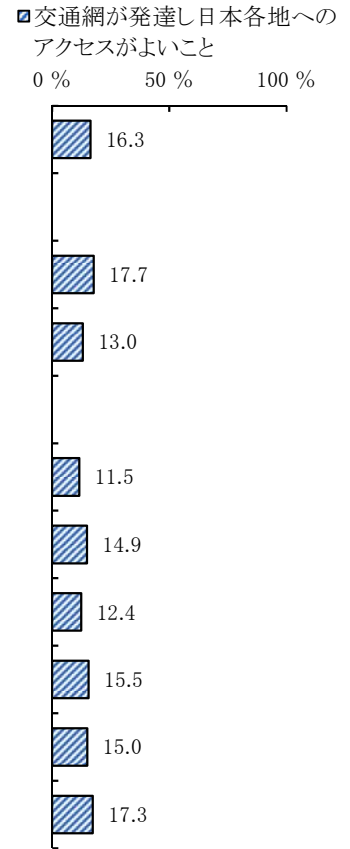
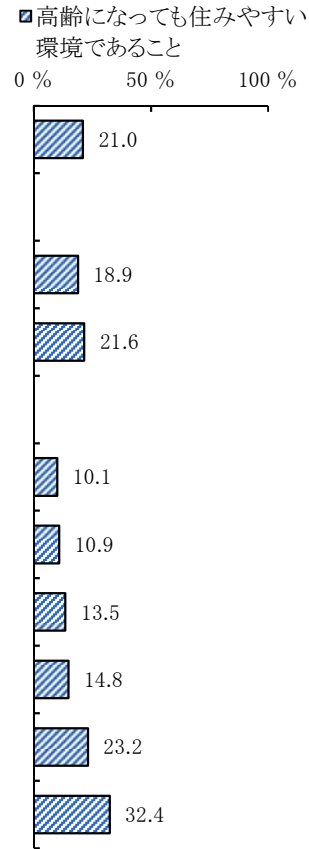
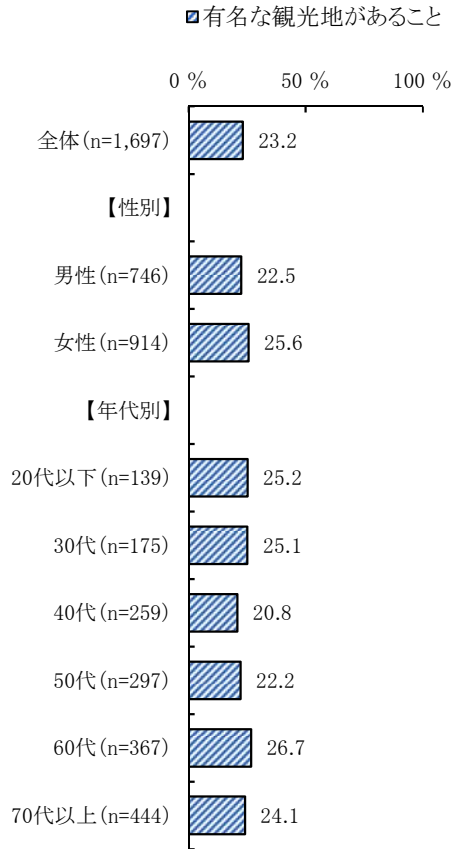
イ 年代別

20代以下、50代以上では「災害が少なく安心して暮らせること」と答えた割合が最も高くなっています。30代、40代では「自然や水が豊かであること」(各72.0%、72.6%)と答えた割合が「災害が少なく安心して暮らせること」(各70.3%、71.8%)と答えた割合よりやや高くなっています。「地元産の食材が豊富であること」、「高齢になっても住みやすい環境であること」は60代以上で、「子育てしやすい環境であること」は30～40代で割合が高い傾向にあります。

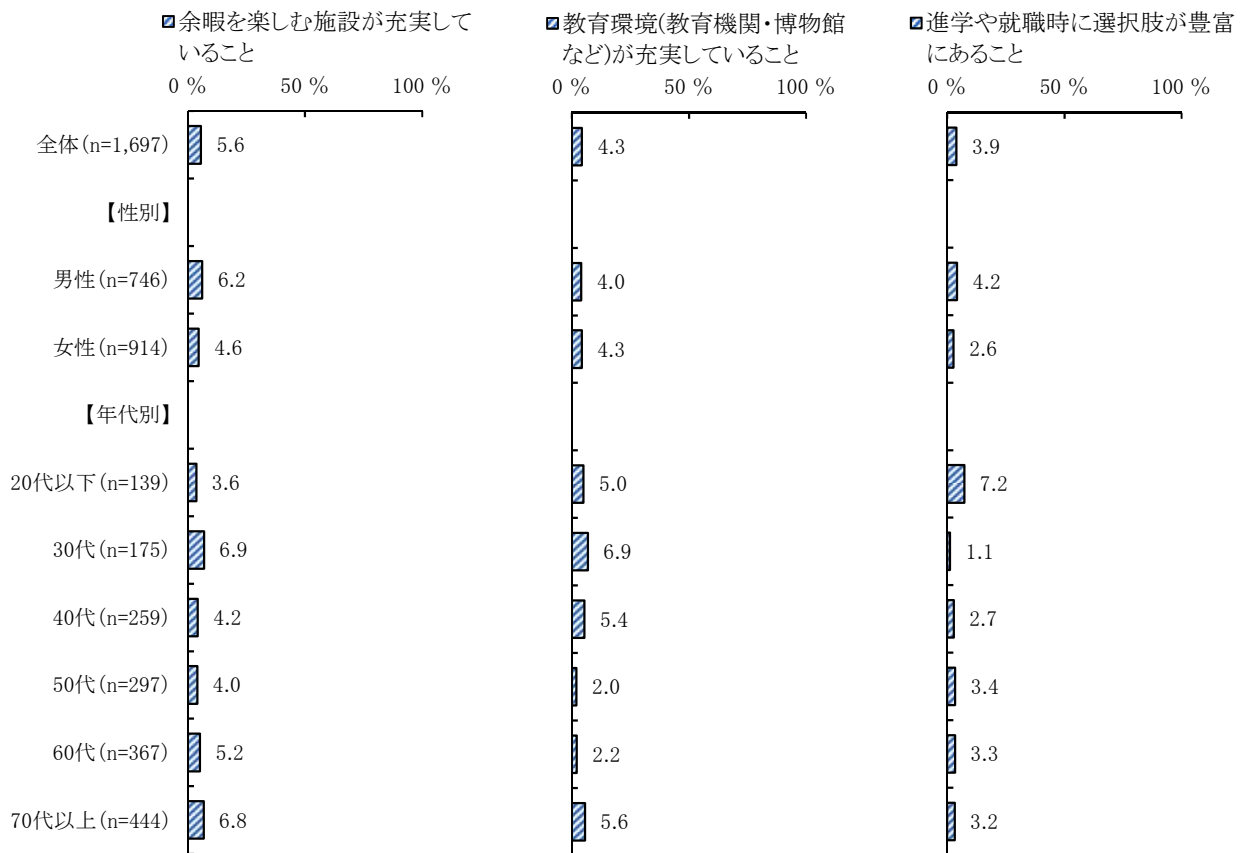
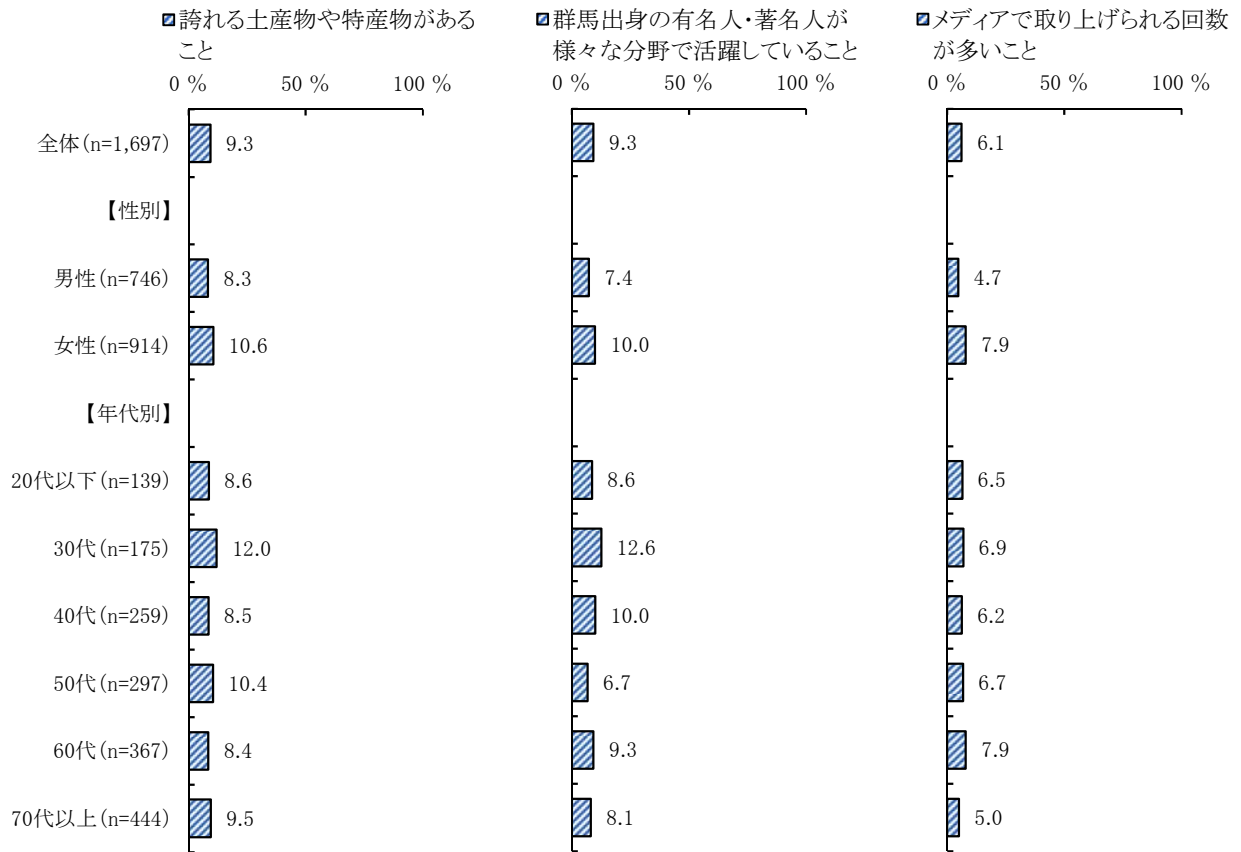
(性別／年代別)



(性別／年代別)

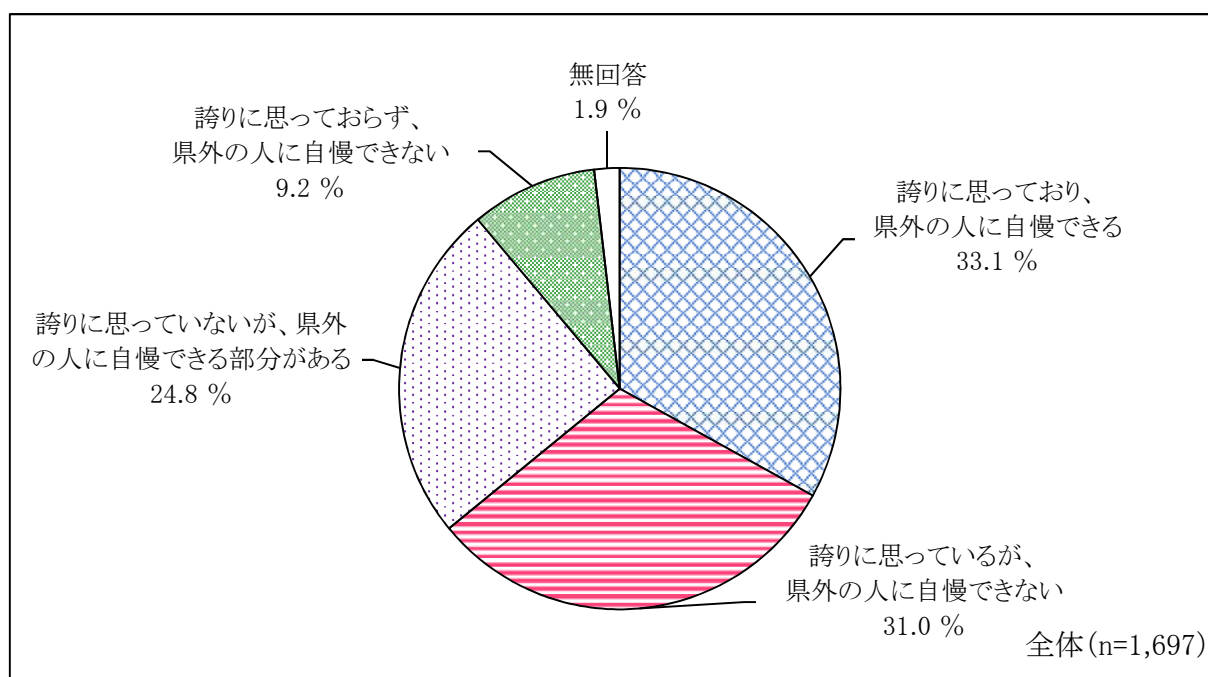


(性別／年代別)



(2) 群馬県への誇り(自慢)について

Q あなたは、群馬県のことを誇り(自慢)に思いますか。
あなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。
(○は1つだけ)



— 6割以上が誇りに思っており、6割弱が県外の人に自慢できると思っています —

【全体結果】

群馬県への誇りについて「誇りに思っており、県外の人に自慢できる」(33.1%)と答えた割合は3割強となっています。「誇りに思っており、県外の人に自慢できる」と「誇りに思っているが、県外の人に自慢できない」を合わせた『誇りに思っている』(64.1%)と答えた割合は6割以上となっています。「誇りに思っており、県外の人に自慢できる」と「誇りに思っていないが、県外の人に自慢できる部分がある」を合わせた『県外の人に自慢できる』(57.8%)と答えた割合は6割弱となっています。

【属性別結果】

ア 性別

「誇りに思っており、県外の人に自慢できる」と答えた割合は、男性(29.8%)と比べて女性(38.2%)で高くなっています。『誇りに思っている』と答えた割合は性別による大きな差はありませんでしたが、『県外の人に自慢できる』と答えた割合は男性(55.9%)と比べて女性(63.2%)で高くなっています。

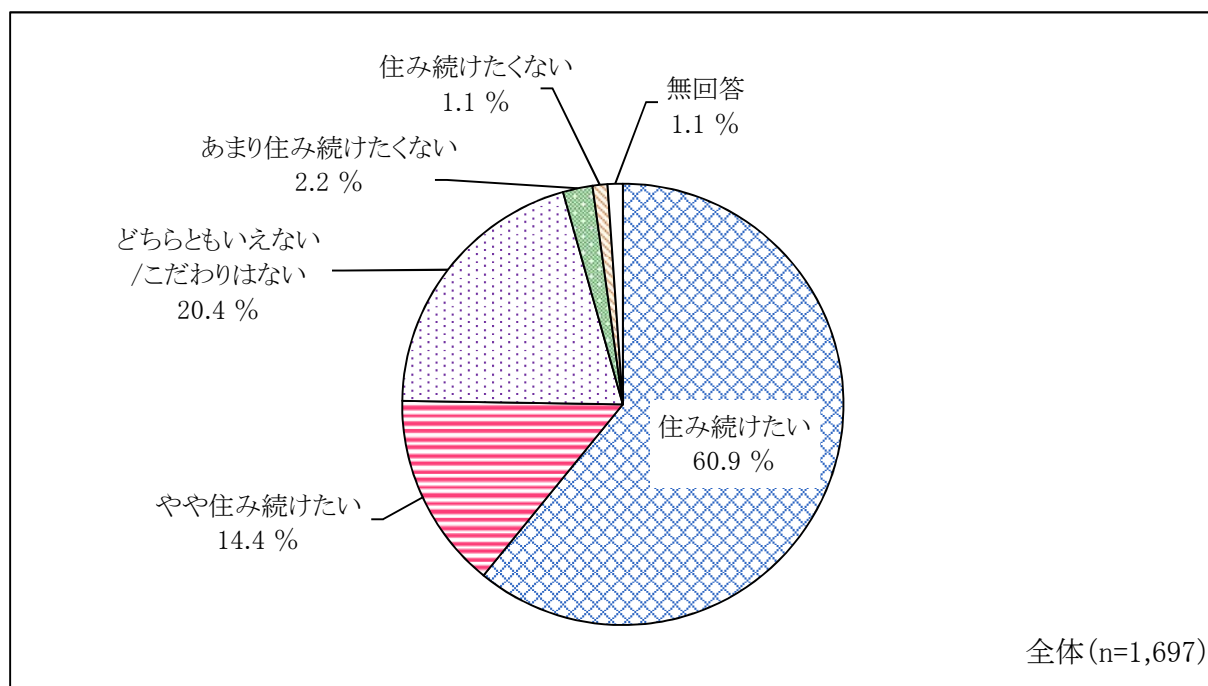
イ 年代別

『誇りに思っている』と答えた割合はすべての年代で6割を超えていますが、『県外の人に自慢できる』と答えた割合は70代以上(68.7%)で最も高く、20代以下(48.9%)で最も低くなっています。50代以上の人が『県外の人に自慢できる』と思っている割合が高い傾向にあります。



(3) 今後の居留意向

Q あなたは、今後も群馬県に住み続けたいと思いますか。
あなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。
(○は1つだけ)



— 『住み続けたい』人は約4人に3人 —

【全体結果】

「住み続けたい」(60.9%)と「やや住み続けたい」(14.4%)を合わせた『住み続けたい』(75.3%)と答えた割合は7割半ばを占めています。「どちらともいえない/こだわりはない」(20.4%)と答えた割合が約2割、「あまり住み続けたくない」(2.2%)と「住み続けたくない」(1.1%)を合わせた『住み続けたくない』と答えた割合は3.3%でした。

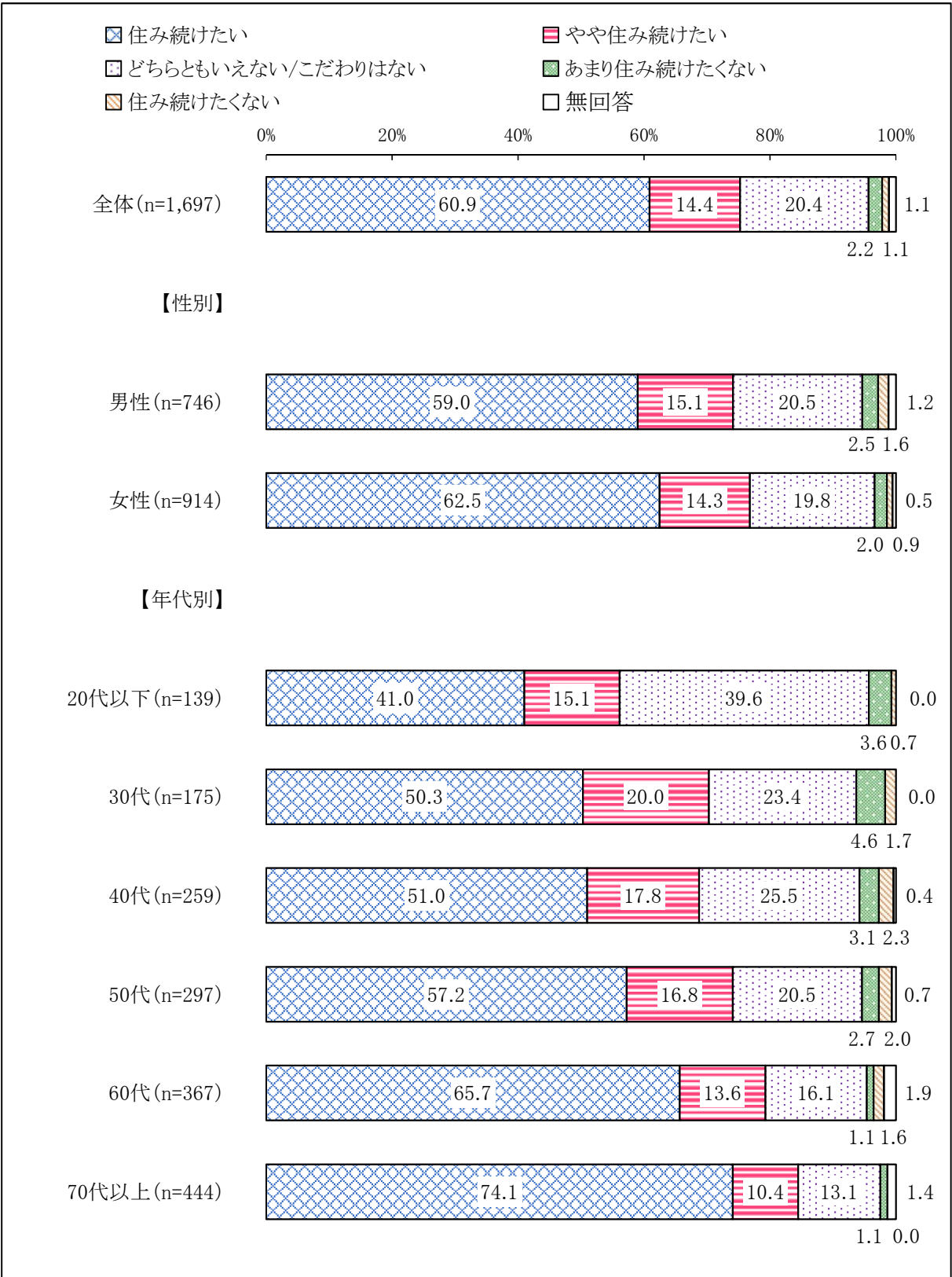
【属性別結果】

ア 性別

性別による大きな差は見られません。

イ 年代別

『住み続けたい』と答えた割合は、70代以上(84.5%)で最も高く、50代、60代、70代以上と年代が高いほど割合も高い傾向にあります。20代以下(56.1%)では他の年代と比べて割合が低く、『住み続けたくない』と答えた割合は4.3%ですが、「どちらともいえない/こだわりはない」(39.6%)が約4割を占めています。



3. 居住地域や社会状況等への所感（充足感）について

（1）充足度結果一覧

居住地域や社会状況等における 40 項目の充足度平均得点をランキング化しました。

40 項目の充足度ランキング

平均得点 50.0 点

順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	66.9
2	治安がよく安心した生活	66.7
3	群馬の歴史文化への誇り	62.4
4	消費者としての安心・安全	60.9
5	運動やスポーツに取り組むことができる環境	58.7
6	健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境	57.8
7	海外からの観光客にとって魅力的だと思う観光地	57.2
8	救急医療体制	57.0
9	近隣住民同士が困ったときに助け合える地域環境	56.9
10	移住者を受け入れる土壌	56.3
11	安心して子どもを産み育てられる環境	56.1
12	自然災害への防災・減災対策や火災への防火対策	56.1
13	必要な医療サービスを受けられる体制	53.2
14	群馬県産の農林水産物のブランド評価・県内外への販路拡大	53.0
15	芸術を鑑賞したり、文化活動に参加できる場	53.0
16	災害時に必要な情報提供を受けられる体制	52.9
17	介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境	52.3
18	交通事故が少なく安全な生活	51.7
19	自主的な健康づくりを促すための支援	50.2
20	魅力ある観光地づくり	49.8
21	外国人と日本人が国籍・民族・文化の違いを理解し、認め合った暮らし	49.1
22	ボランティアや市民活動に取り組みやすい社会	48.9
23	運動やスポーツを観戦する機会	48.3
24	性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれない社会のあらゆる分野での個性と能力の発揮	46.5
25	地球温暖化防止のため再生可能エネルギーの普及や活用	46.3
26	子どもたちが自分の頭で未来を考え、率先して行動できる力を身につけられる教育	46.3
27	教育の充実を図るためにデジタルの活用を進める取組	45.8
28	群馬県の文化、産業、観光などの魅力が広く世界に発信され、認められている	45.2
29	自動車、自転車、徒歩等により、安全で快適な移動ができる道路空間の整備	45.1
30	働きやすい職場環境の整備	44.4
31	ふだんの暮らしの中で食品ロスを減らすための行動の定着	43.3
32	子育てをしながら働き続けられる環境	43.3
33	悩みや不安、つらい気持ちを抱えた人がいつでも相談できる環境	42.8
34	森林の管理や適切な利用	42.8
35	行政手続きがデジタル化され、利便性が高まっている	42.3
36	公共施設や住宅などに県産材等の木材が使われている	41.5
37	新たな価値やビジネスを創出するために、行政と民間が連携・協力する体制	40.8
38	群馬県には、十分な収入を得ることができる仕事がある	40.7
39	群馬県産の農林水産物のブランドとしての評価、県内外への販路拡大	40.4
40	鉄道・バスなどの公共交通機関の利用しやすさ	28.7

平均より高い



平均より低い

居住地や社会状況等に関する1～40の質問について、あなた自身の実感に最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください、という問いに対し、【感じる】の回答者に100点、【やや感じる】に75点、【どちらとも言えない】に50点、【あまり感じない】に25点、【感じない】に0点を与え、各項目の平均得点を算出した結果を掲載しました。(前頁参照)

平均得点が高いほど、「充足」との評価が高い項目です。

平均得点の算出式、算出例を以下に掲載しました。

※1：平均得点の算出式

$$\begin{aligned} & (\text{【感じる】} \times 100 + \text{【やや感じる】} \times 75 \\ & + \text{【どちらとも言えない】} \times 50 \\ & + \text{【あまり感じない】} \times 25 + \text{【感じない】} \times 0) \\ & \div \text{無回答者を除いた} n \text{数} \end{aligned}$$

※2：平均得点の算出例

例えば、「感じる」100人、「やや感じる」75人、「どちらとも言えない」200人、「あまり感じない」50人、「感じない」25人ですと、
 $100 \text{人} \times 100 \text{点} + 75 \text{人} \times 75 \text{点} + 200 \text{人} \times 50 \text{点} + 50 \text{人} \times 25 \text{点} + 25 \text{人} \times 0 \text{点}$

450人

≒61.1

※平均得点=61点になります。

— 充足度のトップは「群馬県では、安心・安全な食品・農畜産物が提供されている」 —

【全体結果】

居住地や社会状況等における充足度は「安心・安全な食品・農畜産物の提供」(66.9点)で最も得点が高く1位となった。次いで、「治安がよく安心した生活」(66.7点)が2位、「群馬の歴史文化への誇り」(62.4点)が3位、以下、「消費者としての安心・安全」(60.9点)、「運動やスポーツに取り組むことができる環境」(58.7点)と続きます。

【属性別結果】(次頁参照)

ア 性別

男女とも充足度の上位3項目は「安心・安全な食品・農畜産物の提供」、「治安がよく安心した生活」、「群馬の歴史文化への誇り」となっています。

イ 年代別

20代以下を除きすべての年代で充足度の上位3項目は「安心・安全な食品・農畜産物の提供」、「治安がよく安心した生活」、「群馬の歴史文化への誇り」となっています。60代以上では「治安がよく安心した生活」の方が「安心・安全な食品・農畜産物の提供」の充足度を上回っています。20代以下では「群馬の歴史文化への誇り」ではなく、「消費者としての安心・安全」が上位3項目に入っています。

【性別】

男性		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	66.3
2	治安がよく安心した生活	66.2
3	群馬の歴史文化への誇り	62.4
女性		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	68.0
2	治安がよく安心した生活	67.2
3	群馬の歴史文化への誇り	63.9

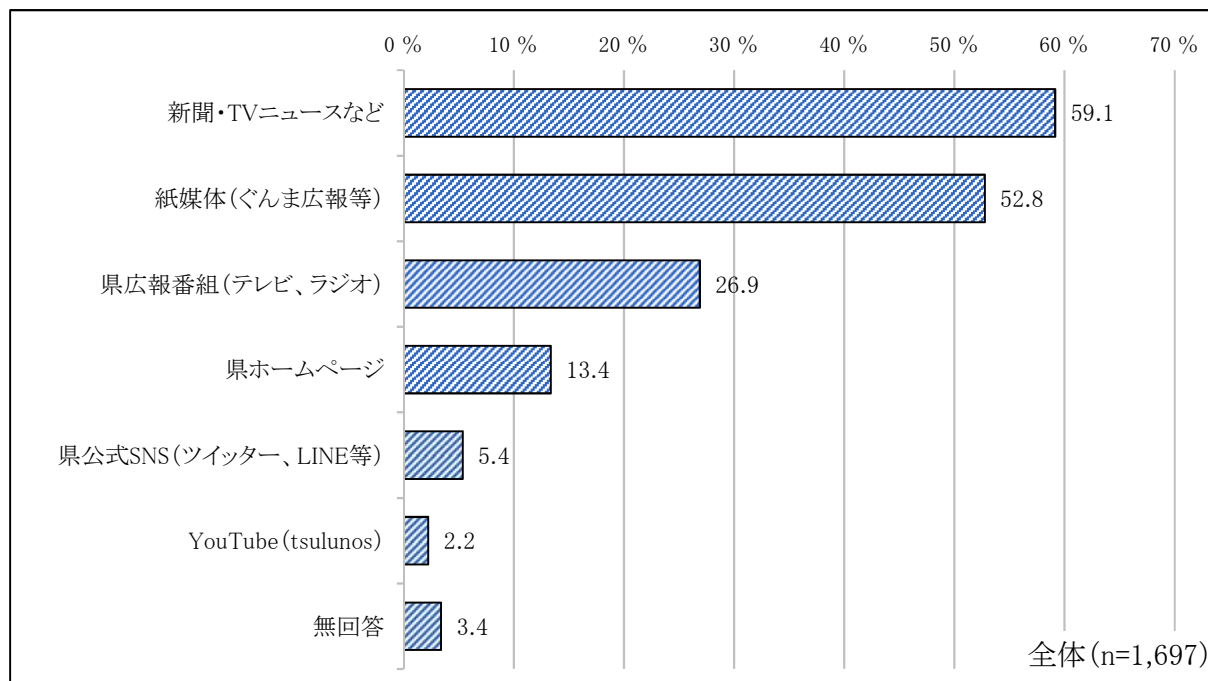
【年代別】

20代以下		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	74.1
2	治安がよく安心した生活	73.6
3	消費者としての安心・安全	66.4
30代		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	66.9
2	治安がよく安心した生活	63.8
3	群馬の歴史文化への誇り	58.5
40代		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	65.7
2	治安がよく安心した生活	63.8
3	群馬の歴史文化への誇り	59.2
50代		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	65.8
2	治安がよく安心した生活	63.7
3	群馬の歴史文化への誇り	63.1
60代		
順位	項目	充足度
1	治安がよく安心した生活	68.1
2	安心・安全な食品・農畜産物の提供	65.8
3	群馬の歴史文化への誇り	64.1
70代以上		
順位	項目	充足度
1	治安がよく安心した生活	67.8
2	安心・安全な食品・農畜産物の提供	67.6
3	群馬の歴史文化への誇り	66.2

4. 「情報発信」や「SDGs」について

(1) 県政に関する情報の入手経路

Q あなたは、県政に関する情報をどのような媒体から入手していますか。
あなたの状況にあてはまるすべての番号に○をつけてください。(○はいくつでも)



— 約6割が「新聞・TVニュースなど」から入手 —

【全体結果】

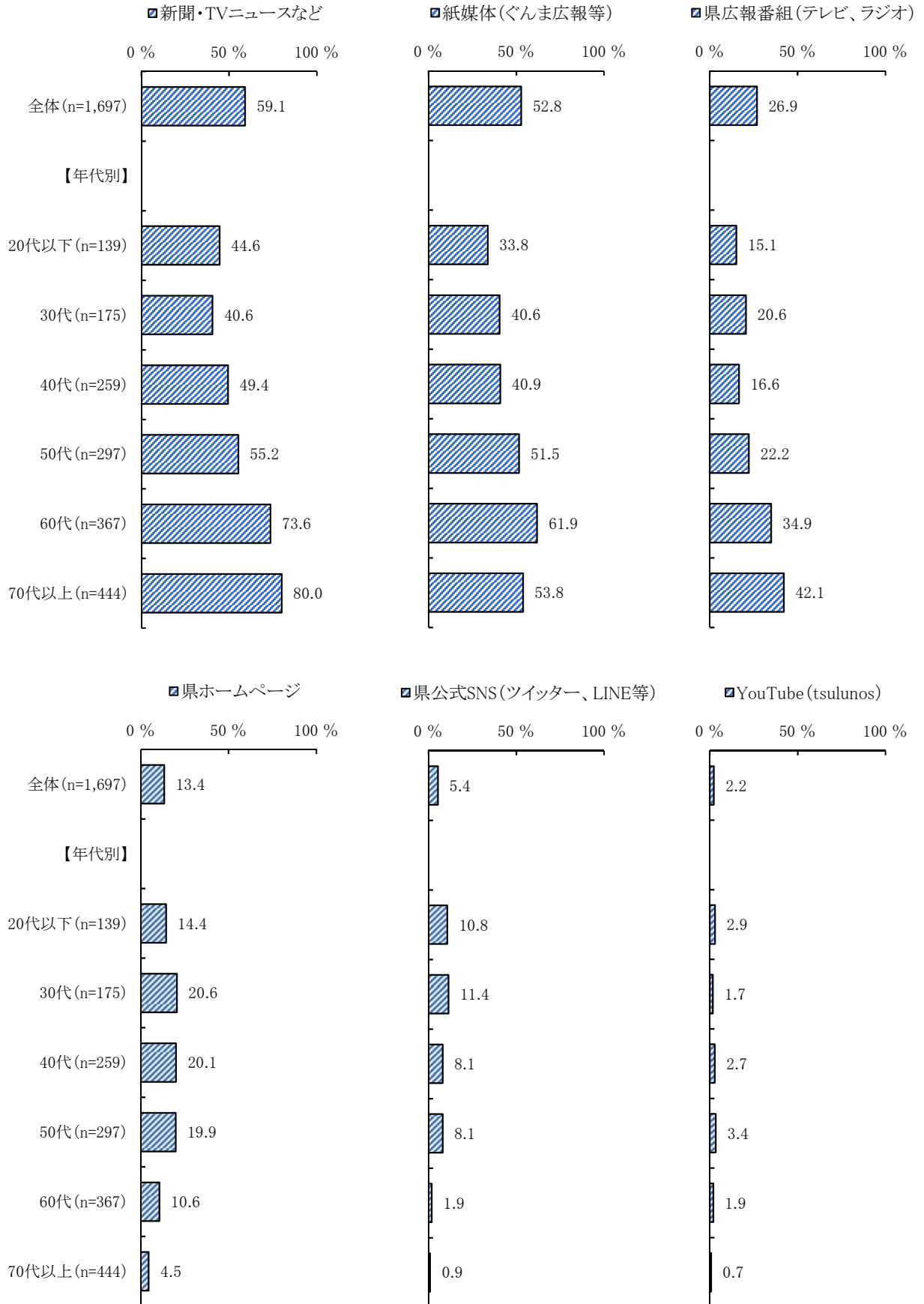
県政に関する情報の入手経路について、「新聞・TVニュースなど」(59.1%)と答えた割合が最も高く、約6割となっています。次いで「紙媒体(ぐんま広報等)」(52.8%)が5割台、「県広報番組(テレビ、ラジオ)」(26.9%)が2割台、「県ホームページ」(13.4%)が1割台となった。「県公式SNS(ツイッター、LINE等)」と「YouTube (tsulunos)」と答えた人は1割未満でした。

【属性別結果】

ア 年代別

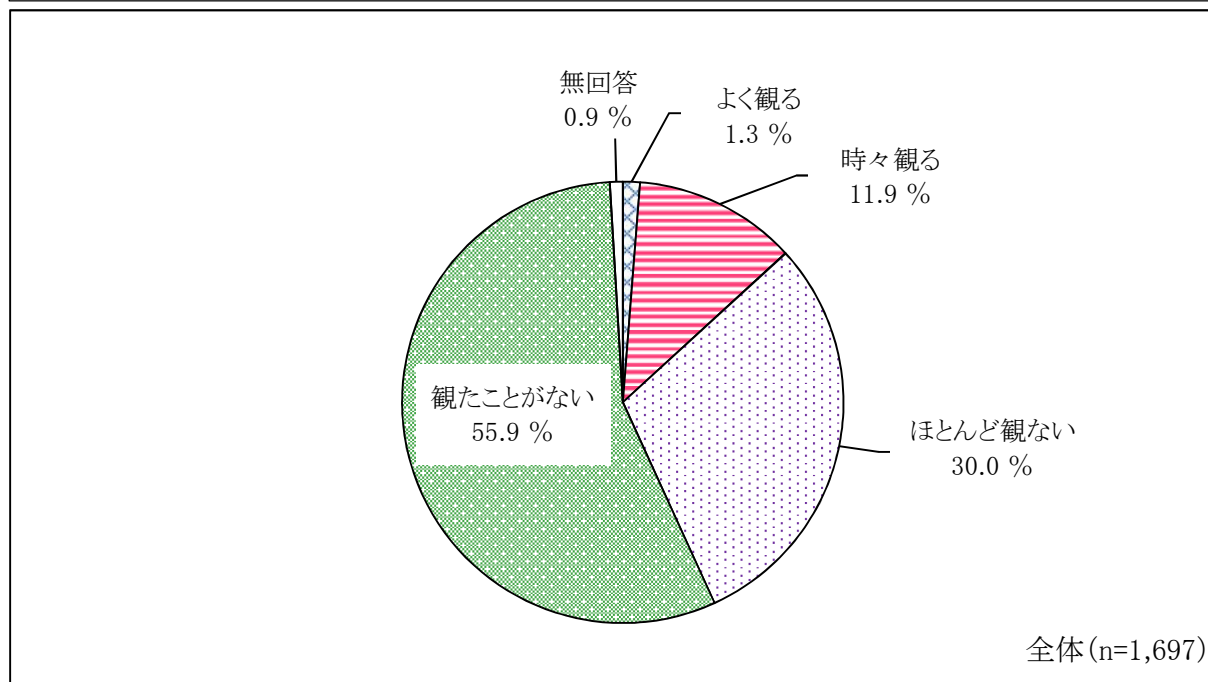
30代以外では「新聞・TVニュースなど」と答えた割合が最も高くなっています。30代では「新聞・TVニュースなど」と「紙媒体(ぐんま広報等)」(いずれも40.6%)が約4割で同割合となっています。60代以上では「新聞・TVニュースなど」、「紙媒体(ぐんま広報等)」、「県広報番組(テレビ、ラジオ)」の割合が高く、PCやスマートフォンを利用する「県ホームページ」や「県公式SNS(ツイッター、LINE等)」の割合が低い傾向にあります。

(年代別)



(2) 群馬県制作動画の視聴状況

Q あなたは、県が制作した動画をどのくらいの頻度で視聴したことがありますか。
あなたの状況にあてはまるもの1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 『観る』人は1割強に留まる —

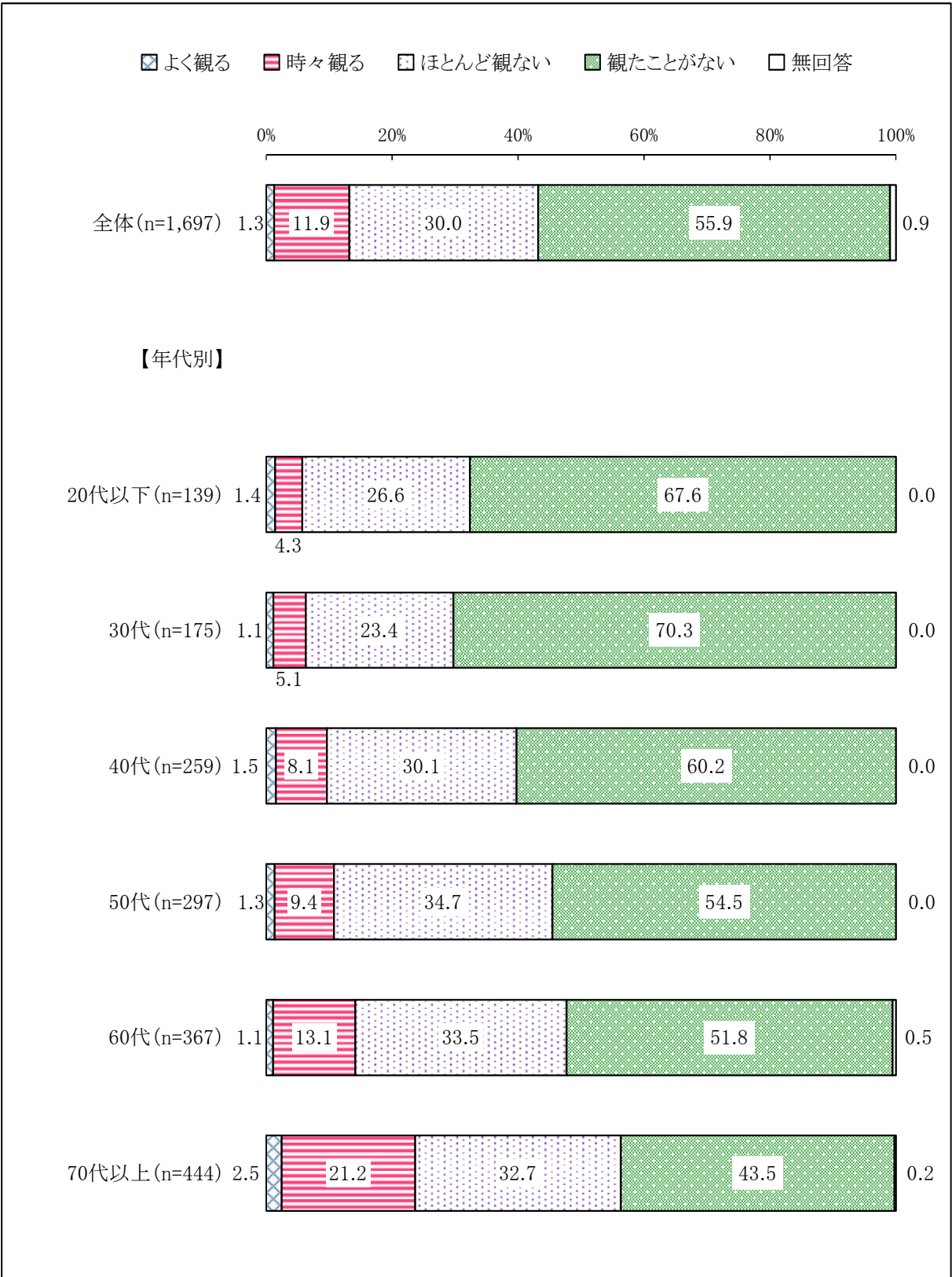
【全体結果】

「よく観る」(1.3%)と「時々観る」(11.9%)を合わせた『観る』(13.2%)と答えた割合は1割強でした。「見たことがない」(55.9%)と答えた割合が半数以上を占めています。

【属性別結果】

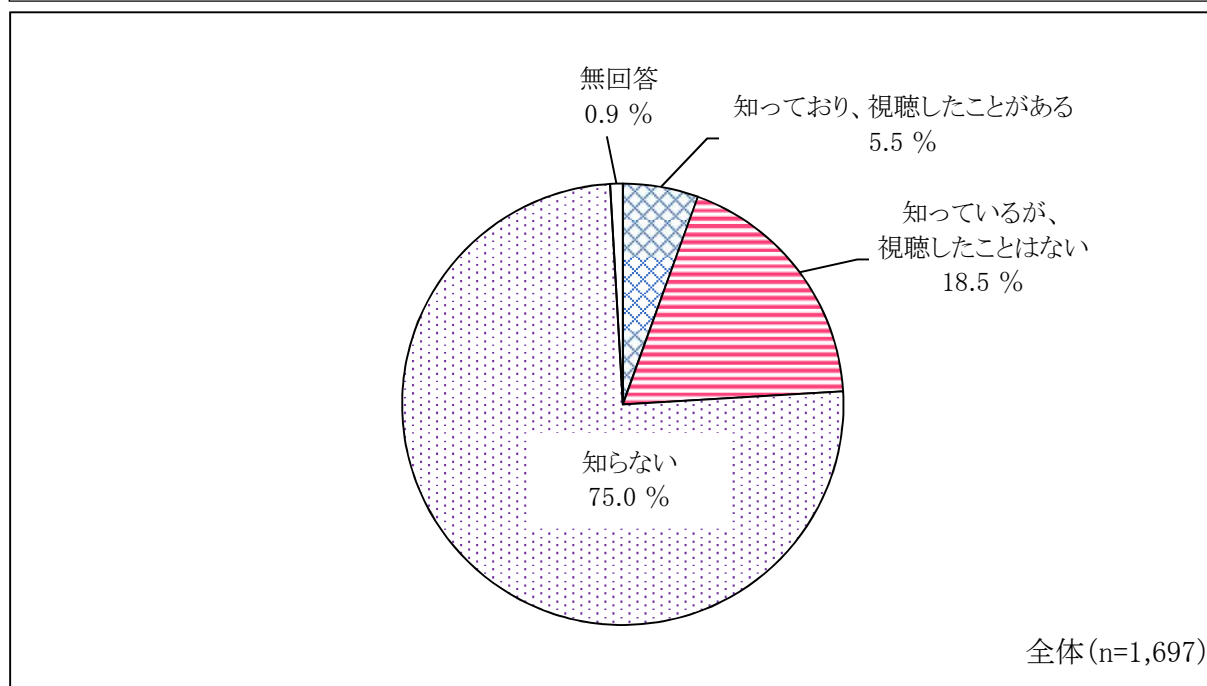
ア 年代別

『観る』と答えた割合は、70代以上(23.6%)が2割強で最も高く、50代、60代、70代以上と年代が高いほど割合も高い傾向にあります。40代以下では1割未満でした。



(3) 「tsulunos(ツルノス)」の視聴状況

Q あなたは、群馬県がYouTubeチャンネル「tsulunos(ツルノス)」で情報発信していることを知っていますか。あなたの状況にあてはまるもの1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 『知っている』人は約4人に1人 —

【全体結果】

「知っており、視聴したことがある」(5.5%)と答えた割合は1割未満でしたが、「知っているが、視聴したことはない」(18.5%)と合わせた『知っている』(24.1%)と答えた割合は2割半ばとなっています。「知らない」(75.0%)は7割半ばを占めています。

【属性別結果】

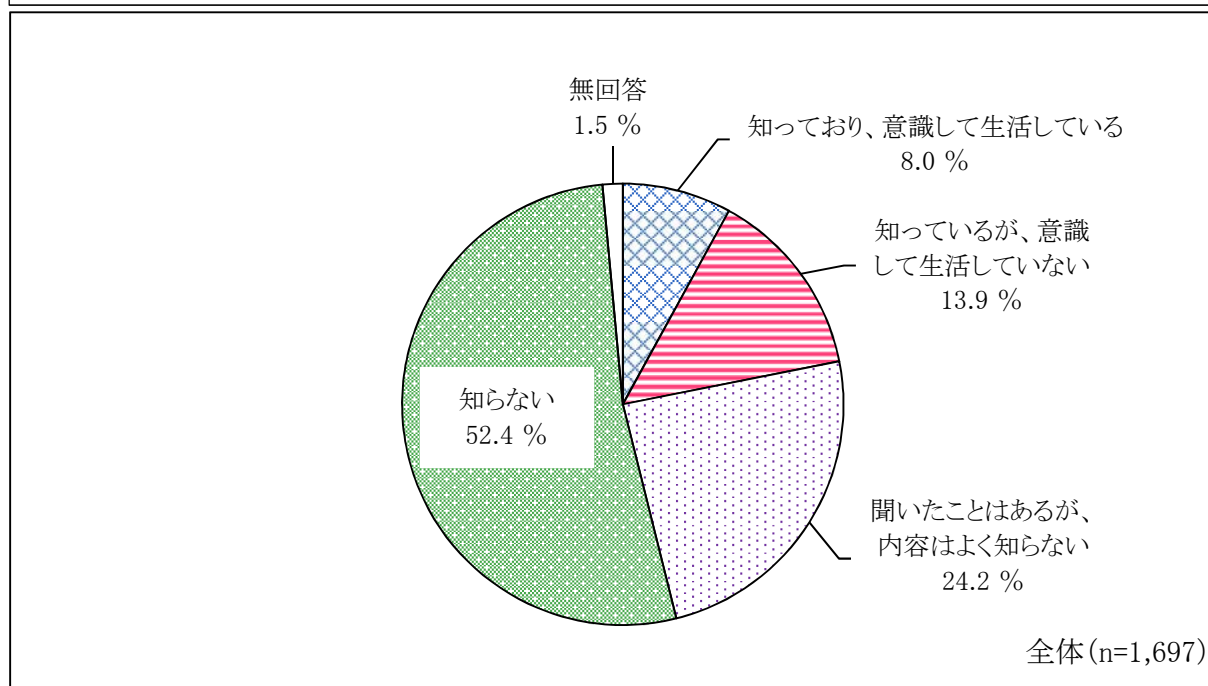
ア 年代別

「知っており、視聴したことがある」と答えた割合は40代(8.9%)で最も高く約1割となりましたが、『知っている』と答えた割合は、60代(28.6%)で最も高く約3割となっています。60代以上では「知っているが、視聴したことはない」の回答が他年代と比べ高い結果となりました。



(4) 「SDGs」の認知状況

Q あなたは、「経済」「社会」「環境」のバランスを取りながら持続可能な社会を実現するための、国際社会共通の目標である「SDGs」を知っていますか。
あなたの状況にあてはまるもの1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 約2割が『知っている』と回答 —

【全体結果】

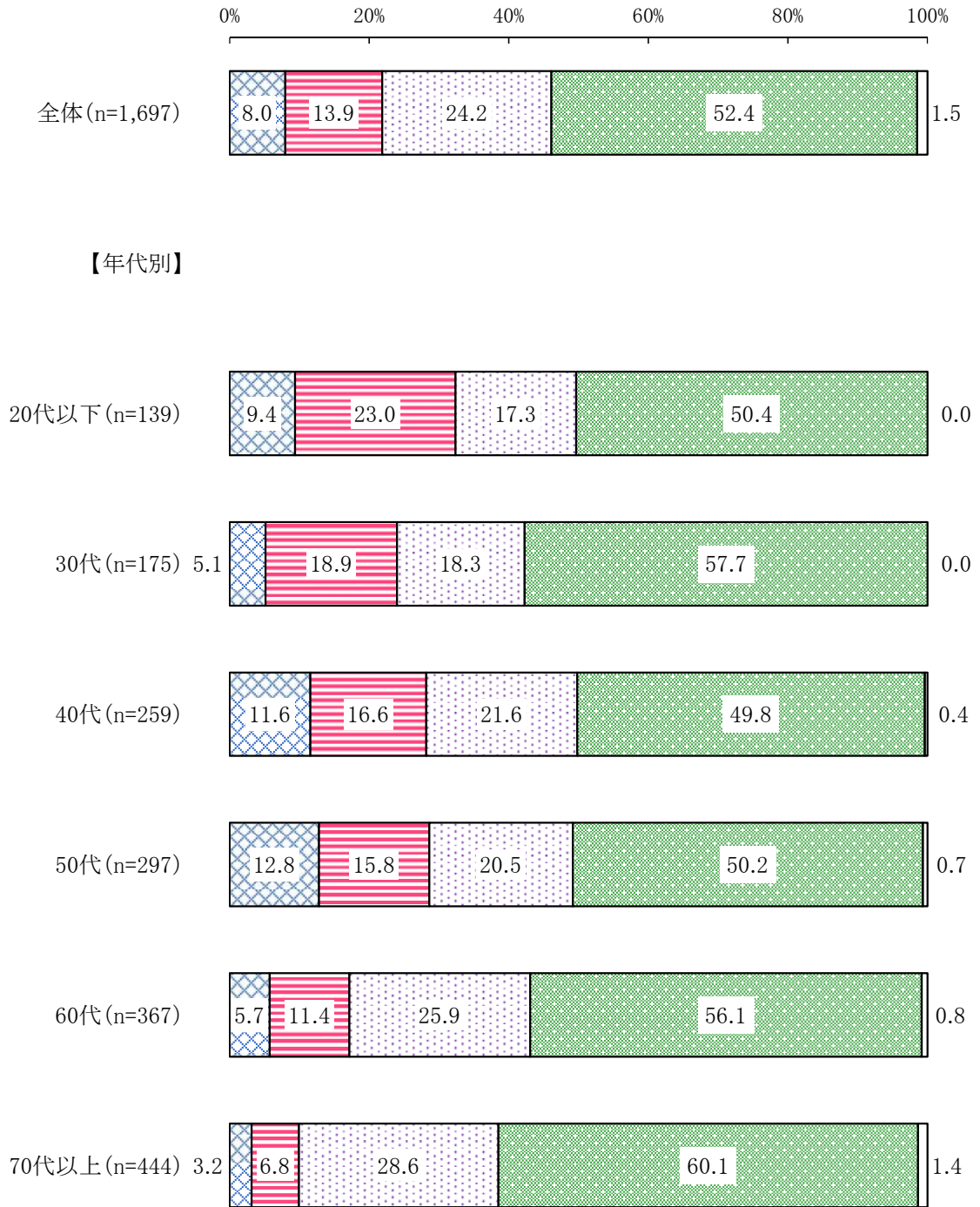
「知っており、意識して生活している」(8.0%)と「知っているが、意識して生活していない」(13.9%)を合わせた『知っている』(21.9%)と答えた割合は約2割となっています。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(24.2)が2割半ば、「知らない」(52.4%)は5割強を占めています。

【属性別結果】

ア 年代別

『知っている』と答えた割合は、20代以下(32.4%)で最も高く、70代以上(9.9%)で最も低くなっています。

- 知っており、意識して生活している
- 知っているが、意識して生活していない
- 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- 知らない
- 無回答



(付) 調査票様式

あなたの声をお聞かせください ～ 令和2年度 県民幸福度アンケート ～



〈 ご記入前にお読みください 〉

- 1 あて名のご本人がお答えください。（代筆による回答も可能です。）
- 2 次のいずれかの方法でお答えください。

▼調査票に記入して回答する場合

- あてはまる回答番号に○を付けてください。
- ○をつける回答数は各設問の（ ）内の表記をご参照ください。
- 調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**12月22日（火）**までに投函してください。

▼インターネット用回答ページから回答する場合

- パソコン、スマートフォン、タブレットを使い、次のいずれかの方法でアクセスしてください。
 - ① 下図のQRコードを読み込む。



- ② 直接、次のURLを入力する。

https://s-kantan.jp/pref-gunma-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=2661

- **12月22日（火）**までに送信してください。

この調査についてご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。

群馬県 知事戦略部 戦略企画課 データ分析・活用推進室 データ分析・活用係
電話：027-226-2405
メール：senryakuka@pref.gunma.lg.jp

はじめに、「幸福」に関する考え方などについてお聞きします。

Q1 現在のあなたご自身の気持ちについてお答えください。

次の1～14の各項目について、あなたはどの程度満足していますか。最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

(○はそれぞれ1つ)

	最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
1 健康状況	5	4	3	2	1
2 家計の状況(所得)	5	4	3	2	1
3 就業状況(仕事の有無・安定)	5	4	3	2	1
4 生活環境(居住・福祉・教育環境など)	5	4	3	2	1
5 地域の治安・防災体制	5	4	3	2	1
6 地域の自然・歴史・文化	5	4	3	2	1
7 家族関係	5	4	3	2	1
8 友人関係	5	4	3	2	1
9 職場の人間関係	5	4	3	2	1
10 地域コミュニティとの関係	5	4	3	2	1
11 精神的なゆとり	5	4	3	2	1
12 生きがい	5	4	3	2	1
13 仕事の充実度	5	4	3	2	1
14 自由な時間・充実した余暇	5	4	3	2	1

Q2 あなたは現在、どの程度幸せだと感じていますか。

最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | |
|-----------------|
| 1 幸せだと感じている |
| 2 やや幸せだと感じている |
| 3 どちらともいえない |
| 4 あまり幸せだと感じていない |
| 5 幸せだと感じていない |

- Q3 現在のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に重視した事項は何ですか。
次の1～15の中から、特に重視したものを3つ選び、番号に○をつけてください。

(○は3つ)

- 1 健康状況
- 2 家計の状況(所得)
- 3 就業状況(仕事の有無・安定)
- 4 生活環境(居住・福祉・教育環境など)
- 5 地域の治安・防災体制
- 6 地域の自然・歴史・文化
- 7 家族関係
- 8 友人関係
- 9 職場の人間関係
- 10 地域コミュニティとの関係
- 11 精神的なゆとり
- 12 生きがい
- 13 仕事の充実度
- 14 自由な時間・充実した余暇
- 15 その他【具体的に：

]

- Q4 10年後のあなたを想像してお答えください。
10年後のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に、重視するだろうと考えられる事項は何ですか。
次の1～15の中から、特に重視するだろうと考えられるものを3つ選び、番号に○をつけてください。

(○は3つ)

- 1 健康状況
- 2 家計の状況(所得)
- 3 就業状況(仕事の有無・安定)
- 4 生活環境(居住・福祉・教育環境など)
- 5 地域の治安・防災体制
- 6 地域の自然・歴史・文化
- 7 家族関係
- 8 友人関係
- 9 職場の人間関係
- 10 地域コミュニティとの関係
- 11 精神的なゆとり
- 12 生きがい
- 13 仕事の充実度
- 14 自由な時間・充実した余暇
- 15 その他【具体的に：

]

次に、あなたの「群馬県に対する気持ち」をお聞きます。

- Q5 あなたが思う「群馬県のよいところ」はどのようなところですか。
次の1～18の中から、該当するすべての番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

《生活・くらし》

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 自然や水が豊かであること | 4 高齢になっても住みやすい環境であること |
| 2 交通網が発達し日本各地へのアクセスがよいこと | 5 物価が安いこと |
| 3 都心部へのアクセスが便利なこと | 6 余暇を楽しむ施設が充実していること |

《安心・安全・子育て》

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 7 医療体制が充実していること | 10 教育環境(教育機関・博物館など)が充実していること |
| 8 災害が少なく安心して暮らせること | 11 進学や就職時に選択肢が豊富にあること |
| 9 子育てしやすい環境であること | |

《文化・魅力》

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 12 国宝や歴史遺産などの文化財が多いこと | 16 地元産の食材が豊富であること |
| 13 誇れる温泉があること | 17 群馬出身の有名人・著名人が様々な分野で活躍していること |
| 14 有名な観光地があること | 18 メディアで取り上げられる回数が多いこと |
| 15 誇れる土産物や特産物があること | |

- Q6 あなたは、群馬県のことを誇り(自慢)に思いますか。
あなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | |
|------------------------------|
| 1 誇りに思っており、県外の人に自慢できる |
| 2 誇りに思っているが、県外の人に自慢できない |
| 3 誇りに思っていないが、県外の人に自慢できる部分がある |
| 4 誇りに思っておらず、県外の人に自慢できない |

- Q7 あなたは、今後も群馬県に住み続けたいと思いますか。
あなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | |
|---------------------|
| 1 住み続けたい |
| 2 やや住み続けたい |
| 3 どちらともいえない/こだわりはない |
| 4 あまり住み続けたくない |
| 5 住み続けたくない |

続いて、お住まいの市町村や地域、社会の状況について、あなた自身の実感をお聞きます。

Q8 次の1～40の質問について、あなたの実感に最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。				
感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない

「生活・くらし」について、9項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

1	近隣住民同士が困ったときには助け合える地域環境があると感じますか	5	4	3	2	1
2	移住者を受け入れる土壌があると感じますか	5	4	3	2	1
3	性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できていると感じますか	5	4	3	2	1
4	ボランティアや市民活動に取り組みやすい社会であると感じますか	5	4	3	2	1
5	行政手続きがデジタル化され、利便性が高まっていると感じますか	5	4	3	2	1
6	鉄道・バスなどの公共交通機関が利用しやすいと感じますか	5	4	3	2	1
7	自動車、自転車、徒歩等により、安全で快適な移動ができる道路空間が整備されていると感じますか	5	4	3	2	1
8	地球温暖化防止のため再生可能エネルギー(太陽光発電や水力発電など)の普及や利活用がされていると感じますか	5	4	3	2	1
9	ふだんの暮らしの中で食品ロスを減らすための行動(期限が近い商品の購入など)が定着していると感じますか	5	4	3	2	1

「子育て・教育」について、4項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

10	安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
11	子育てをしながら働き続けられる環境が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
12	子どもたちが自分の頭で未来を考え、率先して行動できる力を身につけられる教育がされていると感じますか	5	4	3	2	1
13	教育の充実を図るためにデジタルの活用を進める取組がされていると感じますか	5	4	3	2	1

最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。				
感じる	やや 感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない

「健康・医療・福祉」について、6項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

14	健診や生活習慣病対策など健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
15	自主的な健康づくりを促すための支援が充実していると感じますか	5	4	3	2	1
16	必要な医療サービス（在宅医療なども含む）を受けられる体制が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
17	救急医療体制が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
18	介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境があると感じますか	5	4	3	2	1
19	悩みや不安、つらい気持ちを抱えた人がいつでも相談できる環境が整っていると感じますか	5	4	3	2	1

「産業」について、7項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

20	群馬県産の農林水産物がブランドとして評価され、県内外に販路が拡大していると感じますか	5	4	3	2	1
21	群馬県では、農林水産業の担い手の確保・育成が十分に行われていると感じますか	5	4	3	2	1
22	公共施設や住宅などに県産材等の木材が使われていると感じますか	5	4	3	2	1
23	群馬県では、森林の管理や利用が適切にされていると感じますか	5	4	3	2	1
24	群馬県には、十分な収入を得ることができる仕事があると感じますか	5	4	3	2	1
25	群馬県内の企業や職場では、働きやすい職場環境が整備されていると感じますか	5	4	3	2	1
26	群馬県では、新たな価値やビジネスを創出するために、行政と民間が連携・協力する体制が整っていると感じますか	5	4	3	2	1

最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。				
感じる	やや 感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない

「安心・安全」について、6項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

27	消費者としての安心・安全が図られていると感じますか	5	4	3	2	1
28	治安がよく安心して生活できると感じますか	5	4	3	2	1
29	交通事故が少なく安全に生活できると感じますか	5	4	3	2	1
30	群馬県では、安心・安全な食品・農畜産物が提供されていると感じますか	5	4	3	2	1
31	地震、豪雨、暴風、火山噴火などの自然災害への防災・減災対策や火災への防火対策が進んでいると感じますか	5	4	3	2	1
32	災害時に必要な情報提供を受けられる体制が整っていると感じますか	5	4	3	2	1

「文化・スポーツ」について、5項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

33	運動やスポーツに取り組むことができる環境が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
34	運動やスポーツを観戦する機会が充実していると感じますか	5	4	3	2	1
35	群馬の歴史文化に誇りを感じますか	5	4	3	2	1
36	芸術を鑑賞したり、文化活動に参加できる場が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
37	外国人と日本人が国籍・民族・文化の違いを理解し、認め合って暮らすことができていると感じますか	5	4	3	2	1

「魅力・発信」について、3項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

38	群馬県の文化、産業、観光などの魅力が広く世界に発信され、認められていると感じますか	5	4	3	2	1
39	群馬県では、魅力ある観光地づくりが進んでいると感じますか	5	4	3	2	1
40	群馬県には、海外からの観光客にとって魅力的だと思う観光地があると感じますか	5	4	3	2	1

群馬県では、動画での情報発信に力を入れています。

Q9 あなたは、県が制作した動画をどのくらいの頻度で視聴したことがありますか。
あなたの状況にあてはまるもの1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | |
|-----------|
| 1 よく観る |
| 2 時々観る |
| 3 ほとんど観ない |
| 4 観たことがない |

Q10 あなたは、群馬県がYouTubeチャンネル「tsulunos(ツルノス)」で情報発信していることを知っていますか。
あなたの状況にあてはまるもの1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | |
|--------------------|
| 1 知っており、視聴したことがある |
| 2 知っているが、視聴したことはない |
| 3 知らない |

Q11 あなたは、県政に関する情報をどのような媒体から入手していますか。
あなたの状況にあてはまるすべての番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 紙媒体（ぐんま広報等） | 4 県公式SNS（ツイッター、LINE等） |
| 2 県ホームページ | 5 YouTube（tsulunos） |
| 3 県広報番組（テレビ、ラジオ） | 6 新聞・TVニュースなど |

群馬県では、「県民の幸福度向上」を目指し、SDGs(エスディーゼーズ)(Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)の達成に向けた取組を推進しています。

Q12 あなたは、「経済」「社会」「環境」のバランスを取りながら持続可能な社会を実現するための、
国際社会共通の目標である「SDGs」を知っていますか。
あなたの状況にあてはまるもの1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | |
|-----------------------|
| 1 知っており、意識して生活している |
| 2 知っているが、意識して生活していない |
| 3 聞いたことはあるが、内容はよく知らない |
| 4 知らない |

最後に、あなたご自身の現在のことについてお答えください。

これまでお答えいただいた内容を統計的に分析するために、以下のような情報が必要です。
本アンケートは無記名回答であり、個人が特定されることは一切ありません。
ご協力をお願いいたします。

Q13 あなたの性別をお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

1 男性	3 その他
2 女性	4 答えたくない

Q14 あなたの年齢をお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

1 18～19歳	6 40～44歳	11 65～69歳
2 20～24歳	7 45～49歳	12 70～74歳
3 25～29歳	8 50～54歳	13 75～79歳
4 30～34歳	9 55～59歳	14 80歳以上
5 35～39歳	10 60～64歳	

Q15 あなたの主な職業をお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

1 自営業・自由業(家族従事者も含む)	6 非正規雇用者(パートタイム勤務)
2 会社役員・団体役員	7 無職(専業主婦・主夫、退職者含む)
3 正規雇用者(フルタイム勤務)	8 学生(アルバイトをしている人も含む)
4 正規雇用者(パートタイム勤務)	9 その他
5 非正規雇用者(フルタイム勤務)	

Q16 あなたのお住まいの市町村名をお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

県央 エリア	1 前橋市	利根 沼田 エリア	16 沼田市
	2 伊勢崎市		17 片品村
	3 渋川市		18 川場村
	4 榛東村		19 昭和村
	5 吉岡町		20 みなかみ町
	6 玉村町		吾妻 エリア
西部 エリア	7 高崎市	東部 エリア	22 長野原町
	8 藤岡市		23 嬬恋村
	9 富岡市		24 草津町
	10 安中市		25 高山村
	11 上野村		26 東吾妻町
	12 神流町		27 桐生市
	13 下仁田町		28 太田市
	14 南牧村		29 館林市
	15 甘楽町		30 みどり市
	31 板倉町		
	32 明和町		
	33 千代田町		
	34 大泉町		
	35 邑楽町		

Q17 あなたは、群馬県外で暮らしたことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

- 1 生まれてからずっと群馬県に住んでいる
- 2 群馬県で生まれて、県外に転出したが、再び転入してきた
- 3 県外で生まれたが、群馬県に転入してきた
- 4 その他

Q18 あなたは群馬県に住んで通算何年になりますか。あてはまるものに○をつけてください。

(※通算：転出した期間の前後を合算した期間)

(○は1つだけ)

- 1 1年未満
- 2 1～5年未満
- 3 5～10年未満
- 4 10～20年未満
- 5 20年以上

Q19 あなたの世帯構成をお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

- 1 単身世帯（ひとり暮らしなど）
- 2 1世代世帯（夫婦のみなど）
- 3 2世代世帯（親と子など）
- 4 3世代世帯（親と子と孫など）
- 5 その他

Q20 あなたの世帯全体の年間収入（税込み、ボーナスも含む）はどのくらいですか。

あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 100万円未満 | 5 600万～800万円未満 |
| 2 100万～200万円未満 | 6 800万～1,000万円未満 |
| 3 200万～400万円未満 | 7 1,000万円以上 |
| 4 400万～600万円未満 | 8 わからない |

Q21 あなたは結婚（事実婚含む）していらっしゃいますか。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

- 1 未婚（結婚したことはない）
- 2 既婚・配偶者あり（現在、夫または妻がいる）
- 3 既婚・死別（結婚したことはあるが、死別した）
- 4 既婚・離別（結婚したことはあるが、離別した）

Q22 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか（同居・別居は問いません）。

次のうちあてはまるものすべてに○を付けてください。

（○はいくつでも）

- | |
|---------------------|
| 1 小学校入学前（乳幼児含む） |
| 2 小学生 |
| 3 中学生 |
| 4 高校生 |
| 5 専門学校、短大、大学、大学院に在学 |
| 6 学校教育終了で同居 |
| 7 学校教育終了で別居 |
| 8 その他 |
| 9 子どもはいない |

アンケートは以上で終わりです。最後までご協力いただきありがとうございました。

この調査用紙を同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**12月22日（火）**までに郵便ポストに投函してください。

（インターネットでご回答いただいた方は、調査票の返送は不要です。）

ご回答いただいた内容については統計的に分析し、県政運営のための貴重な資料として活用させていただきます。

アンケート結果は令和3年6月頃に、県ホームページにて公表する予定です。

令和3年3月

群馬県 知事戦略部 戦略企画課

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL. 027-226-2405